

官報

號外

大正七年三月二十日

水曜日

印刷局

第四十回 衆議院議事速記録第二十五號

大正七年三月十九日(火曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第二十四號 大正七年三月十九日

午後一時開議

質問

一 市町村長及助役優遇ニ關スル質問(恒松隆慶君)

二 露領勘察加ノ割讓並露領沿海州漁業權ノ割讓ニ關スル質問(田中萬逸君)

三 傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關スル質問(土屋提出)

四 時局ニ關スル質問(押川方義君提出)

五 朝鮮警務機關ノ組織ニ關スル質問(陣軍吉提出)

第一 朝鮮人官吏ノ恩給退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 京都市又ハ大阪市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 會計士法案(高木益太郎君)

第一讀會

第六 市制中改正法律案(近藤達兒君)

第一讀會

第七 町村制中改正法律案(近藤達兒君)

第一讀會

第八 郡制中改正法律案(横山金太)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 市町村吏員優遇ニ關スル建議案(荒川五郎君)

建議

第十 市町村其ノ他公共團體ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案(秦豐助君)

建議

第十一 帝國美術館建設ニ關スル建議案(鵜澤總明君)

第十二 成田鐵道買收ニ關スル建議案(鵜澤宇八君)

第十三 金名鐵道敷設ニ關スル建議案(中橋德五郎君)

第十四 松本鐵道建設ニ關スル建議案(高島順作君)

第十五 市町村ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案(前川虎造君)

第十六 名古屋太田間鐵道速成ニ關スル建議案(三輪市太)

第十七 愛媛縣今治港開港ニ關スル建議案(河上哲太君)

第十八 新見三次間鐵道建設ニ關スル建議案(湯淺凡平)

第十九 山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案(白石直治)

第二十 (特別報告第百二十三號)東鄉村ニ登記所設置ノ請願

第二十一 (特別報告第百二十四號)元佐倉區裁判所復舊ノ請願

第二十二 (特別報告第百二十五號)元松阪區裁判所復舊ノ請願

第二十三 (特別報告第百二十六號)元水口區裁判所復舊ノ請願

第二十四 (特別報告第百二十七號)古賀村ヲ長崎區裁判所管内ニ編入ノ請願

第二十五 (特別報告第百二十八號)小牛田石卷間ノ私設輕便鐵道ヲ國有經營ト爲スノ請願

第二十六 (特別報告第百二十九號)日立木村ニ停車場設置ノ請願

第二十七 (特別報告第百三十號)平元鐵道速成ノ請願

第二十八 (特別報告第百三十一號)羽越海岸線酒田秋田間鐵道速成ノ請願

第二十九 (特別報告第百三十三號)池田川之江間鐵道敷設ノ請願

第三十 (特別報告第百二十四號)七尾輪島間鐵道速成ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第百二十六號)眞岡線鐵道延長ニ關スル請願 (委員長報告)

○副議長(濱田國松君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第四號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案

(追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

帝國美術館建設ニ關スル建議案

提出者 鵜澤 總明君

關 和 知君

高木 益太郎君

成田鐵道買収ニ關スル建議案

提出者 金杉 英五郎君

秋田 清君

柏原文太郎君

金名鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 中橋 德五郎君

櫻井 兵五郎君

米田 鑣君

松本鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 高島 順作君

百瀬 清治君

丸山 曉一君

市制中改正法律案

提出者 近藤 達兒君

降旗 元太郎君

竹村 良貞君

町村制中改正法律案

提出者 近藤 達兒君

鈴水 龍太郎君

高木 正年君

北鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案

提出者 櫻井 兵五郎君

村松 恆一郎君

三木 武吉君

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

罹災救助基金法中改正法律案(政府提出)

朝鮮ノ生産ニ係ル物品ノ移入税免除ニ關スル法律案(政府提出)

日本興業銀行法中改正法律案(本院提出)

輕便鐵道法中改正法律案(本院提出)

軌道條例中改正法律案(本院提出)

一議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

對支外交ニ關スル質問主意書

提出者 櫻井 兵五郎君

鐵道運輸ニ關スル質問主意書

提出者 北井 波治目君

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正七年三月十五日

衆議院議員大岡育造殿

衆議院議員工藤善助君提出石炭需給ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員工藤善助君提出石炭需給ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一政府ニ於テ必要ト認ムルキハ固ヨリ石炭ノ外國輸出ヲ制限スルコトアルヘキモ現時內國ニ於ケル石炭需給ノ關係ハ大體ニ於テ平衡ヲ失ハサルモノト認マラルルヲ以テ今日猝ニ之ヲ制限ヲ爲スノ要ナキモノト認ム

一石炭ハ米鹽ニ亞テノ必需品トモ見ルヘキモノナルカ故ニ鐵道輸送ニ關シテハ常ニ充分ノ注意ヲ拂ヒ必要ニ應ジテ設備ノ改善ヲ爲シツアリ即チ之ヲ過去ノ實績ニ徴スルトキハ

一日平均發送數量

大正三年度 三九、五九八

大正四年度 三八、四一九

大正五年度 四三、三二〇

大正六年度 四八、七九三

自六年四月至七年二月

ニシテ大正四年度ニ於テハ時局ノ影響ニ依リ前年ニ比シ幾分減少シタルモ五年度以降ハ一割三分宛ノ増送ヲ見ツアル次第ニシテ尙今後モ出來得ル限リ増送ヲ期スル方針ナリ船舶輸送ニ關シテハ政府ハ曩ニ戰時船舶管理令ヲ制定實施シ其ノ運用ニ依リ内外航路ニ於ケル船腹ノ調節ヲ圖リタル結果石炭輸送力ノ増加ニ資セル效果尠カラザリシモノト認ム尙政府ハ將來ニ於テモ同令ノ運用其ノ他適宜ノ措置ニ依リ最善ノ方法ヲ採リ違算テキヲ期セムトス

右及答辯候也

大正七年三月十五日

大正七年三月十六日

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對スル答辯書

印刷料紙ハ國民ノ必需品ニシテ特ニ文運開發ノ上ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ政府ハ曩ニ大正三年九月農商務省令第二十二號ニ改正ヲ加ヘテ「ザラ紙」ヲ除キタル印刷料紙ヲ輸出ヲ制限シタル而シテ特ニ「ザラ紙」ヲ除外シタルハ仔細ニ其供給ノ數量ヲ調査シタル上既往ニ於ケルカ如キ程度ノ海外輸出ヲ爲スモ之レカ爲ニ内地ノ供給上不足ヲ生スルカ如キコト之レ無キヲ認メタルニ依リ而シテ將來ノ趨勢如何ニ依リ政府ハ必要ノ措置ヲ執ルニ於テ機宜ヲ認ラサルコトヲ期ス

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員小泉又次郎君提出紙價調節ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

右及答辯候也

大正七年三月十六日

農商務大臣 仲小路廉

大正七年三月十八日

內閣總理大臣伯耆寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員一宮房治郎君提出日露日支兩協約ノ實行並支那鐵礦國有ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員一宮房治郎君提出日露日支兩協約ノ實行並支那鐵礦國有ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書

一東支鐵道一部讓受及松花江航行權問題ノ經過ヲ公表スルハ未タ其ノ時機ニ非スト認ム

二政府ハ滿蒙ニ關スル日支協約カ實行不可能ノ狀態ニ在リト認メス現ニ土地商租ノ如キモ成立シタル實例數十件アリ但シ地方ニ依リテハ支那側ニ誤解アリタルカ爲商租ノ成立ニ困難ヲ生シタルコトナキニアラサルモ政府ニ於テハ各事件ニ付之カ解決ニ努力シツツアリ

滿蒙ノ區劃ニ付テハ關係兩國間ニ意見ノ一致ヲ見ル迄事態ノ成行ヲ公表スルハ交渉ノ前途ニ障礙アリト認ムルカ故ニ未タ答辯ノ時機ニ達セス

次ニ政府ハ遼西ノ地カ南滿洲ノ一部タルコトハ更ニ一點ノ疑ヲ狹マサル所ナリ

三正四年日支交渉ノ結果試掘探掘方允許セラルルコトナリタル南滿洲各種鐵山ニ付テハ從來其ノ探掘區域出願手續其他ニ關シ問題ヲ惹起シタルコトアリ今猶懸案中ニ屬スルモノナキニ非スト雖何レノ場合ニ於テモ政府ハ夫々關係各領事ヲシテ機宜ニ應シ保護又ハ援助ヲ與ヘ或ハ直接支那官憲ニ抗議セシムル等相當處置ヲ怠ラス

四支那ニ於ケル鐵礦暫行辦法及鐵礦國有實施ニ付テハ在支公使ハ支那政府カ條約ノ明文ニ依ラスシテ鐵礦石ノ輸出ヲ禁止シ又ハ制限シ若ハ鐵礦ノ探掘ニ外資ヲ用フルヲ禁止スルノ不法ナルヲ指摘シ支那政府ノ考量ヲ促カシツツアリ同時ニ鳳凰山鐵礦問題ニ付テ公使及關係領事ニ於テ支那官憲ニ交渉シ極力其ノ解決ニ盡瘁中ナリ

桃冲鐵礦問題ハ既ニ當事者間ニ於テ解決ヲ告ゲタリ

右及答辯候也

大正七年三月十八日

外務大臣法學博士子爵本野一郎

大正七年三月十八日

內閣總理大臣伯耆寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員牧山耕藏君提出殖民地統治ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

官報號外

大正七年三月二十日

衆議院議事速記第二十五號

議長ノ報告

見ルヘキモノアリテ人民ノ生活狀態益々改善ノ域ニ進ミ地方極メテ靜謐ニシテ秩序アル發達ヲ遂ケツ、アリ
殖民地統治機關ノ組織並其ノ政策ニ關シテハ目下變更ノ必要ヲ認メサルモ常ニ考究ヲ懈ラサルヘシ

大正七年三月十八日

內閣總理大臣伯耆寺內正毅

大正七年三月十九日

內閣總理大臣伯耆寺內正毅

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員鈴木富士彌君提出千葉縣安房郡ノ再選舉ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員鈴木富士彌君提出千葉縣安房郡ノ再選舉ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一乃至三、千葉縣安房郡ニ於ケル選舉無効トナリタルカ爲同縣ノ選舉ハ完了セザル結果ヲ來セシモノニ付知事カ一旦付與シタル總テノ當選證書ヲ取消シ又千葉縣ニ於ケル當選人ヲ定メムカ爲安房郡ニ於テ更ニ選舉ヲ行ハシメタルハ何レモ正當ノ處置ナリト認ム

右ノ如ク千葉縣ノ選舉ハ完了セザル結果ヲ來セシモノニ付衆議院議員選舉法第七十條ノ適用ハ無之モノト思料ス

四選舉事務ニ付テハ萬遺算ナカラシコトヲ期シ常ニ關係官公吏ニ對シ周密ナル監督ト指導トヲ怠ラス

右及答辯候也

大正七年三月十九日

內務大臣男爵後藤新平

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去年六月議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

渡邊 祐策君 根 本 正君 小田切磐太郎君

長田 桃藏君 荒川 五郎君 大津 淳一郎君

樋口 秀雄君 福田 辰五郎君 川口 木七郎君

自動車事故ノ責任ニ關スル法律案 佐々木 文一君 成田 榮信君

清 釜 太郎君 石川 玄三君 三木 武吉君

高見 之通君 川村 惇君 野口 孝治君

武藤 嘉門君 山田 平間鐵道建設ニ關スル建議案 古谷 久綱君 生田 和平君

白石 直治君 渡邊 陳平君 大林 森次郎君 加治 壽衛吉君

衛生行政ノ中樞機關擴大ニ關スル建議案 富田 幸次郎君 川真田 德三郎君

八木 逸郎君 土屋 清三郎君 丸山 嵯峨一郎君 齋藤 紀一君

橫田 孝史君 我如古樂一郎君 金杉 英五郎君 綾部 惣兵衛君

近藤 達兒君

福井縣三國港築港ニ關スル建議案

熊谷五右衛門君 山口恆太郎君 柳原九兵衛君

秋山金也君 松井文太郎君 湯淺凡平君

信越線碓氷鐵道改良ニ關スル建議案

櫻井兵五郎君 西川太治郎君 百瀬清治君

工藤善助君 菅野傳右衛門君 降旗元太郎君

志々目藤彦君 平田健太郎君 植原悦二郎君

久須美東馬君 竹村良貞君 林毅陸君

水産教育振興ニ關スル建議案 關矢儀八郎君 鵜澤宇八君

廣瀨鎮之君 佐々木平次郎君 高戸郁三君

奥田龜造君 松本誠之君 去十六日東京市特別市制ニ關スル建議案外一件委員田中萬逸君辭任ニ付其補闕トシテ前川虎造君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

唐端清太郎君 一昨十八日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第五部選出 請願委員西村正則君(南里琢一君補闕)

一昨十八日軍需工業動員法案委員會理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

軍需工業動員法案 理事前川虎造君(理事望月長夫君補闕)

一昨十八日水産教育振興ニ關スル建議案委員松本誠之君辭任ニ付其補闕トシテ古川清君ヲ郡制中改正法律案委員平山岩彦君辭任ニ付其補闕トシテ田中善立君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

一昨十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

市町村立小學校教員退職料及遺族扶助助法中改正法律案委員會

委員長 渡邊祐策君 理事 福田辰五郎君

自動車事故ノ責任ニ關スル法律案委員會 理事 高見之通君

委員長 野口孝治君 理事 川真田德三郎君

山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案委員會 理事 土屋清三郎君

委員長 白石直治君 理事 湯淺凡平君

衛生行政ノ中樞機關擴大ニ關スル建議案委員會 理事 平田健太郎君

委員長 金杉英五郎君 理事 古川清君

福井縣三國港築港ニ關スル建議案委員會 理事 湯淺凡平君

委員長 熊谷五右衛門君 理事 平田健太郎君

信越線碓氷鐵道改良ニ關スル建議案委員會 理事 古川清君

委員長 工藤善助君 理事 古川清君

水産教育振興ニ關スル建議案委員會 理事 古川清君

委員長 廣瀨鎮之君 理事 古川清君

(左ノ質問主意書ハ政府ヨリ答辯書送付ニ付參照ノタメ掲載ス)

紙價調節ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

大正七年三月七日

提出者 小泉又次郎

贊成者 關和知 外三十四人

紙價調節ニ關スル質問主意書

昨年七月第三十九回議會ニ於テ本院ハ東京及大阪書籍組合、東京及大阪圖書出版協會、東京雜誌業組合、中等教科書協會等ヨリ呈出セル紙價調節ニ關スル請願ヲ採擇シ之ニ基キテ政府ハ昨年九月ヲ以テ印刷料紙輸出ニ關スル左ノ農商務省令ヲ發布シタリ

「ザラ紙」ヲ除キタル他ノ印刷料紙ヲ輸出セムトスル者ハ政府ノ認可ヲ受クルヲ要ス然ルニ普通一般ニ最多ク使用スル印刷料紙ハ右省令ニ於テ除外シタル「ザラ紙」ト稱スルモノニシテ此ノ種ノ紙價ハ右省令ニテ除外セラレ居ルカ故ニ益騰貴シ戰前ニ比較スルトキハ實ニ二倍ニシテ即チ二十割ノ騰貴ナリトス内國ニテ生産シ得サル鐵其ノ他數種ノ藥品ヲ除キテハ斯ノ如ク暴騰セシモノアルヲ見ス元來書籍雜誌ハ國民智識ノ源泉ニシテ體力ヲ養フ食品ト同一程度ニ於テ精神智識ノ營養品タル日常生活ノ必須品ナリ從テ紙價ノ騰貴ハ國民智識涵養ノ源泉ヲ涸渴セシム是レ決シテ輕々ニ看過スヘカサルモノトス

事ノ實際上ニ於テ現今紙價騰貴ノ爲ニ影響ヲ被リ困難ヲ感シ居ルモノハ俗惡ナル雜誌又ハ娛樂的書籍ノ出版業者ニ非スシテ却テ學術書又ハ學術上ノ專門雜誌ナリ眞ニ國民智識上有益ナル書籍雜誌ハ或ハ出版ヲ見合セ或ハ廢刊シ若ハ將ニ廢刊ノ非運ニ頻セルモノ少カラス豈國民智識ノ進歩上憂懼スヘキ事ニ非スマ

勿論物價ノ騰貴ハ單ニ紙ノ價ニ非ス他ノ日用品亦皆騰貴セリ而モ紙價ノ騰貴率ハ他ノ日用品ニ比シ高キニ過ク若騰貴ノ原因ニシテ原料ノ騰貴工賃ノ増加等自然のナルニ於テハ止ムヲ得スルモノ二三當業者ノ暴利ヲ貪ルカ爲ニ騰貴スルノ事實ヲ見テハ政府ハ決シテ默々ニ附スヘカサルモノナリト信ス各製紙會社ハ戰前ニ於テハ五分乃至八分ノ配當ヲ爲スニ過キザリシモ大正五年下半年ニハ一割八分乃至一割ノ配當ヲ爲シ大正六年下半年ニハ一躍シテ二割二分乃至三割ノ配當ヲ爲スニ至リタルノミナラス其ノ純利益ハ實ニ五割以上ニ達セルモノ少カラス又洋紙取引商ノ如キ其ノ資産ヲ數倍又ハ十倍シタルモノ比々皆然リ

斯ク一方ニ巨利ヲ博シツアル者アルニ尙政府ハ紙價ノ騰貴ヲ理由トシ中學教科書及小學教科書ノ一部値上ヲ許可セリ教科書ハ勿論教科書以外ノ手帳其ノ他紙ヲ原料トスル國民教育用材料諸品カ數倍ノ騰貴ヲ來シタルハ國民教育上ニ及ボス影響ノ大ナルハ言フ俟タス全國數百萬ノ兒童ノ父兄ハ皆此ノ騰貴ノ爲重苦ナル教育費ヲ負擔シツアルナリ

今日吾カ製紙ヲ輸出シテ販路ヲ海外ニ擴張スルハ固ヨリ必要ナリ然レトモ内國ノ需用者ヲ苦シメ國民教育及國民智識ノ進歩ヲ阻害スルコトナク其ノ利益ヲ得ルコト正當ノ範圍ニ満足シテ大ニ輸出スルヲ以テ至當トスヘシ

以上ノ事實アルニ拘ラス何故ニ政府ハ「ザラ紙」ノ輸出禁止ヲ斷行シ其ノ紙價調節ノ本旨ヲ徹底セシメサルヤ政府ノ所見如何

右及質問候也

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○熊谷直水君 日本體育會國庫補助ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス

○松田源治君 久留米大分間鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、許可ヲ願ヒマス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス

○松田源治君 該委員會ハ懲罰委員會ハ御參集ヲ願ヒマス

○渡邊祐策君 市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、許可ヲ願ヒマス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス

○伊東知也君 本員ノ計算スル所ニ依ルト、定足數ヲ缺イテ居リマスガ、ソレデモ會ヲ御開キニナリマス

○副議長(濱田國松君) 定足數ハアルト思ヒマス

○伊東知也君 アリマセマ

(アリマスト呼フ者アリ)

○伊東知也君 特別委員會ヲ開イテ皆行クト、定數ヲ缺イテ仕舞ヒマス

○熊谷五右衛門君 福井縣三國港築港ニ關スル委員會ヲ開キタイノデアリマス、御許シテ願ヒマス

○副議長(濱田國松君) 許可致シマス——質問第一、四田銳吉君

一 市町村長及助役優遇ニ關スル質問(恆松隆慶君外一名提出)

市町村長及助役優遇ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出也

大正七年二月二十八日

提出者 恆松 隆慶

贊成者 岩 崎 勳

外三十五人

市町村長及助役優遇ニ關スル質問主意書

市町村長及助役ハ常ニ自治ノ發達ニ力ヲ效シ教育産業衛生土木徵稅兵事ハ勿論戸籍吏ヲ兼テ百般錯綜セル職務ニ服スルヲ以テ其ノ責任重大ナルト同時ニ最手腕家ヲ要スルヲ論ナシ然ルニ市町村ノ財政薄弱ナルカ爲高俸ヲ以テ之ヲ遇スルコト能ハス又永年其ノ職務ニ從フモノ何等優遇法ノアルナシ從テ手腕家ヲ得難キノミナラス偶々其ノ人ヲ得ルト雖永ク其ノ職ニ安スル者無シ惟フニ一般官吏ニハ幾多優遇法アルニ拘ラス市町村長及助役ニ對シテハ此ノ如シ自治ノ發達上豈遺憾ナラスヤ故ニ一般官吏ニ對シテ相當ノ優遇法ヲ設クルハ目下ノ緊急事ニ屬ス政府ハ之ニ對シテ相當ノ調査ヲ爲シツツアリヤ如何又相當ノ施設ヲ爲スノ意向アリヤ如何

右及質問候也

(四田銳吉君登壇)

(拍手起ル)

○四田銳吉君 市町村長及助役優遇ニ關スル質問書ノ趣意ヲ說明シタイト思ヒマス、本員ト恆松君ト兩名ヲ以テ提出致シテ置キマスガ、提出後既ニ三週間ヲ經過致シ、其間ニ於キマシテ此問題ニ付テ更ニ建議案ガ提出サレテ居ルノデアリマス

官報號外

大正七年三月二十日

衆議院議事速記第二十五號

市町村長及助役優遇ニ關スル四田銳吉君ノ質問演說

五三三

ス、吾々モ最初建議案ヲ提出シヤウカト考ヘタノデアリガ、併ナガラ此市町村長及助役優遇ニ關スル問題ハ、極メテ重要ナル問題デアッテ、多分政府ニ於テモ吾々ト同感デアラウ、斯様ナ考カラ寧ロ質問シテ、政府ノ答辯ヲ得タ方ガ手取り早イデアラウト考ヘテ、吾々ハ質問ヲスルコトニシタノデアリマス、此市町村長ノ職務ノ多端ニシテ、其責任ノ重大ナルコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、或ハ教育或ハ勸業或ハ土木衛生、其他兵事徵稅、若クハ戸籍ノ事務迄モ兼ヌルト云フコトデアリマシテ、實ニ多端ナル職務ヲ執リテ居ルノデアリ、之ニ對シテ相當優遇ノ方法ヲ設ケナケレバ、適當ノ人物ヲ得ルコトノ出來ナイハ勿論デアリト思フ、吾々ハ此處ニ優遇ノ質問ヲ致シマス、大體ノ趣意ハ、質問書ニ書イタル通りデアリマス、唯、此處ニ少シク諸君ノ御注意ヲ促シテ、且ツ政府ノ答辯ヲ促シタイト考ヘル事柄ハ、此市町村制ガ實施セラレテ以來、既ニ三十年ニナッテ居ル、此間ニ於キマシテ市町村ノ自治ト云フモノハ甚ダ振ハナイノデアリ、奮ニ振ハナイノミナラス、失態百出、身ハ公金ヲ費消スル市町村ノ公吏モアル、或ハ瀆職罪ヲ犯ス者ガアル、其爲ニ起訴セラレ或ハ處刑セラレ、中ニハ事ノ發覺スルニ及ンデ一死ヲ遂ゲルト云フヤウナ人間モ多クアルノデアリマス、斯様ナル成績ノ不具ナル狀態、且ノ失態百出、私ノ調査ヲ致シマシタ所ニ據ルト云フト、大正四年ニ於キマシテ市町村ノ公吏ノ起訴セラレタル者ノ數ガ五百九十九人アリマス、其中デ町村長ガ二百六十八人、實ニ多數デアリマス、又大正五年ニハ市町村公吏ノ起訴セラレタル者ガ二百七十六人、其中町村長ガ八十四人、斯ノ如ク多數ノ人間ガ犯罪者トシテ起訴セラレタリト云フヤウナ狀態デアルノデアリ、而シテ此市町村ノ中テ稍成績ノ良イト云フモノハ、如何ナルモデアルカト云フト、誠ニ消極的ニ徵稅事務ガ整頓シテ居ル、總テノ事務ガ整理シテ居ルト云フヤウナ位ノ意味ニ過ギナイノデアリ、結局教育ガ振興ラシテ居ルカ、産業ガドウデアルト云フヤウナ積極的ノ意味ニ於テ、模範町村ト稱セラレヤウナモノハ無イ、今日模範町村ト稱セラレ、モノハ、概シテ消極的ノ模範町村、畜ニ事務ガ整理シテ居ルト云フニ過ギナイ、而シテ内容ヲ見マスト云フト、此事務ノ整理シテ居ルト云フコトハ、即チ郡長デアルトカ、或ハ府縣知事ノ命令トカラ柔順ニ遵奉ラ致シマシテ、唯、事務ノ整理ヲ圖ッテ居ル、事務ヲ整頓サセテ居ルト云フモノガ、即チ模範町村トナッテ居ル、是ガ模範町村ト云フノハ實ニ心細イ話ト謂ハナケレバナラス、而シテ此模範町村ガ斯ノ如キ狀態デ、事實ニ於テハ自治デハナイノデアリ、即チ自治デアアル、郡長トカ府縣知事ノ命令ヲ遵奉シテ、サウシテ事務ヲ整理スル、眞面目ニ事務ヲ整頓サセテ居ルト云フモノガ模範町村デアルト云フノデカラ、決シテ是ハ自治デハナイ、自治デアアル、又積極的ニ幾ツカ事務ノ舉ゲテ居ル町村ノ有様ヲ見マシテモ、同シク多クハ郡長若クハ府縣知事ノ指導ニ依ッテ、事務ヲ舉ゲテ居ルニ過ギナイノデアリ、同シク自治デアアルノデアリ、諸君ハ官僚政治ノ打破ヲ叫バレルガ、根本ニ於テ市町村ガ既ニ官僚政治デアアルノデアリ、即チ市町村ノ官僚政治ニシテ置イテ、此儘ニシテ置イテ官僚政治ヲ打破ノ事柄ヲ叫ブト云フコトハ、即チ本來ヲ顛倒シテ居ル、私ハドウシテモ官僚政治ヲ打破スルニ先ダッテ、市町村ノ自治體ノ官僚政治ヲ打破シナケレバナラス、即チ此自治ノ狀態ヲ具ノ自治ノ狀態ニ改メナケレバナラス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、市町村ノ狀態ガ斯ノ如ク成績ガ不具失態百出シテ居ル、其原因ハ何デアラカト云フト、歸スル所市町村長ニ其人ヲ得ザルニ由ルモノデアルト云フコトハ明カデアラウト思フ、此市町村長ノ詮衡ノ困難ナル、殊ニ大都會ノ地ニ於キマシテ、市長ノ銓衡ノ困難ナコトハ、諸君モ十分ニ御承知ノコトデアリマス、偶々適當ノ人物ヲ得テモ、其人ハ直ニ逃ガ出シテ仕舞フノデアリ、或ル市長ノ如キハ市長ノ職ヲ去ルニ當テ、子々孫々市長ノ職ニハ當ラセナイト云ッテ、市長ノ職ヲ去タト云フ話デアアル、斯ノ如ク市長ト

云フモノニハ成リ人ガナシ、偶々其職ニ當ル者ハ如何ナル者デアラカト云フト、役人ノ古
手ヲ浪人ヲシテ居テ、其俸給ヲ目當ニシテ市長ニナルノデアアル、然ラズンバ陋劣ナル人
間、市會議員ナドニ頭ヲ下グルコトノ巧ミナル陋劣ナル人間ニ過ギナシ、立派ナル人ハ皆
市長ニナルコトヲ避ケル、斯ウ云フ状態デアリマス、又町村長モ同様ニ、第一流ノ人間
ハ町村長ニナルコトヲ嫌フ、地方ノ状態ヲ見マス、中ニハ第一流ノ人物ガ町村長ニナ
テ居ル者モアリマス、概シテ三流四流ノ人間許リデアアル、斯ノ如キ人物ヲ以テ地方
自治ノ振興ヲ期スルコト云フコトハ抑々困難ナルコトハ申ス迄モナイコトデアラウト思フ、ソ
レ故ニ此市町村ノ成績ノ不良ナル、決シテ怪ミ足ラス、此状態ヲ改善スルノハ如何ニ
シテ宜シイコト云フト、即チ市町村長ノ待遇ヲ善クシテ、其地位ヲ高メテ、而シテ第一
流ノ人物ヲ市町村長タラシムルニアリト云フコトハ明カデアラウト思フ、如何ニスレバ市町
村長ニ第一流ノ人物ヲ得ル事ガ出來ルカ、是ハ大ニ攻究ヲ要スル問題デアリマス、或ハ
物質的ノ待遇ヲ善クスルノモ一法デアリマセウ、併ナガラ今日ノ市町村ノ状態ニ於キマシ
テ、餘リ此物質的ノ待遇ヲ善クスルコト云フ餘地モナイヤデアアル、英國ノ如キハ市町村
長ハ名譽職デアアル、倫敦ノ市長ノ如キハ年三二十萬圓位モ自腹ヲ切ルト云フ話デアアル、併
ナガラ此市町村長ノ下ニ使ハレテ居ル書記ト云フヤウナモノニハ、非常ニ高給ヲ拂テ立派
ナル人間ヲ使ハシテアル、中ニハ一年三二萬圓トカ、二萬圓トカト云フ俸給ヲ取テ居ル書記
モアル、日本ノ書記ハ如何デアラカト云フト、町村ノ書記ノ如キハ一年三百圓カ五十圓ニ過
ギナイヤウナ哀シナルモノデアアル、立派ナ書記ヲ使フ事ガ出來レバ、其立上ツ所ノ市町村
長デアラカラ、又立派ナル人物ヲ得ルコトモ出來ルノデアアル、此物質的ノ待遇ヲ善クスルコト云
フコトモ、或ハ市町村長ノ待遇ヲ善クスルガ宜イカ、或ハ市町村長ハ名譽職ニシテ置イテ、
其下ノ市町村吏員ノ俸給ヲ高クシテ、立派ナル人間ヲ備フコトニシテ方ガ宜イカ、
是モ研究スベキ問題デアラウト思ヒマス、何レニシテモ或ハ此物質的ノ待遇モ必要デア
ラウト思フ、併ナガラ之ヲ爲スノニハドウシテモ市町村ノ經費ノ負擔ヲ輕クスルコト云フコト
ガ必要デアアル、今日ノ状態ニ於キマシテハ、到底市町村吏員ニ高イ俸給ヲ拂フコト云フ餘
地ハ無イノデアアル、今回政府カラ提出セラレテ本院ヲ通過シマシタ所ノ、小學校教育費
負擔ノ如キモ、一箇年ニ僅ニ一千萬圓位ノコトデハ、市町村ノ負擔ヲ輕減セラレタトハ
言ヘナイノデアアル、先ヅ斯ノ如キ方法ニ依テ市町村ノ負擔ヲ輕減シテ、市町村ノ財政
ニ餘裕ヲ生ゼシメテ、幾ラカ此市町村長若クハ市町村吏員ノ待遇ヲ善クスル途ヲ講ズ
ルコトガ、必要デアラウト考ヘルノデアアル、併シテ是ハ物質的ノ優待バカリデハ足ラナイ
ノデアアル、更ニ名譽ノ方面カラモ待遇ヲ善クスルコト云フ方法ヲ講シナケレバナラス、或ハ位
階勳章ヲ與ヘタラ宜カラウト云フヤウナ説モアリマス、斯ノ如キモノハ抑々此自治體ノ
公吏ニ與フベキモノトシテハ、如何デアラウカト考ヘル、殊ニ市町村ニハ在郷軍人ニ勳八
等、勳七等ト云フヤウナ者ガ澤山ニアル、市長村長ニ勳八等ヤ七等ヲ與ヘタ所ガ餘リ
優遇ニハナラナイ、サリトテ餘リ高キ勳章ヲ與ヘルト云フコトモ六等數イット云フヤウナ事情
モアルカモ知レナイ、何レニシテモ此市町村長ニ勳章ヲ與ヘルノ位階ヲ與ヘルト云フヤウ
ナコトハ、或ハ考物デアラウ、又高等官待遇ニシテラドウカト云フヤウナ説ガアリマス、是
ハ自治制ノ根本義ニ反スル話デアラカラ、他ノ官吏ト同様ノ待遇ニ致スト云フコトハ出
來マイト考ヘル、シテ見ルト云フト位階勳章モ面白クナイ、高等官待遇ハ勿論惡シ、如
何ニシテラバ名譽ノ上カラ此位置ヲ高メルコトガ出來レデアラウカト申シマス、先ヅ私
共ノ考ヘル所ニ依ルト、公共ノ爲ニ功勞ナル者ニ對シテ特殊ノ表彰ノ方法ヲ設ケラル
ルト云フヤウナコトガ一策デアラウカト思フ、或ハ是ガ唯一ノ策デアアルマイカト考ヘル、而
シテ町村長其他獨リ町村長ニ限ラズ、有ラニ階級ノ議員公吏トカト云フヤウナ、即チ官

吏以外ノ公共ノ爲ニ功勞ナル者ニ、之ヲ與ヘルト云フヤウナ特殊ノ表彰方法ヲ設ケラ
レタラ如何デアラウカト考ヘルノデアアル、又其他ニ我國ニ於テハ皇室ハ名譽ノ源泉デア
ル、此皇室ヲ中心ニシテ、即チ皇室ノ御待遇ノ點ニ於キマシテモ、市町村長ナドニ對シテ御
待遇ノ上ニ於キマシテ、輔弼ノ責ニ當ラル、所ノ内閣諸公ガ少シク考慮セラレタラ如何
デアラウカト思フ一例ヲ舉ゲテ見マス、勳八等トカ正八位トカ云フヤウナ階級ニ在
ル人ハ、新年其他ノ二大節等ニ於テ參賀シタリ、或ハ賀表ヲ捧呈スル所ノ資格ヲ與ヘ
ラレテ居ル、然ルニ町村長ナドハ此資格ヲ存シテ居ナイノデアアル、直接ニ人民ヲ代表スル
所ノ町村長ガ、此勳八等ノ一兵卒ニ劣タル待遇ヲ受ケテ居ルト云フ有様デハ、是ハ決
シテ相當ノ待遇ヲシテ居ルモノトハ言フコトガ出來マイト考ヘル、故ニ斯ノ如キ點ニ付キ
マシテモ、是ハホソノ一例デアリマス、斯ノ如キ點ニ付テ、内閣諸公ハ宜シク御考慮ニナ
カト思フ、要スルニ是等ハ決シテ成案トシテ茲ニ提出スル次第デアリマセウ、唯、政府ノ
之ニ對スル方針ヲ問ハシガ爲ニ、種々ナル例ヲ舉ゲ、又種々ナル意見ヲ茲ニ羅列シテ、政府
ノ意思ヲ尋ネルニ過ギナイノデアリマス、以上述べマスル所ニ於キマシテ、政府ハ如何ナル
考ヲ有テ居ルカ、吾ト同感デアルヤ否ヤ、又同感デアルト云フナラバ、如何ナル方針ヲ
以テ今後實行シヤウト云フ考デアラカ、之ニ付テ明瞭ナル答辯ヲ與ヘラレムコトヲ望ム、
私ハ速ニ御答辯ヲ望ムノデアハナイ、十分ニ考慮セラレテ、研究セラレテ或ハ是ガ爲ニ閣議
ヲ開カレテモ方針ヲ決定セラレテ、單ニ其場限りノ答辯、氣休メノ答辯デナイ政府ノ
此問題ニ付テ決定シタル意見ヲ示サレムコトヲ望ムノデアリマス

(拍手起ル)

- 小久保喜七君 私ハ神祇ニ關スル議案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス
- 副議長(濱田國松君) 宜シウ御坐イマス
- 小久保喜七君 ヲレデハ第二面談室ニ委員ノ諸君ハ御集合ヲ願ヒマス
- 副議長(濱田國松君) 次ハ第二質問、田中萬逸君

二 露領勘察加ノ割讓並露領沿海州漁業權ノ割讓ニ關スル質問
(田中萬逸君提出)
露領勘察加ノ割讓並露領沿海州漁業權ノ割讓ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正七年二月二十八日
提出者 田中 萬逸

贊成者 岩 佐善太郎

外二十九人

露領勘察加ノ割讓並露領沿海州漁業權ノ割讓ニ關スル質問主意書
米國政府並其ノ保護ヲ受クル米國人カ露國ニ對シ種々ノ利權ヲ獲得セムカ爲メニ
活躍シタルノ事實ハ去年二月二十六日貴族院豫算委員會ニ於テ貴族院議員
高橋作衛君ノ質問ニ對スル本野外務大臣ノ答辯ニ依テ明ナリ果シテ然ラハ其ノ私
人タル國家タルトニ論ナク帝國ノ享受スヘキ影響ハ決シテ少ナリトセス、殊ニ米國
並米國人カ極力獲得ニ努メタルハ露領勘察加ノ買収ト露領沿海州ニ於ケル漁
業權ノ割讓ニ在ルモノ、如シレバ彼「ボーツマウス」講和條約第十一條ニ依リ千
九百十七年七月十五日ヲ以テ締結セラレタル日露漁業協約ニ基キ日本ノ漁業權ニ
對シ頗ル重大ナル關係ヲ有スルニ非スヤ若露國カ米國ニ對シ露領勘察加ノ割讓シタル場
合共ノ他米國人カ是等ノ地方ニ於テ爲シタル施設カ日本ノ既得權ヲ侵害スルカ如
キ事アラムカ其ノ影響極メテ重大ナリ依テ斯ノ如キ場合ニ於テハ當然日本ノ既得權

ヲ防衛スルノ措置ニ出テサルヘカラス果シテ米國ハ露領勘察ヲ買収セムトシツ、アリ
ヤ且米國人ハ日本ノ漁業權ヲ侵害スルカ如キ行動ヲ敢テ爲シツ、アリヤ否斯ノ如キ
事柄ハ之ヲ未發ニ防クヲ以テ外交上當然ノ措置ナリト信ス政府ハ果シテ斯ノ如キ措
置ヲ執リタル事實アリヤ否之ニ關シ詳細ナル答辯ヲ求ム
右及質問候也

(田中萬逸君登壇)

(拍手起ル)

○田中萬逸君 本員ハ米國及米國人ガ露國ニ對シテ種々活動ヲ致シツ、アリマスル
事柄、即チ熱心ニシテ巧妙ナル所ノ運動方法ニ依リマシテ、密ニ利權ヲ獲得ニ努メツ、
アリマスル事柄ノ中ニ於キマシテ、最モ彼等ガ努力ヲ致シ、延テハ帝國ニ重大ノ關係ヲ
及ボシマスル所ノ露領勘察加ノ割讓問題、並ニ露領沿海州ノ漁業權ノ割讓問題、此
二問題ニ付キマシテ現内閣諸公、殊ニ本野外務大臣ニ質問ヲ致シタイト存ズルノデア
リマス、此問題ニ付キマシテハ本員不肖ナガラ多大ノ研究ヲ遂ゲマシテ、的確ナル材料
ニ依リマシテ、彼等ガ既ニ活動ヲ致シツ、アル事柄ノ事實デアルト云フ事ヲ、斷言スルニ
躊躇致サナイノデアリマス、サリナガラ事柄モ外交ノ機微ニ觸レ、國家ノ利益ニ關スル事
頗ル重大デアリマスルガ故ニ、寧ロ沈黙ヲ守ルヲ以テ國家ノ爲メニ利益デアルト確信ヲ
致シマシテ、已ムナク沈黙ヲ守リ居リマシタ所ガ、去ル二月ノ十六日貴族院ノ豫算委
員會ニ於テ、高橋作衛君ヨリ此問題ニ對スル質問ガアリ、本野外務大臣ノ御答辯ガ
アリマシタケレドモ、ソレガ爲ニ却テ世人ノ疑竇ヲ増サスト云フヤウナ事ニナリマシタノデ、
此處ニ此質問ヲ提出致シタ次第デアリマス、本野外務大臣ノ御答辯ハ、貴族院ノ速
記録ニアリマスルカラ、時間ヲ省クノ故ヲ以テ爰ニ朗讀ヲ差控ヘマスガ、要スルニ米國人
ガ盛ニ活動ヲシテ居ルト云フ事ハ、承知ヲ致シテ居ル、併シ是ハ唯々單ニ運動ヲセリト
云フニ過ギナイノデアツテ、未ダ事實ニナツテ居ラス、即チ彼等ハ未ダ目的ヲ達シテ居
ラスト云フコトニ歸著ヲ致スノデアリマス、若シ此問題ガ本野外務大臣ノ言葉ノ如ク事
實ニナツタト致シマシタラバ、國家ニ取ツテ實ニ重大ナ事デアリマス、如何ニ百千ノ質問
ヲ致シマシタトモ、何等得ル所ハナイノデアリマスルヲ以テ、本員ハ事前ニ研究ヲ致シ、
其所十分ノ了得ヲシテ置カケレバナラヌト存ズルノデアリマス、果シテ帝國ハ如何ナル
方針ヲ以テ之ニ臨ミシ、アリヤ、又今後ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラントスルノデア
ルカ、之ニ對スル明確ナル答辯ヲ要求致スノデアリマス、米國ガ露國ノ革命ニ對シマシ
テ、同情ヲ致シマスル事ハ尋常ニテハ證明セル所ノ「レニン」政府、此過激派政府ニ對シ
殆ト同一ニ歸セル事ヲバ、事實ニ於テ證明セル所ノ「レニン」政府、此過激派政府ニ對シ
テスラモ、一方ナラヌ好誼ノ態度ヲ以テ臨ンデ居リマスル事ハ、諸君モ御承知ノ如クデア
リマス、斯ク米國ガ露國ニ對シマシテ同情ヲ致シマスル所以ハ何デアルカト申シマシタラ
バ、此團體ノ共鳴ニモ依ルノデアリマセウケレドモ、實際ニ其志ノアリマスル所ヲ討究致シ
マシタラバ、宏大茫漠タル所ノ露國ノ領土、歐亞ノ兩大陸ニ跨レル所ノ宏大ナル露國ノ
領土ニ豐富ナル所ノ資本ヲ投下致シマシテ、而シテ其富源ヲ開發シ、露國ノ文明ヲ援助
シ、斯クシテ米國ノ勢力ト富力ト露國ニ移シ植ヘント致シマスル爲メデアリマスマイカ、
忌憚ナク申上ゲマシタラバ、日本ノ勢力ノ北進スルヲ阻マントスルノモ、亦一ノ目的
デアリマスマイカ(拍手起ル)現ニ最近ノ情報ニ依リマスレバ、駐露米國大使「フランシ
ス」氏ハ過般聯合各國大使ト共ニ、一旦露國ヲ引揚ゲマシタモノ、中途「ヴォーロクダ」
ニ駐在致シマシテ、斯ノ如キ聲明ヲ致シテ居リマス、其聲明ハ米國ハ露國ニ對シ誠實ナル
友邦ナル事實ニ於テ表明スベク、危害ノ身邊ニ及ボスマデハ斷テ露國ヲ退去セザル

ベシ、斯様ナ聲明ヲ致シテ居リマスルノミナラズ、尙ホ「ウイリソン」大統領ノ訓電ニ基キ
マシテ、此「フランシス」大使ハ莫斯科ナル米國領事ヲ經由シテ、講和條件ノ批准ニ關
シマシテ、去十四日莫斯科ニ於テ開カレタル所ノ全露勞兵大會ニ向ツテ、左ノ如キ通牒
ヲ發シテ居リマス、ソレハ米國ハ露國ノ民主化ヲ殊ノ外喜ブモノナリ、故ニ若シ獨逸ニシ
テ露國ニ於ケル民主政治ノ發達ニ阻害ヲ加フルガ如キ事アラバ、我米國ハ民主政治
ノ擁護ノ爲メ十分ニ援助ヲナスベシ、斯様ナ通牒ヲ致シテ居リマスルガ、倍此「フランシ
ス」大使ガ「ヴォーロクダ」ニ留マツテ居リマス、其勇氣、並ニ勞兵大會ニ致シマシタ所ノ
其行爲、此勇氣ト行爲トハ單ナル所ノ勇氣ト行爲ト止マラスシテ、其裏面ニハ力強キ
或ル物ガ潜在致シテ居ラナイカト云フ事ヲ疑フノデアリマス、現ニ米國ノ此行爲ニ伴フ
所ノ巧妙ニシテ熱心ナル運動ノ效果ガ、形トナツテ現レマシタモノ、即チ今日迄ノ米人ノ
手ニ確ト握ラレマシタ所ノ利權幾許アリヤト申シマスレバ、約左ノ四點デアラウト考ヘル
ノデアリマス、其一ハ露國ノ全部ノ鐵道ノ守備、及運輸ヲ引受ケマシタ此利權デアリマ
ス、是ハ現ニ「シチユワード」大佐ガ鐵道隊ヲ率テ一旦日本ハ引返シテ參リマシタモ
ノ、去二月ノ末日、再ビ露國方面ニ向ツテ出動致シマシタ事ハ、諸君ノ御承知ノ事デ
アリマス、次ハ露都ニ於キマシテ甚ダ得難キ權利デアリマス、拘ラズ、紐育「シチー」銀行
ノ支店設立ノ特權ヲ得マシタ其利權、第三ニ於テハ露國ノ都市、殊ニ露國東部ノ都
市ニ於テ、電燈デアルトカ瓦斯デアルトカ、其他都市ノ經營上必要ナル機關ノ特營權
ヲ得マシタ所ノ其利權、第四ニ於キマシテハ鑛山發掘ノ權利ヲ獲得致シマシタ事デアリ
マス、單ニ此鑛山ニ關スル利權ヲ得タ事柄ノミニテモ、烏拉爾ヨリ以東ト限ツテ、優ニ一
億萬以上ノ資本ガ投下サレテ居ルト云フ事デアリマス、本員ハ斯様ニ鮮カナル所ノ手
際ヲ有スル米國ヲ向フニ廻シテ、外務當局者ガ露領勘察加ノ割讓問題、並ニ沿海州
漁業權割讓問題ガ、マダ事實ニナツテ現レヌト云フ事ハ如何ナルガ如キハ、太平樂ト云ハ
カ神經過敏ト云ハウカ、其態度ニ就テ適當ナル評語ヲ加ヘル其言葉ヲ發見シ得ルニ苦ム
次第デアリマス、而モ現今ハ御承知ノ如ク、獨逸ノ勢力ガ漸次來漸シテ參リマシテ、露國
動亂日ニ甚シク、我帝國亦頗ル多事デアル所ノ所謂火事場泥棒ヲ致シ易キ所ノ時機デ
アリマシテ、彼等利權黨ニ取リマシテハ、所謂活潑潑地ノ大活動ヲ爲シ、其目的ヲ遂行
致シマスルニ最モ適良ナル秋デアリマスカラ此際一層ノ注意ヲ喚起セザラ得ナイノデアリ
マス、元來米國ガ露領勘察加ヲ買収セントスルコトハ、是迄一再ナラズ傳ヘラレタノデアリ
マス、サリナガラ多クハ架空ノ說トシテ世人ハ之ヲ假サナカッタノデアリマス、故ニ今回ノ
既ニ活動期ニ入レル事實動カベカラザル事ニ對シテモ、尙ホ世人ハ架空ノ說デアルト思ッ
テ居リマスルコトハ、大ナル間違デアリマシテ、現ニ彼ノ「ル」氏ガ露國ニ使ヲ致シマシテ
カラ問モナク、此勘察加割讓ノ價額スラ協定サレント致シマシテ其代價ハ露國ガ六百億
留ヲ要求致シマシタノニ對シテ、米國ハ其三分ノ一即チ二百億留ヲ主張致シマシタコト
ハ、當時ノ哈爾濱電報ノ齎ス所デアリマシタ、之ヲシモ政府當局者ハ、例ノ惡戯好キノ
新聞通信員「ベン」ノ先ヨリ生レタル所ノ、虛構ノ說デアルト思ッテ居ルトシタナラバ、以
テノ外ノ沙汰ト云ハザラ得ナイノデアリマス、而モ此交渉ハ「レニン」一派ガ政權ヲ握リ
マシタ後モ、依然順調ニ連續ヲ致シマシテ、爲ニ露國ニ居リマスル所ノ外國人間ニハ、米
國ガ「レニン」政府ヲ承認致シマシタ、其時コソ此勘察加ノ割讓問題ガ、具體的ニ世界
ニ向ツテ發表サレル時期ナリト申シテ居リマスル程デアリマス、本員ハ當ノ相手ガ國際
法ヲ無視シテ、少シモ意ニ介セザル所ノ「レニン」政府デアルガ故ニ、一層此件ニ付キマシ
テ憂ヲ深ク致スノデアリマス、殊ニ米露ノ間ニハ領土ノ割讓ニ付キマシテ先例ガアルノデア

リマス、之ヲ天下ニ發表スルノニ洵ニ好イ歴史が存シテ居ルコト、諸君ノ御承知ノ通りテアリマシテ、其一ツハ露國當テ米大陸ニ植民地ヲ有シテ居リマシタノヲ、七百五十萬弗ヲ以テ亞米利加ニ讓渡致シマシタ事ガアリマス、其二ハ目下米國ニ取テ北邊ノ大寶庫アル所ノアラスカ「此」アラスカ「モ」元ハ露國ノ有スル所デアリマシテ、生産のニハ全ク無價值ナル所ノ白熊ノ遊場所トシテ、爲ニ千八百六十七年千五百萬弗ヲ以テ米國ニ讓渡致サレマシタガ、當時露國人ハ非常ニ好イ商ヒヲシタ、是ガ爲ニ或ハ米國ノ怒ヲ買ヒハシナカト、内心恐怖ニ打タレテ居リマシタ程デアリマシタガ、此「アラスカ」ハ今日米國ニ取リマシテ、北邊ノ大寶庫ト云フヤウナ生産物ノ饒多ナ有様ナリマシタニ付キマシテ、露國人ハ今日ニ於テハ後悔ヲ致シ、ツレガ爲ニ此勘察加ノ讓渡價格ニ向ッテ、前ニ述ベマシタ如ク六百億留ト云フガ如キ、非常ニ高價ナル價值段ヲ吹掛ケタト思ハル、デアリマス、之ヲ要スルニ米國ガ勘察加ノ割讓ヲ希望致シマスノハ、何ノ爲デアリマスルカト申シマスノニ、夥シキ生産的價值ニ垂テ致シマス爲デアラウトハ存マシマス、或ハ又彼「アラスカ」ヨリ白令海峡ヲ渡リマシテ、此露領勘察加ヲ南ヘ「ト」黒龍江鐵道ニ接續ヲ致シ、續テ西比利亞線ヲ連ネ、北米、亞細亞、歐羅巴、此三大陸ヲ橫斷スル所ノ大交通機關ヲ經營致シマス爲デアリマシタ、元來此米亞ノ連絡、即チ白令海峡ヲ接續點ト致シマシテ、米亞ノ間ヲ連絡スベシト云フコトハ、是迄屢々傳ヘラレマシタ所デアリマシタガ、是ハ今日進步致シマシタ所ノ學術ニ加ヘマシテ、多大ノ金カヲ以テ致シマシタナラバ、サシテ困難ナ事デアルトハ思ヘナイデアリマス、唯從來此困難デナイ事柄ガ事實トナッテ現レマセナカッタノハ、政治的關係ガ此間ニ在ッテ障害ヲ致シテ居リマシタ爲デアリマスガ、此世界ノ變局ト共ニ、此障害物デアッタ所ノ政治的關係ガ餘程薄クナリマシタノヲ以テ、多年東亞ニ志ヲ致サントスル米國ガ、當然斯ル行動ニ出ヅルハ當リ前ノ事デアラウト思フニ付ケテ、憂慮ヲ一層深ウセザルヲ得ナイデアリマス、併シ本員ハ米國ノ行動ヲ嫉視シ、若クハ此大計畫ヲ妨害ヲ致シマスルヲ以テ快事トスル者ニ非ザルコトヲ、茲ニ明言致ス次第デアリマスガ、併シ彼等ガ割讓ヲ計畫致シテ居リマス所ノ勘察加ハ、北緯五十度ヨリ六十度ニ及ビマシテ、更ニ北上致シマシテ北緯七十度ニ達シテ、我々島列ノ上ニ位セルコト、諸君ノ御承知ノ如クデアル、故ニ若シ白令海峡ヲ接續點トセル此大鐵道ガ、我々太北海道ト併行致シマシテ、露領勘察加ヲ南下致シマシタナラバ、直ニ是ガ爲ニ亞細亞ニ於ケル所ノ經濟的關係ニ、一大變調ヲ及ボスデアラウト信シマス同時ニ、政治的關係ニモ一大變局ヲ及ボシマシテ、從來ハ唯海上ヨリ致シタ所ノ米國ノ勢力ハ、直接陸上ヨリ致シタ如キコトニナリマスルヲ以テ、帝國ノ受ケベキ影響頗ル甚大デアルト考ヘマスガ故ニ、豫メ此點ニ付テ考慮スル所ガ無クテハナラヌト存スルデアリマス、政府ハ果シテ如何ナル方針ニ出デラレツツアルカ、此點ニ付キマシテ最モ明瞭ナル答辯ヲ望ムデアリマス、更ニ本員ノ確信スル所ニ依リマスレバ、勘察加ノ割讓ニ對シマスル米國ノ手段方法ハ眞ニ至レリ盡セリデアリマシテ、一方ニ於キマシテハ國家ト致シテ勘察加ノ割讓ヲ策シ、一方ニ於キマシテハ個人即チ私人トシテ漁業權ヲ獲得ニ力ムルト云フガ如キ、所謂王手飛車ト云フガ如キ陋手ヲ弄シツ、アルノデアリマス、而モ此日本ノ有シテ居リマス所ノ沿海州ノ漁業權ハ、血ヲ以テ購フタル非常ニ高價ナ物デアリマシテ、彼「ボツマウス」條約ノ光彩トモ云フベキ日露戰役後、勝利ノ代價物ニ外ナラヌデアリマスガ、何方ニモ相手ト云フモノハ理論ヤ常識ヲ以テ律スルコトノ出來ヌ過激派政府デアリマスルカラ、此高價ナル日本ノ既得權ヲ侵害スルコトヲ、左程意ニ介セヌ如ク思ハル、ガ爲ニ、本員ハ非常ニ此點ニ對シテ憂慮ヲ致スデアリマス、若シモ過激派政府ガ國際法ヲ無視致シマシテ、日本ノ既得權ヲ

侵害致シテ露領勘察加ノ——露領沿海州ノ漁業權ノ全部ヲハ米國ニ讓渡シタナラバ、我が帝國ニ取ッテ實ニ由ニ敷大事デアルノミナラズ、單ニ一半ノ讓渡即チ日本ノ既得權ヲ侵害致シマセバシテ、日露兩國共同ノ權利デアリマシタ所ノ、其一半ノ權利、即チ半分ノ權利、即チ從來露國ガ有シテ居リマシタ所ノ權利ノミヲハ、米國ニ讓渡致シタトシテモ、我が漁業者ニ取ッテハ實ニ甚大ナル影響ヲ呈スルデアリマス、至極簡單ニ此理由、裏書ヲ致シマスベク、沿海州ニ於ケル漁業ノ實際ヲ御話致シマスレバ、賢明ナル諸君ハ直ニ了解セラル、デアラウト信ズルデアリマス、目下沿海州ニ於ケル所ノ漁業區ハ凡ソ二百三十許リアリマシテ、此二百三十ノ漁業區ノ中ニ於キマシテ、我が日本人ノ手ニ依ッテ經營サレテ居ル漁業區ハ、其三分ノ二以上即チ百五六十以上ニ達シマシテ、此漁業區ニ於テ勞働ヲ致シテ居ル人員ハ約二萬人ニ及ビ、其收益ハ一箇年間千四百五十萬圓ニ上ル有様デアリマス、而モ此收益ハ明治四十一年頃ニハ僅ニ百萬圓内外ニ過ギナカッタノヲ、滿十年ノ今日、凡ソ十四五倍ニ増加ヲ致シタト云フヤウナ現況デアルデアリマス、斯様ニ日本人ガ天涯萬里ノ異域ニ遠征ヲ致シマシテ、露國ニ較ベ、優良ナル所ノ地位ヲ占メマス原因ト云フモノハ、國民性ノ相違其他色ノ理由ガアリマスルガ、之ヲ要スルニ露國ニ較ベテ幾ラカ資本ガ滑ラカデアル點ト、又露國人ハ手先ノ仕事ハ至ッテ下手デアリマシテ、漁撈ナンカハ頗ル拙デアルニモ拘ラズ日本人ハ隨分手先ガ器用デアリマスルヲ以テ、殊ニ此漁撈ノ如キ天下一品ノ稱アリマスルガ故ニ、今日ノ盛況ヲ來シタデアリマスルガ、若シ此資本ノ貧弱ナル所ノ露國ニ代ルニ米國ヲ以テ致シ、手先ノ仕事ノ無器用ナル所ノ露國人ニ代ルニ手先ノ器用ナル所ノ米國人ヲ以テ致シマシタナラバ、漸次盛ニ大ニ赴キツ、アル所ノ我が沿海州ノ漁業ハ、忽チニシテ落日ノ衰運ニ陥ルコトハ言フ迄モナイ話デアリマシテ、而シテ現在ノ日露漁業協約ハ、日露同等ノ權利デアルトハ言ヒマスモノ、日本ニ取リマシテハ洵ニ不便ナ、且ツ洵ニ不利益極マハ——甚シキモノヲ列舉致シマスレバ、日本ニ對シテ不利益極マル所ノ法律命令ヲ兩下スルコトカ、此法律命令ノ兩下ニ依ッテ漁業監督官ヲ盛ニ活動サセルコトカ、漁業貸下料ノ暴騰ヲ促ス手段ヲ講ズルコトカ、又河川及入江即チ「イレット」ニ於テ漁業ヲ禁ジアルガ爲ニ、日本人ガ橋ノ無イ所ノ河口ヲ「ランチ」デ渡タト致シマシタナラバ、忽チ之ニ向ッテ二百圓ノ罰金ヲ科スルコト云フガ如キ、一々列舉致シマスレバ、數ヘ切レヌ程ノ不便不利點ガ多キアルデアリマスガ、要ハ日露漁業協約、或ハ附屬議定書ノ法文ノ不備ヨリ出ル結果デアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、我が外交ノ失敗ヲ茲ニ暴露セリト云フニ過ギナイデアリマス、中ニモ失敗ノ甚ダシキハ、日露漁業協約ノ第八條同附屬議定書ノ第四條ニ明記シテアリマスル所ノ、漁業ヲ致スニ就テハ、露國現行ノ法律命令規則、又ハ將來ノ法律命令規則ヲ遵守スルヲ要ストアル、一項ノ適用デアルデアリマス、現在ノ「ノイ」露國ノ現行法ヲ適用サレト云フコトハ、日本人ニ取リマシテ非常ニ不便デアリトモ拘ラズ、將來ノ法律命令規則ヲ遵守スルコト云フ一項ガアリマシテハ、露國ハ之ヲ好イ事ニシテ、盛ニ日本人側ノ漁業者ガ苦シメル所ノ法律命令ヲ發布致シテ居ルデアリマス、故ニ若シ露國ノ官吏ガ日本ノ官吏ノ如ク、比較的ニ清廉潔白デアルト致シマスレバ、我が沿海州ノ漁業者ハ一日ハ愚カナコト、假令寸時ト雖モ安穩無事ニ其業務ニ從事スルコトガ出來ヌト申シマシテモ、敢テ過言デハナカラウト信シマスデアリマス、斯様ニ不利益極マル所ノ協約モ、相手が露國デアレバコソ、今日ノ不利益今日ノ不便、是位ノ不便不利テ濟ミマスケレドモ、是ガ米國デアッタ致シマシタナラバ、我が沿海州ノ漁業ハ忽チ衰運ニ赴クハ、鏡ノ物ヲ見ルヨリモ明カナコトデアラウト存ズルデアリマス、而シテ明

大正八年ハ此協約ノ更新期アリマスルヲ以テ、朝野ノ識者ハ種々之ニ對シテ、希望ト期待ト有シテ御出ニナルヤデアリマスレドモ、本員ヨリシテ之ヲ見タナラバ、今更ニ更新改訂ヲ迫ルガ如キハ抑々未ダアル、故ニ政府ハ此際一大決心ヲ以テ、我帝國モ米國同様、露國ニ對シテ種々援助ヲ致シマス所ノ既往ノ好意の實蹟ニ鑑ミマシテ、此際快刀亂麻ヲ斷ツ底ノ痛快ナル解決ヲ告ゲラレムコトヲ熱望ニ堪ヘナイ次第デアリマス、終リニ臨ンデ一言致シタキコトハ、本野外務大臣ハ此問題ニ就テ、非常ニ樂觀ノヤウデアリマスガ、餘リ樂觀致サレマスル、此黑龍江ノ航行權ヲ米國ニ取ラレタト云フガ如キ、大失策ヲ釀スニ至リマスルヲ以テ、十分事前ニ於テ最善ノ研究ガアラレ、且吾國民ノ安心ヲ致シマスヤウニ、詳細明確切實ナル答辯アラムコトヲ希望致スデアリマス、最後ニ本員ハ決シテ友邦米國ノ活動ヲ妨害スルヲ以テ、快事トスルガ如キ意思ノ毛頭是ナキ事、隨テ米國ノ此大計畫ヲ挫折スルヲ以テ快事トスル者ニアラザルコトヲバ、我が國家ノ將來ニ鑑ミテ、茲ニ重ネテ明言ヲ致シテ、此壇ヲ降ラムトスルデアリマス

(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 質問第三、土屋清三郎君

三 傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關スル質問(土屋清三郎君提出)

傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正七年三月二日

提出者 土屋清三郎

贊成者 江藤 哲藏

外二十九人

傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關スル質問主意書

東京帝國大學傳染病研究所ハ大正六年六月十六日ヨリ同八月十日マテ二箇月ニ充タル短時日ノ間ニ於テ左ノ如ク病原發見ノ發表ヲ爲セリ

一 發疹チブス病原ノ發見 醫學博士 二木謙三外二名

二 猩紅熱病原ノ發見 醫學博士 芳我石雄外一名

三 麻疹病原ノ發見 醫學博士 芳我石雄外一名

四 馬傳染性貧血病原ノ發見 醫學博士 宮川米次外一名

五 同上病原ノ發見 醫學博士 吉澤惟雄外二名

六 恙病原ノ發見 醫學博士 長與又郎外二名

一 研究所ニ於テ斯ノ如キ短時日間ニ斯ノ如キ多數ノ病原ヲ發見シタルコトハ寔ニ世界學界ノ奇蹟ニシテ當ニ本邦醫學ノ名譽ナルノモノナラス人獸防疫上極メテ有益ナリト信ス然レニ他ノ學者ハ右ハ孰レモ其ノ病原ニ非シテ多クハ人獸ノ尿道ニ存スル耻垢菌ノ類ナリト鑑定セリ依テ左ノ一點ニ付文部大臣ニ質問ヲ爲ス

一 右發見ハ全部眞ノ病原ナリヤ又ハ一部眞ナリヤ若ハ全部其ノ病原ニ非サルヤ

二 若全部悉ク病原ニ非ストセハ本邦學者ノ信用ニ關スル所ナキヤ否

右及質問候也

(土屋清三郎君登壇)

(拍手起ル)

○土屋清三郎君 私ハ傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關シテ、質問ノ大要ヲ申上ゲヤウト思ヒマス(成ルベク簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ(會期ノ切迫致シマ

官報號外

大正七年三月二十日

衆議院議事速記録第二十五號

傳染病研究所ノ發見ニ係ル病原ノ眞偽ニ關スル質問主意書

五一七

シタ今日デアリマスカラ、成ルベク簡單ニ申上ゲルコトニ致シマス、私ノ質問致サウト思ヒマスコトハ、東京帝國大學傳染病研究所ガ、昨年ノ六月十六日ヨリ八月十日ニ至ル二箇月弱ノ間ニ於テ、同所ノ技師醫學博士二木謙三君ノ發疹室扶斯病原ノ發見ヲ始メ、猩紅熱病原體ノ發見、麻疹、即チ「ハシカ」ノ病原ノ發見、馬ノ傳染性貧血病原ノ發見、並ニ恙蟲病原ノ發見ヲ發表致シタルデアリマス、短時日ノ間ニ斯クモ發見サレタル所ノ是等ノ病原ガ、全部果シテ其病原デアラドウカ、或ハ其中ノ一部分ガ本物デアラカ、若クハ全部ガ皆間違ッタルデアラカ、若シ全部ガ誤レルモノデアルト云フコトデアレバ、延イテ我國學者ノ信用ニ關スル所ナキヤ否ヤト云フコト、本員質問ノ要旨デアリマス、簡單ニ事實ヲ申上ゲマスル、昨年ノ六月十六日前申シマシタ通り、二木博士ガ發疹室扶斯ノ病原ヲ發見シタル云フコトヲ發表致サレマシタ時、恰モ奧羽ニ於テ發疹室扶斯ノ流行ヲ致シテ居ル場合デアリ、又歐羅巴ニ於テモ戰爭ノ間ニ此病氣ガ非常ニ流行致シマシテ、各國殆ド之ガ防禦ニ苦シタト云フヤウナ有様デアリ、羅馬ニ於キマシテハ、態我國ニ醫師ノ僱聘ヲ申込シテ參ッヤウナ際デアリマシタガ爲ニ、此發見ハ著シク内外ノ注目ヲ惹キマシテ、内地ノ新聞ハ口口極メテ其成功ヲ讚美致シマスル、外國ノ新聞モ亦國際通信ニ依テ驚異ノ眼ヲ睜ツテ、此成功ヲ報道致シタルデアリマス、殊ニ當時特別議會ノ開會中デアッテ、豫算委員會ニ於キマシテ、我黨ノ三士代議士ガ此事ノ眞偽ヲ文部大臣ニ質シマシタ所ガ、文部大臣ハ立派ニ其成功ヲ承認致サレタルデアリマス、而シテ其發見報告ハ傳染病研究所長ヨリ、公式ニ內務文部兩大臣ニ報告セラレ、兩大臣ヨリハ更ニ之ヲ各府縣ノ衛生課長ニ移牒セラレマシテ、内外今ヤ此發見ヲ疑フ者ガ無イ、殊ニ林所長ノ報告ノ劈頭ニ掲ゲテアリマス所ノ大正四年來發疹室扶斯ノ病原ノ研究ニ從事シ本年四月二十日ヲ以テ病原「スピロヘータ」ヲ發見シ其治療法ニ就テハ更ニ研究ヲ要スベシト雖モ其豫防法ニ關シテハ病原闡明ト共ニ其基礎既ニ確立致候「斯様」冒頭ノ記載ニ依リマシテ、豫防法ハ既ニ確立シ、治療ノ方法モ日ナラシメテ成功スルコト云フコトヲ、我人共ニ信シテ疑ハナカッタデアリマス、此事實アッテ以來傳染病研究所ニ於テハ、病原發見ノ旨ヲ發表スルコトガ勃然トシテ恰モ傳染病ノ如ク流行致シ、翌月即チ七月二十一日ニ醫學博士芳賀 一名ハ忘レマシタガ、君ガ猩紅熱ノ病原ヲ發見セラレ、ソレカラ七日ノ後ノ七月二十八日ニハ麻疹ノ病原ヲ發見セラレテ爾來八月十日迄ノ間ニ於テ、他ノ同所ノ學者ノ手ニ依テ、馬ノ傳染性貧血病原並ニ恙蟲病原ノ發見ヲ發表セラレタルデアリマス、然レニ此恰モ「マラソン」競争ノ如ク、或ハ百花ノ一時ニ爛漫タルガ如ク、發表セラレタル所ノ病原ニ對シテ、民間ノ他ノ學者ハ如何ナル觀察ヲ下シテ居ルカト申シマス、北里研究所ノ學者、東京慈惠院醫學專門學校ノ學者、並ニ京都帝國大學醫學科大學ノ學者等ハ、各別ニ此鑑定ニ從事致シマシタ結果、以上傳染病研究所ニ於テ發見セラレタル所ノ病原ト云フモノハ、皆其病ノ眞ノ原因テナクシテ、多クハ人或ハ動物ノ尿道ニアル所ノ不潔ナル垢ノ中ニ、殆ド皆老同穴ノ如ク生存シテ居ル所ノ恥垢「スピロヘータ」ト云フモノデアッテ、既二十年佛蘭西ノ學者ニ於テ發表セラレタル所ノモノデアルト云フコトガ分リマシタルデアリマス、而シテ若シ之ヲ傳染病研究所ノ發表ノ如ク病原トスルナラバ、總テ人總テノ獸類ト云フモノガ、悉ク皆同時ニ發疹室扶斯ニ罹ッテ居リ、同時ニ猩紅熱ニモ麻疹ニモ罹ッテ居ルコト云フ、頗ル奇觀ヲ呈スルコト云フコトデアッタルデアリマス、然レニ文部大臣ハ昨年ノ特別議會ニ於キマシテ、三士代議士ニ答ヘラレタ其言葉ヲ實行セラレタルデアリマス、ドウデアリマスカ分リマセウガ、本年ノ傳染病研究所ノ豫算ノ中ニ、發疹室扶斯ノ病原研究トシテ、五千圓ト云フ金額ヲ計上サレテ居ルデアリマス、

大正七年三月二日

提出者 押川 方義

贊成者 小泉 又次郎

外二十九人

時局ニ關スル質問主意書

時局ニ關シ帝國カ聯合與國(特ニ英米)ト從來執リ來レル交渉條件ノ範圍及現下ノ露國擾亂ニ對スル帝國ノ政策及方針如何
右及質問候也

(押川方義君登壇)

○押川方義君 我輩ハ時局ニ關スル質問ヲ一二致シタイノデアリマスガ、此質問ノ主意ヲ明瞭ナラシムルガ爲ニ、此質問ヲ發シヤウト云フ考ヲ起シマシタ動機ヲ簡單ニ申上ゲタイノデス、明治年代ハ殆ド外交事件ヲ以テ、充滿シテ居リマスル所ノ年代ト言フテモ宜イ位デアリマス、其内ニ於キマシテ最モ大ナル事件ト致シマシテハ、彼ノ征韓論ト日清戦争ト日露戦争トノ問題デアリマス、此當時ニ政府部内ニ於テ權力ヲ有シテ居リマシタ所ノ人ミヲ考ヘテ見マスルト、諸君モ能ク御承知ノ如ク、征韓論ノ勃發致シマシタ時ハ、殆ド日本全國ノ最モ有力ナル大人物ガ集ッテ、政治ヲ組織シテ居リマシタ、ワレカラ日清戦争ノ時ニハ御承知ノ通り有名ナル、明治年代ノ政治家ト言ハル、伊藤公ガ總理デアッテ、陸奥伯ガ外務大臣デアリシ、川上大將ハ陸軍ノ方ニ於テノ大勢力ヲ有シテ居リマシタ、日清戦争ノ時ハ桂公ガ總理デアリ、小村侯ガ外務大臣デアリシ、兒玉大將ガ陸軍ノ方ノ大勢力ヲ有シテ居リマシタ、是デモ其當時彼等ガ時局ニ付テ幾ラ躊躇致シマシタカト云フ事デアリマスガ、尤モ征韓論ノ時ハアレバ、大事件ガ起ッテ、遂ニ西南ノ大戦争ヲ終リマシタ、日清戦争ノ時デアリマシテモ、當時ノ諸公ハ決シテ容易ニ起タナイ、實ニ優柔不斷首鼠兩端ヲ懷キマシテ、何ノ決スル所モナイ有様デアリマス、其時ハ日本ノ有志ガ集リ民間ノ有志ガ集ッテ、隨分極端ナル議論ヲ致シタ、非常ニ脅迫ト云フテモ宜イ位ノ激烈ナル仕方ヲ以テ、時ノ當局者ヲ鼓舞獎勵致シマシタ、日露戦争ノ時モ亦然リデアリマス、矢張當時ノ諸公ハ中々動カナイ、優柔不斷デアリマス、矢張民間ノ志士ガ殆ド決死隊ノヤウナ精神ヲ以テ、當局者ヲ鼓舞致シテ漸クニ起チ上ルヤウニナッタデアリマス、其當時ノ内閣ヲ組織シテ居ラレマシタル方ミト、現内閣ヲ組織シテ居ラレマスル所ノ人ミトヲ比較致シマスルト、免ニ角伊藤公ヤ桂公ハ明治年代ノ大政治家デアアル、小村ト陸奥トハ有數ナル外交官デアアル、兒玉ト川上トハ名大將デアリマス、日本入ガサウ云フ人ミノ力ニ大概頼ンデモ差支ナイ位ノ技術ヲ有ッテ居リマシタ、ワレハ政治上ニ付キマシテハ色ミナ意見ガアリマシタ、官僚政治デアルトカ様々難多ナ事ガアリマシタケレドモ、彼等ガ人物タル事、又各、己ガ有シテ居ル所ノ位置ニ對シテ、爲スベキ所ノ能力ヲ備ヘテ居リマスルコトニ付テハ、明治年代ガ産ミマシタル人ノ中デ、決シテ恥シイ人デナイ、日本人ガ必ズ記憶ニ置カケレバナラヌ人間デアリマス、其人ミト今日ノ内閣ノ諸公ト比較致シマスレバ、諸君、必ズ思半バニ過グルコトアラウト思フノデス、ソコテ私共ノ考ヘマスルニハ、今日國家ニ斯ノ如キ時局ノ重大問題ガ起リマシタ秋ニ、丁度辛ニ議會ガ開會シテ居リマスルガ、最早満了ノ期モ近ヅイテ參リマシタガ、日本ノ全國ヲ代表シテ居リマスル所ノ衆議院ガ、唯、時ガ來タカラト云フテ此儘解散ヲシテ仕舞ッテ、

是ハ如何ナル譯デアルカ、病原ガ既ニ明カニナッテ居ルト云フニ拘ラズ、尙其病原ノ研究ヲサルト云フコトハ、少シク辻褄ノ合ハナイコトデアラウト私ハ考ヘルノデアアル、此處ニ御斷リヲ申シテ置カケレバナラヌコトハ、以上ノ病原ト云フモノハ、何レモ學者ノ間ニ於テ難物ノ中ノ難物デアリ、隨テ從來此病原ヲ發見シタト云フ報告ハ、尠クナインデアリマス、尠クナインデアリマスガ、皆矢張間違ッテ居ッタノデアアル、固ヨリ學者モ神デアリマセヌガ故ニ、誤ルベキ要約ノ下ニ於テ誤ラレタト云フコトハ、必ズシモ之ヲ恥トスベキモノデハナイ、誤ルベカラザル要約ノ下ニ研究ヲシテ誤ッタ場合ニ於テハ、始メテ恥トシナケレバナラヌデアリマス、故ニ私ハ以上ノ報告ノ中ニ於テ、全部ガ眞ノ病原デナクトモ唯ノ一ツデモ眞ノ病原デアッタト云フコトデアレバ、是ハ傳染病研究所ノ學者ノ爲ニ、又日本ノ醫學ノ名譽ノ爲ニ大ニ祝サナケレバナラヌコトデアラウト思フ、然ルニ同所ヨリ恰モ「マラウ」競争ノ如ク發表セラレタル所ノ病原ト云フモノガ、既ニ先輩ニ依ッテ發見セラレタル所ノモノデアリ、而シテ其モノタルヤ不潔ナル人若クハ獸類ノ垢ノ中ニ、平常存在シテ居ル所ノ同一ノモノデアアルニ拘ラズ、之ヲ別々ニ認メテ別々ノ病原ナリトシテ發表シテ、學俗兩界ヲ騷ガスニ至ッテハ、少シク議論シナケレバナラヌト思フノデアリマス、而モ本員ガ特ニ此事ヲ文部大臣ニ向ッテ質問致シマスル所以ハ、由來我國ニ於テハ官學萬能ノ謬想ガ上下ニ浸淫シテ居ルト云フコト、此驚クベキ大發見ガ前内閣ノ失政ト看做サレテ居ル所ノ移管後ノ傳染病研究所ヨリ發見セラレタルコト、モウ一ツハ傳染病研究所ノ移管以前ハ、世界ノ三大醫學研究所ノ一トシテ數ヘラレタモノデアッテ、其所ノ發見ハ世界ノ學界ニ向ッテ、本邦學者ノ代表的研究ト認メラレテ居リマスルガ故ニ、以上ノ事實ニ依ッテ一ハ誤レル官學萬能ノ謬想ヲ打破シ、一ハ移管後ニ於ケル傳染病研究所ノ成績ヲ明カニシ、一ハ海外ニ於ケル本邦學者ノ信用ヲ維持センガ爲メニ、萬已ムヲ得ザルニ出デタノデアリマス、最後ニ附加ヘテ一言申上ゲ置キタイ事ハ、道路傳フル所ニ依レバ、文部省ニ於テハ既ニ此答辯ガ出來上ッテ居ッテ、目下研究中ト云フ事デ、本員ノ質問ヲ遮ラントスルヤニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ固ヨリ齊東野人ノ語デアッテ、文部大臣ハ昨年ノ豫算委員會ニ於ケル答辯ノ手前、ヨモヤ斯ノ如キ御答辯ハ出來ナイデアラウト思フ、殊ニ傳染病研究所ニ關シマシテハ、昨年本員ノ質問ニ對シテ文部大臣ハ「傳染病研究所ニ關シテハ毫モ非難スヘキ點有ルヲ認メス」ト明瞭ニ御答辯ニナラレテ居ッタニ拘ラズ、同一事實ニ關シテ今期議會ノ特別委員會ニ、本員ガ政府委員タル松浦專門學務局長ニ事實ヲ突付ケテ質問致シマシタ所ガ、松浦專門學務局長ハ「洵ニ申譯ガナイ」ト云フ御答辯ヲナサレテ居ルノデアリマス、斯様ナ前例ト云フモノハ、文部省ノ威信ヲ傷ケル事甚ダ少ナカラヌト考ヘルノミナラズ、文教ノ中心トシテ國民ノ思想、風教ニ及ボス事甚ダ少ナカラヌト考ヘマスルガ故ニ、願クハ文部大臣ハ、本員ノ此簡單ナル質問ニ對シテ、簡單ニシテ且ツ徹底セル御答辯アラム事ヲ希望致スノデアリマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 質問第四——押川方義君

四 時局ニ關スル質問主意書

時局ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

宜イモノデアラウカ悪ルイモノデアラウカト、私ハ自分ニ反問シタノデアリマス、是ハ動機デアリマス、諸君ノ平素仰セラレマスル通り今同ノ外交ハ國民ノ外交デナケレバナラス、今回ノ戰爭ハ國民ノ戰爭デナケレバナラス、今日ノ政治ハ民意ヲ尊重シテ民意ヲ代表シテ居ルモノデナケレバナラス、然ラザレバ決シテ善良ナル政治ト言フコトハ出來ナイト、斯ウ斷言ナサルノデアリマス、而シテ此時局ノ大問題ニ付キマシテ、衆議院ハドウ云フ國家ノ大策ヲ樹テ、居リマスルカ、又衆議院ノ中ノ有力ナル政黨ハ、如何ナル事ヲ以テ天下ニ標榜シテ居リマスルカ、此衆議院が唯、日本ノ思想ヲ代表スル唯一ノ機關デアリマス、此機關が今日動イテ居ルノデアリマス、如何ニモ好イ時デアルト私ハ思フ

○副議長(濱田國松君) 押川君ニ御注意致シマス、質問ノ趣意以外ニ互ラヌヤウニ希望致シマス

○押川方義君 承知致シマシタ、(簡單々々)ト呼フ者アリ)ツレデ私ハ此衆議院が時局問題ニ付キマシテ、國策ヲ確立致シマシテ、現内閣ヲ十分ニ鼓舞獎勵スル所ノ義務ガアラウト私ハ思フノデス、ツレデ現内閣が能ク諸君ノ意見ヲ容レテ、是ガ爲ニ十分ナル所ノ方策ヲ極メ經綸ヲ立テ、是ガ又能力モ備ヘテ居ルモノト諸君ガ御認定ニナレバ、今日ハ平素ノ主義ノ異同ヲ捨テマシテモ、必ズ舉國一致ヲ以テ之ヲ援ケテ、此大事ヲ爲シ遂ゲサシタイモノデアルト思フノガ、吾輩ハ愛國ノ誠カト思フ、若又之ヲ援ケテモ、連モ彼等ニハ國策ヲ樹テル力量モ無シ、又縱シヤ議論ガアツテモ之ヲ行フ實力モ無イト見レバ、必ズ法ニ從ヒマシテ途ヲ執リマシテ、有爲有能デアル所ノ内閣ノ出現ヲ俟ツコトハ決シテ難クハナカラウト思フ、今日ハ日本全國ノ人ガ——幸ニ議會開會中デアリマスル所ノ此衆議院が、吾々ノ意思ヲ如何様ニ代表シテ、發表シテ呉レデアラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマスコトハ、間違ノナイ事件デアラウト思フ、何レ諸君ハ必ズ時ノ來ルニ從ヒマシテ、其事ヲ發表ナサル時ガアリマセウガ、私ハサウ云フヤウナ感シガ起リマシタカラ、一二質問ヲ現内閣ノ諸公ニ致シテ置キタイト思フノデアリマス、第一ノ質問ハ英米ニ對シマシテ、時局上ニ付テ彼等ガ日本ニ對スル所ノ考ヲ、改メナケレバナラス事ガアルト私ハ思フノデアリマス、ツレデ日本ノ政府ハ之ニ向テ十分ナル所ノ要求ヲ致シテ居リマセウカ、又致ス積リデアリマセウカ、是ハ御承知ノ通り日本ガ日米——日英ノ關係カラシテ今度日獨ノ開戰ヲ爲スヤウニナリマシタルコトハ、實ニ日本國家ノ爲ニハ大犧牲ヲ拂タノデアリマス、ツレデ英國タル者ハ日本ノ此誠心——真心ニ付キマシテハ滿腔ノ赤誠ヲ披瀝シテ感謝ノ意ヲ表スルノガ當前ト私ハ思フ(何ヲ質問シテ居ルノカ)ト呼フ者アリ)然ルニ日本ガ對獨宣戰以來爲シマシタル事ニ付テ、恰モ日本國家ガ監視シテ居ルヤウナ有様ノ事柄ヲ、各方面ニ行ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ南洋諸島ニ日本ノ軍艦ガ參リマスレバ、英國ノ軍艦ハ直グニ其後ヲ追ウテ來ル、例ヘバ青島ニ日本軍ガ出征致シマスナラバ、極メテ少數ナル一小隊ニ足ラズノ者ヲ送ツテ、矢張日本軍ト共ニ勦クヤウナ狀態ヲ示シマス(ツレハ大隈内閣)ト呼フ者アリ)大隈内閣ヤ或ハ寺内内閣ナゾノ議論デアリマセヌヨ、是ハウシナ——(降壇々々)ト呼フ者アリ)ツレデ或ハ此間(「簡單々々」ト呼フ者アリ)日本ノ軍艦ガ浦潮斯德ニ參リマスレバ、又英吉利ノ軍艦ガ後ヲ躰イテ參リマス、是ハ共同動作ト致シマスレバ、日本ハ無論好意ヲ以テ之ヲ迎ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、其實際ヲ考ヘマスナラバ是ハ如何デアリマセウ、畢竟私ハ諸

君ト眞ニ考ヘテ見タイノハ、多クノ國ニ向テデアリマスルケレドモ、殊ニ英米ニ對シマシテハ、日本人ニ向テ差別ノ取扱ヲシテ居ルト云フコトハ、日本全國ノ人ノ不滿ヲ感ズル事デハアリマスマイカ、ツレハ昔ハ或ハ色々ナク實モアリマシタラウ、又道理モアリマシタラウ、併ナガラ今日ニ於テ日本人ヲ扱ヒマスコトニ付テハ、彼等ハ優等人種ノ如ク、日本人ハ下等人種ノ如キ取扱ヲスルト申シマスコトハ、實ニ不禮ノ極デアリマスマイカ、此獨逸ト云フ大敵ヲ前ニ控ヘテ、サウシテ日本ト共同作戰ヲ致シマシテ、彼等ノ力ノ及バナイ所ノ事ニ付キマシテハ十分ニ日本ノ力ヲ——援助ヲ乞ハナケレバナラス狀態ニ居リマシテ、尙且ツ日本人ノ爲ス所ニ付キマシテハ、動モスレバ監視ノヤウナコトヲ致シマス、又平素爲ス所ニ付キマシテハ、差等ノ扱ヲ爲シテ居リマスコトハ、諸君ノ能ク御承知ノ事デアリマス、例ヘバ加奈陀ヘ參リマシテモ、濠洲ニ參リマシテモ、或ハ其他英國ノ屬領地ニ參リマシテモ、日本人ハ矢張劣等ノ人ノ如ク取扱ヲセラレテ、對等ノ國民、同盟國ノ國民トシテ扱ヲセラレナイコトガ比々トシタルノ御坐イマス、彼等ト共ニ事ヲ協セ、彼等ト國家ヲ賭シテ今日ノ狀態ニ居リマスコトヲ、日本ハ同盟ノ誼ヲ重シテ力ヲアラム限リヲ盡シテ、彼等ト協同動作ヲ致シテ居リマス時ニ臨ムデ、彼等ハ宜シク自分ノ謬想ヲ放レテ、日本ノ堂々タル權利ノ要求ニ應ジマシテ、必ズ是迄ノ通り差別待遇ト云フモノヲ改メナケレバナラス所ノ道理ハアリマスマイカ、又日本ハ彼等ト共ニ敵ニ當リマシテ、國家ノ犧牲ヲ拂ツテ居リマス時ニ方ッデ、是等ノ道理ノ要求ヲ彼等ニ致スベキ機會デアリマスマイカ、又亞米利加ニ付テ申シマシテモ、何カ戰時契約トカ條約トカ名義ノ下ニ、日本人ニ向テノ取扱ハ差別取扱ヲシテ居ルノデアリマス、彼等ハ自由ト謂ヒ平等ト謂ヒ、或ハ人道ト申シマス、併ナガラ今日ノ日本ノ文明ノ程度ノ進ムデ居リマス國家ニ對シテ、彼等ガ日本人ニ爲ス所ノ事ニ何ノ正義ガアリマスルカ、何ノ平等ガアリマスルカ、何ノ人道ガアリマスルカ聞ク權利ガ日本ニハ在リト私ハ思フ、苟モ相提携シテ天下ノ事ヲ爲スニ臨ミ、ツレハ主従カ何カノ關係ナラザラ知ラズ、堂々タル國家ガ斯ノ如キ差別取扱ヲセラレテ、サウシテ滿腔ノ誠ヲ披瀝シテヤツテ行クコトガ、人情ニ於テ出來マセウカ、是等ノ事ニ付キマシテハ、亞米利加ナリ英吉利ナリノ政府、及輿論ノ大ナル間違ヲ矯正致シマスルニ好イ機會デアルト思ヒマス、日本政府ハ之ニ對シマシテ、十分ナル談判ヲシテ居リマスルカ、シテ居リマスルカ、若シシテ居リマセヌナラバ、是カラ此機會ヲ捉ヘテ、日本ノ正義ナル要求ヲ致シマスル考ハアリマスルカアリマセウカカ聽キタイ、ツレカラ其次ハ所謂西比利亞ノ出兵問題デアリマスガ、是ハ先ヅ今日詳々シク申上ゲル必要ハ何モナイ、獨逸ガ或ハ東漸スルカ、來ルカ來ヌカ分ラヌ、或ハ露西亞ハドウ云フヤウナ譯デアラウ、亞米利加ハ之ニ贊成スルトカシナイトカ、或ハ英佛ハ之ニ同意スルトカシナイトカ、ウシナヤウナ問題ガ日本ノ去就ヲ定メルベキ所ノモノデ決シテナイデアリマセウ、日本ハ今日ノ機會ニ於テ、此國運ノ發展スル秋ニ臨ミ、如何ナル事ヲスベキカト云フコトガ先決問題デアリマス、尙早デアルトカ控ヘテ居ルガ故トカ、或ハ危險ガ無イノデアルトカ、有ルノデアルトカ、或ハ露西亞ノ感情ヲ破ルトカ、ウシナ些末ナル問題ハ、今日攻究ヲ爲スベキ秋デナイ、日本國家ト云フモノガ發展スベキ場合ニ臨ミ、今日ノ場合如何ナル事ヲスベキカト云フコトヲ、先ヅ以テ先決問題トシテ決メル、其時期ノ如キハ其時ニ應ジ專門家識見家ガ宜シク考ヘタラ決マル答アル、併ナガラ今日ハ國民ハ迷ヲ置イテ居ルノデアリマス、

西比利亞ニ出兵スルカシナイカ、本當ニ獨逸ヲ脅威シテ根本的ニ叩キ毀スノデ有ルノヤ
ヤカ無イノデヤカ、ドウ云フ工合ニ英米ト結合シテヤルンダカ、ヤラヌノダカ分ラヌノデアリマ
ス、ツレハ唯表面式ノ外交辭令ノ御附合ト云フ仕方デハ、根本的ノ解決ハ出來ナイ結
果ヲ生ズルデアリマス、故ニツレデアルカラ此内閣ノ諸公ハ、此對獨逸露問題ニ付テ、
西比利亞方面ニ關スル事柄ハ、根本的ニドウ云フ接排ニ決意シテ居ナサルカ、ツレハ
承リタイノデアリマス、(君ナシカニハ教ヘナイヨ)ト呼フ者アリ、教ヘテ貰ハナクテモ宜イ

(此時副議長濱田國松君退席議長大岡育造君著席)

○押川方義君 之ヲ持ッテ居ルナラバ實ニ安心デアリマス、終ニ臨ミマシテツレニ準シマ
シテ、矢張支那問題ガ今日迄ノヤウナ事デハ、進モ根本的解決ハ出來マスマイ、支那ノ
根本解決ト申シマスノハ、政治上ノ事デアリマス、亞米利加ノ人ナドハ日本カラ言フト、
亞米利加人ハ同意セヌカモ知レヌ、ツレ故ニアチラニ出兵スルコトハ考ヘ物デアルト云フ
ヤウナ、如何ニモ依頼心ノ深イ弱シイ女性的考ヲ有シテ、外交ヲヤッテ居ルノハ残念デ
アリマス、日本ガドウデアラウト、黑龍江ニ向ヒマシテ五六、万噸ノ船ヲカシテ仕舞フ、或ハ
露西亞ノ裏面ニ向ヒマシテ、何處迄オ前ノ政治ヲ助ケテヤル、日本ヲ隣リニ控ヘテ居リ
ナガラ、接壤ノ土地ヲ有ッテ居ル日本ヲ控ヘナガラ、日本ガ出兵シヤウカシマイカト言フ
デ、大ナル議論ガ沸騰シテ居ル時ニ臨ンデ、彼等ハソナナ事ハ耳ニモシナイ、彼等ノ政府
ヲ援ケテヤルトカ、何デアルトカ云フコトヲ勝手次第ニヤルノデアリマス、然ルニ日本ノ外交
ハ支那ニ對シ、實ハ己ノ國ト同ジヤウナ關係ヲ切實ニ支那ニ對シテハ持ッテ居ルト言ヒナ
ガラ、外國ヲ憚リマシテ堂々タル事ヲ公言スルコトハ出來ナイ、日本ハ支那ニ對シテ特殊ノ
關係アリト申シマスレバ、特殊ノ關係ト云フノハ政治上デアリマス、支那人ニ向ヒマシテ、
日本ノ忠告ヲ容レサセヤウトスルノデアリマス、外國ノ者ガ承知スルカシナイカ、ソナナ事
ハ必要ハナイ、宣言ヲスル必要モナイ筈デス、然ルニ財政政策ハ不干渉デアラダノ、或ハ經
濟ノ結合デアラダノ、或ハ親善デアラダノ、言フ、實ニ精神的デナイ、至誠デナイ、又國ヲ
思フ所ノ誠心カラ割出シタ所ノ考デナクシテ、前内閣ガ斯ウ云フ事ヲシテ居ッタカラ、今
ノ内閣ハ斯ウ云フ事ヲスルナドト云フ位ノ事柄デ、進モ根本的解決デモ何デモナイ、吾
輩ハ此際ニ臨ミ、支那人ニ十分ナル說諭ヲスル、同意セシムルト同時ニ、各國ニ向ヒ、
日本ガ支那ニ對スル特殊ノ關係ガ、斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ斷乎トシテ明言致
スベキ筈ノモノト思ヒマスガ、現内閣ハ斯ノ如キ事ヲ爲サル勇氣ガアルカラ聽キタイノデア
リマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 質問第五、朝鮮警察ノ機關ノ組織ニ關スル質問ハ、日程審議ノ都合
ニ依リ、其實問ノ趣旨ノ辯明ヲ延期セラレムコトヲ望ミマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ延期ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、質問ハ是ニテ切上ゲ日程ニ入リマス

○小山田信藏君 議長

○議長(大岡育造君) 日程第一、朝鮮人官吏ノ恩給退隱料及遺族扶助料等ニ關
スル法律案ノ一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長小山田信藏君

第一 朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長出、貴族院送付)

(小山田信藏君登壇)

○小山田信藏君 唯今議題トナリマシタ朝鮮人官吏ノ恩給退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ内容ハ極メテ簡單デアリマシテ、日韓併合前即チ統監府設置ノ當時、韓國政府ノ官吏ニシテ尙ホ引續キ在官ノ者ニ對シ、恩給退隱料遺族扶助料ヲ給スルト云フコトニ付テ——其年限ニ付テ詰リ統監府設置ノ年ヨリ通算致シマシテ、之ニ與ヘルト云フ案デアリマス、委員會ハ三回開キマシテ、委員ヨリ幾多ノ質問應答ガアリ、又委員ノ中ヨリ元來恩給法ノ精神ハ日本人ニ限ッテ居ル、然ルニ日韓併合前ノ朝鮮人ニ對シテ恩給法ヲ制定スルト云フノハ、ドウ云フ理由デアルカト云フ質問モアリマシタ、ツレニ對シマシテ政府ハ、日韓併合前ト雖モ、統監府監視ノ下ニ韓國政府ノ官吏ハ其事務ヲ執ッテ居タノデアルカラ、日韓併合後ト何等事實ニ於テ變ッタコトガナイト云フヤウナ説明デアリマシタ、委員會ニ於テハ此法案ハ朝鮮統治ノ政策上必要ナル案ト致シマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、何卒諸君ニ於カレマシテモ、委員會ノ決議通り御贊成アラントラ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 二讀會ヲ開クニ御異議ナキモノト認メマス、即チ本案ハ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、依テ直チニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題トナシ、三讀會ヲ省略スル手續ヲ採リマス

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ直チニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題トナシ、三讀會ヲ省略スル手續ヲ採リマス

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ——原案ニ付テ御異議ナキモノト認メマス、仍テ三讀會ヲ省略セラレ、三讀會ニ於テ全部可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第二、海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長高戸郁三君

關スル法律案

第二 海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(高戸郁三君登壇)

○高戸郁三君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ單純デアリマシテ、隨テ其理由モ單純デアリマス、要スルニ此海軍探炭所ハ明治四十年ニ特設致シタルデアリマス、

テ運轉資本トシテ十萬圓ヲ計上シテアル、此十萬圓ヲ今日ニ至ル迄此運轉資本ニ變
リハナイノデアリマス、然ルニ事業ハ年々擴張シテ、隨テ其經費ニ膨脹ヲ來シタノデアリマ
ス、大正六年度ノ經費ハ約三百萬圓、大正七年度ノ經費ハ約五百萬圓、故ニ此運
轉資本ノ不足ヲ來シテ、此運轉用ヲ圓滑ナラシメンガ爲ニ、海軍ニ賣却スル石炭ノ其代
金ノ前拂ヲ受ケテ、以テ此資金ノ運用ヲ圖ラウトスルノデアリマス、委員會ハ二回開會
致シマシテ、政府委員ト質疑應答審議ノ末、是認可決シテ次第デアリマス、此段御報
告致シマス

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ申シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ一讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決
確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

海軍ニ於テ海軍探炭所ノ石炭ノ買入ニ關スル 第二讀會(確定議)

法律案

○議長(大岡育造君) 他ニ御發議モアリマセヌカラ 本案ハ三讀會ヲ省略セラレテ可
決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第二、第四ハ同一委員ニ付託シタル議案
ナルニ依テ、一括議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス——日程第三、東京市區改正條
例中改正法律案、第四京都市又ハ大阪市の市區改正ニ關シ東京市區改正土地建
物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案——委員長漆昌巖君

第三 東京市區改正條例中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 京都市又ハ大阪市の市區改正ニ關シ
東京市區改正條例及東京市區改正
土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法
律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(漆昌巖君登壇)

○漆昌巖君 唯今議題ニ上ッテ居リマス東京市區改正條例中改正法律案外一件ノ
委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、此東京市區改正條例中ノ改正ト申シマスル
ノハ「第一條中「閣令」ヲ「勅令」ニ改メ、第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ、是ガ骨子ニ
ナッテ居ルヤウデアリマス」「東京市區改正委員會ハ市區改正ノ設計及毎年度施行スベ
キ事業ヲ東京市ノ區域外ニ互リ議定スルコトヲ得」是ガ骨子ニナッテ居ルヤウデアリマ

ス、是ハ東京市ノ市區改正ノ事業ヲ擴張スルニ從ッテ、郡部ニ及ボス其場合ニ於テ、區
域外マデ議定スルコトガ出來ル、斯ウ云フ事ニナッテ居ルノデアリマス、ツレヨリ第二條、
第三條、第四條、第五條、第六條、第九條、第十條、第十二條、第十四條——第
十六條ヲ削ル、是ハ此法案ニ伴ウテ行ク改正デアリマス、例ヘバ「東京府知事」ヲ「東
京市長」ニ改ムトカ、「東京府區部内」ヲ「東京市」ニ改ムトカ、斯ウ云フヤウナ極
簡單ナル改正案デアリマス、是ハ此案ニ伴ウテ行ク即チ第一條ニ依テ伴ウテ行ク改正デ
アリマスカラ、是ハ別段ニ申上ゲル必要ハアルマイト思ヒマス、唯、是ガ斯ウナリマスト少
ク郡部ニ於テ考ヘナケレバナラヌ所ガアリマシタノデ、是ハ能ク政府ニ質問致シマシタ、ツ
レハ第十四條ノ二「前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ要スル費用ハ東京市又ハ
東京市及事業地ノ負擔トス」ト云フ事ト、ツレカラ「前項ノ負擔ニ付テハ關係市町村ノ
意見ヲ聞キ東京市及事業地ノ負擔トス」ヲ取リ内務大臣ノ決定ニ付スルヲ云フヤウナ所ニ
ハ、是ハ東京市及事業地ノ負擔トス、負擔トスニ付コトハ、ドウ云フ事ニナルカト云
フヤウナ事ニ付テハ、少シク吾々ハ懸念ノ事ガ御坐イマシタカラ聽キマシタガ、是ハ利益ヲ
共ニ受クル時ノ場合ニ於テ、何分ヲ町村ノ負擔ニスル、斯ウ云フノ御坐イマシテ、又
此場合ニハ唯、市區改正ノ今日迄ノ組織ノ委員丈デアルノデアルカト云フコトヲ質問
致シマシタガ、是ハ其場合ニハ關係町村ニモ相當ニ意見ヲ聽イテ、相當ノ事ヲ組織ノ中
ニ——利害關係保持ツルハ其中ニ加ハルヤウナ何レ組織ニナルト、斯ウ云フコトヲ御坐
イマスカラ、是ハ先ヅ差支ナイモノトシテ全會一致ヲ以テ、此案ハ是デ決定ニナリマシタ
タ、ツレカラ第二ノ京都市又ハ大阪市の市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京
市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案、此法律案ニ付キマシテハ、大分
皆其立場ニ於テ利害ヲ異ニスルヤウナ場合モ御坐イマシテ、大分御質問ガ御坐イマシタ
ガ、是ハ斯ウ云フ爲ニ質問ガアッタノデス、「京都市又ハ大阪市の市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案」トアルモノデスカラ、サウ
スルト京都市大阪市の市區改正ノ外、其外ニ今日ハ横濱トカ、神戸トカ、名古屋トカ、斯
ウ云フヤウナ大分發展ノ場所モアルガ、此等ニ付テハ政府ハドウ云フ意見デアルカト、斯
ウ云フ其質問ガ出マシタ、サウスルト政府委員ノ答ニハ、京都市大阪市の市區改正ニ關シ
ヨリ市區改正ノ實行ガシタイト云フノデ、相當ノ手續ヲシテ今申請ニナッテ居ル、然ルニ
今御質問ノ此神戸トカ、横濱トカ、名古屋トカ云フ所ハ、サウ云フ具體的ナル所ノ別
ニ申請モ出デ居ラス、サウスレバ之ヲ入レル事ハ自治制ヲ強ムルモノデアルカラ、ツレハ今日
ノ法案ニハ出デ居ラスト、斯ウ云フコトデアッタ、ツレデ委員ノ方ニハ、自分ノ立場ニ於
テ多少考慮ナサレル所モアッタ、此案ヲ斯ウ云フ風ニ修正ニナリマシタ「京都市又ハ大阪
市」トアリマスルノ「又ハ」ト云フコトヲ除イテ「京都市大阪市の市區改正及内務大臣
ニ於テ指定シタル市」ト是丈即チ修正シテ加ヘタノ御坐イマス、是デ此案ハ全會一
致ヲ以テ可決サレテ居リマス、サウ致シマスルト、其結果トシテ此表題ガデスナ、「京都市
又ハ大阪市の市區改正ニ關シ」トアリマスルノハ「京都市大阪市の市區改正及内務大臣ノ
御報告致シマス、是デ政府モ同意致シマシテ、是ハ全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、
ツレカラ之ニ付テハ希望條件ト云ヒマスカ、決議ニナッテ居ルノデアリマス、ツレハ市區改
正條例中改正法律案外一件ノ委員會ニ於テ決議シタル希望「市區改正ニ關シ土地

所有者及關係人ノ受タル損失ノ補償手續ニ付テハ土地收用法ニ準ジ相當ノ改正ヲ加ヘラレンコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條件ガ決議ニナツテ居リマス。此段御報告致シマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 本案ハ一括シテ議題トナシ報告ヲ受ケマシタガ、採決ハ別々ニ致シマス、此案ノ第一即チ日程ノ第三ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ二讀會ヲ開ク事ニ決シマシタ

○岩崎勳君 唯今ノハ日程第三ノ二讀會ヲ御宣告デアリマスカ

○議長（大岡育造君） 左様デス

○岩崎勳君 然ラバ日程第二ノ分ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キ議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

東京市區改正條例中改正法律案 第二讀會（確定議）

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ第三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第四ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ關シテ御諮リ申シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ日程第四モ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

京都市大阪府其ノ他ノ市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案 第二讀會（確定議）

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ二讀會ニ於テ可決、三讀會ヲ省略シテ確定シタルコトヲ宣告致シマス

○岩崎勳君 議長

○議長（大岡育造君） 岩崎君

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ日本興業銀行法中改正法律案、及政府提出朝鮮銀行法中改正法律案ノ兩案ヲ一括シテ、第一讀會ノ續ヲ開キ、次ニ第二號、大正七年度歲入歳出總豫算追加案、第三號大正七年度歲入歳出總豫算追加案、第二號、大正七年度歲入歳出總豫算追加案、第三號大正七年度歲入歳出總豫算追加案、特第一號、大正七年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案、追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スラ要スルノ件ヲ一括議題トナシ、各委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレン事ヲ希望致シマス

〔贊成々々異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長中村啓次郎君

日本興業銀行法中改正法律案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）

朝鮮銀行法中改正法律案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）

〔中村啓次郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○中村啓次郎君 唯今議題ニナリマシタル兩案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ノ御報告ヲ申上ゲマス、先ア興業銀行法中改正法律案ノ主ナル改正ヲ求メタル點ハ、興業銀行ノ業務ノ擴張デアリマス、一ツハ船舶ニ對スル貸付、又造船材料等ニ對スル貸付、長期ハ十五年ノ年賦償還貸付モ御坐イマス、五年ニ互リマシタル定期償還貸付モアルデアリマス、是ガ一ツデアリマス、今一ツハ他ノ會社ノ株式ヲ引受クル事、或ハ株式ノ募集ニ應ズル事、此二點ガ興業銀行ノ業務ヲ擴張スル點デアリマス、委員會ニ於キマシテハ株式應募ノ點等ハ——株式ノ募集ニ應ズル事、若クハ引受ヲ致ス事ハ今日ノ時局ノ對策ト致シマシテ、工業會社ノ事業ヲ發展セシムル上ニ於テハ、是非興業銀行ヲシテ斯様ナル營業ヲ爲サシメナケレバナラナイト云フ事ニ、一致致シテ居ルノ御坐イマス、ワレカラ此船舶貸付ニ付キマシテハ、多少ノ議論モアリマシタガ、結局銀行業務ニ從事スル者ノ手腕ヲ信賴スレバ宜シイノデアルト云フ事ニナリマシタ、何レモ全會一致ヲ以チマシテ、此改正案ヲ可決スル事ニナツタデアリマス——ワレカラ朝鮮銀行法中ノ改正ヲ求メマシタル主ナル點ハ、保證準備ノ擴張デアリマス、朝鮮銀行ハ御承知ノ通り韓國銀行ガ朝鮮併合ニ依リマシテ、朝鮮銀行ト成ツタノデ二千萬圓ノ保證準備ヲ一千万圓増シテ二千萬圓ニナツタノデ、明治四十二年——今ヨリハ八年前デアリマス、其後朝鮮ノ經濟狀態ニ非常ナル進展ヲ致シテ居ルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマシタ、殊ニ同銀行ハ最早朝鮮一地域ノ銀行ニ非ズシテ、滿蒙方面、北支那方面ニ對シテ大ナル活動ヲ致シテ居リマス、又西比利亞方面迄其業務ヲ擴張致サセタイト云フ考ヲ持ッテ

居ルノデアリマス、斯様ニ我國ノ大陸ニ對スル經濟發展ヲ圖ル一ツノ機關デアリマスガ故ニ、今日ニ當リマシテ二千萬圓ノ保證準備ヲ一層擴張スル事ハ適當ナル事ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ委員會ニ於テ可決シタノデアリマス、他ニ或ハ總裁ノ下ニ副總裁ヲ置クト云フヤウナ事、信託業務ヲ營ムト云フヤウナ事ハ、是ハ何レモ當然ノ必要ナル事項デアルト致シマシテ、可決ヲ致シタノデアリマス、右御報告致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 委員長報告兩案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ兩案トモ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勲君 直ニ兩案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ兩案ノ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ト致シマス

日本興業銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中改正法律案

第二讀會(確定議)

第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ三讀會ヲ省略シテ可決確定シタル事ヲ宣告致シマス

○岩崎勲君 唯今ノ追加豫算ハ委員長ガ議席ニ見エマセヌデアリマスカラ、後廻シトセラレム事ヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 追加豫算ハ後廻シト云フ事ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス——日程第五、會計士法案ノ第一讀會ヲ開キマス——提出者高木益太郎君

第五 會計士法案(高木益太郎君外二名提出)

第一讀會

會計士法案

第一章 會計士ノ業務

第一條 會計士ハ當事者若ハ利害關係人ノ囑託ヲ受ケ又ハ官廳ノ命ニ依リ會計ニ關スル事項ノ監査、整理、管理、證明、鑑定及和解等ノ業務ヲ執行スルモノトス

第二章 會計士ノ資格

第二條 會計士タラントスル者ハ左ニ掲グル資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一 帝國臣民ニシテ三十歳以上ノ男子タルコト
二 會計士試験ニ合格シタルコト

三 三箇年以上會計士ノ事務所ニ在リテ其ノ業務ヲ見習ヒタルコト
四 高等官、貴族院議員、衆議院議員及學識經驗アル者ノ中ヨリ任命セラレタル委員ヲ以テ組織セル會計士銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タルコト
第三條 會計士試験及銓衡ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四條 左ニ提クル者ハ會計士タルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 懲戒ノ處分ニ依リ免官、免職、除名又ハ業務ヲ禁止セラレタル者

三 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタル者

四 禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタル者

第五條 會計士ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ貴族院議員、衆議院議員ト爲リ又ハ官廳ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

會計士ハ他ノ業務ヲ營ミ又ハ會社ノ代表者若ハ會社其ノ他ノ使用人ト爲ルコトヲ得ス但シ農商務大臣ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三章 會計士名簿

第六條 會計士名簿ニ登錄セラレタル者ニ非サレハ會計士ノ稱號ヲ用井又ハ其ノ業務ヲ執行スルコトヲ得ス

第七條 會計士名簿並登錄ニ關スル規定ハ農商務大臣之ヲ定ム

第四章 會計士ノ權利義務

第八條 會計士ハ正當ノ事由アルニ非サレハ當事者若ハ利害關係人ノ囑託又ハ官廳ノ命ヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 會計士ハ利害ノ關係ヲ有スル事業ニ關シ其ノ業務ヲ執行スルコトヲ得ス

第十條 會計士其ノ業務ノ執行ニ關シ故意又ハ過失ニ因リ囑託人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第十一條 會計士ノ業務ノ執行ニ關シテハ刑法中公務員ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條 會計士ハ囑託人ヨリ報酬及旅費ヲ受ク

第五章 會計士協會

第十三條 會計士協會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ規約ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ其ノ規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十四條 會計士協會ヲ解散シタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第六章 懲戒

第十五條 會計士業務上ノ義務ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行爲アリタルトキハ懲戒ニ付ス

第十六條 懲戒ハ左ノ四種トス

一 譴責
二 千圓以下ノ過料

三 三年以下ノ業務停止

四 除名

第十七條 懲戒ハ會計士銓衡委員會之ヲ行フ但シ會計士協會ニ屬スル者ニ付テハ其ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

左ニ掲クル者ニシテ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ會計士名簿ニ登錄ヲ謂フトキハ第二條第二號及第三號ノ規定ニ拘ラス會計士タルコトヲ得

一 本法公布ノ日ヨリ一箇年以前ニ事務所ヲ設ケ第一條ノ業務ヲ執行シタル者

二 五箇年以上引續キ會計ニ關スル事務ヲ主宰シタル者ニシテ商業會議所又ハ銀行業ヲ營ム者ヲ以テ組織セル團體ヨリ推薦セラレタル者

(高木益太郎君登壇)

(拍手起ル)

○高木益太郎君 本案ハ會計監査ニ付、専門的知識經驗ヲ有スル人ヲ公認シテ、會計事業ノ放漫ニ流ル、弊害ヲ防グ爲ニ提出ヲ致シマシタ、宜シク御審議ヲ煩シマス、是ハ申上ケル迄モナク、曩ニ衆議院ニ於テ是ト同一ノ法案ニ付テ、全會一致ヲ以テ御可決ニナリマシタ、サウ云フ次第アリマスカラシテ、速ニ御審議ノ上可決アラムコトヲハ願ヒマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 本案ハ議長指長ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ希望致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイモト認メマス、即チ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シマス——日程第六、第七ノ兩議案ハ同種ノ議案ニシテ且ツ提出者モ同一ナルニ依リ、一括シテ議案トスルニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ一括シテ議題ト致シマス、第六、市制中改正法律案、第七、町村制中改正法律案——提出者近藤達兒君

第六 市制中改正法律案(近藤達兒君外七名提出) 第一讀會

市制中改正法律案

市制中左ノ通改正ス

第十五條 削除

第十六條 第一項中「二級又ハ三級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ」及第五項ヲ削ル

第十七條 第一項中「二級又ハ三級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ」ヲ削ル

第十八條 第四項中「同級ニ在リテハ」及「等級若ハ」ヲ削ル

第十九條 第三項中「每級各別ニ」及「及等級」ヲ削ル

第二十條 第三項中「等級及」ヲ削ル

第二十一條 第十三項ヲ削ル

第二十二條 第一項中「等級ヨリ」、「等級及」及第三項ヲ削ル

第二十五條 第五項但書ヲ削ル

第二十八條 第二項ヲ削ル

第三十條 第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ選舉スヘキ議員數ヲ以テ確定名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

第三十二條 第三項中「數級又ハ」ヲ削ル

第七 町村制中改正法律案(近藤達兒君外七名提出) 第一讀會

町村制中改正法律案

町村制中左ノ通改正ス

第十三條 削除

第十四條 中「二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ」ヲ削ル

第十五條 第四項中「同級ニ在リテハ」及「又ハ等級ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキ」ヲ削ル

第十六條 第三項中「每級各別ニ」及「解任ヲ要スル等級ニ」ヲ削ル

第十七條 第三項ヲ削ル

第十八條 第十二項ヲ削ル

第十九條 第一項中「各級ヨリ」等級及「及第三項」ヲ削ル

第二十二條 第五項但書ヲ削ル

第二十五條 第二項ヲ削ル

第二十七條 第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ選舉スヘキ議員數ヲ以テ確定名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

第二十九條 第三項ヲ削ル

同條第五項中「第三項」場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス」ヲ削ル

第三十一條 第二項中「第三項若ハ」及「又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキ」ヲ削ル

(近藤達兒君登壇)

(拍手起ル)

○近藤達兒君 本案ノ提出者ハ私及村松君、其他政友會及憲政會ノ先輩諸君ト提出ヲ致シテ居リマスガ、本來ハ此等ノ先輩諸君ガ提出ノ理由ヲ申上ケルガ順序デアリマスケレドモ、都合上私カラ申上ケルコトニ致シマス、私ハ此一案ガ一括サレテ議案ニ供サレマシタカラシテ、議案ヲ一括致シマシテ説明ヲ致ス積リデアリマス、本來自治制ナルモノハ、其制度ハ立憲政體ノ基本ヲ成スベキモノデアリマスカラ、此案ノ改正理由ニ付キマシテハ、既ニ皆樣ニ於テ十分御了解アル事ト信ジテ居リマスガ故ニ、最モ簡明ニ説明ヲ致ス考デアリマス、御承知ノ如ク此市制及町村制ハ明治二十一年ノ發布ニ係リマシテ、二十二年四月一日ヨリ地方ノ狀況ニ從テ逐次執行サレタ所ノ法律デアリマス、此間條文ノ改正モ行ハレマシテ、年所ヲ經ル事既ニ三十年ニ達シテ居リマスガ、此自

治制度ノ發達ト云フモノハ、寔ニ遲トシテ甚ダ遺憾ノ點ガ多イデアリマス、是レ畢竟國民一般ニ自治の觀念ノ幼稚ナル事ハ、其一因ヲ成シテ居ルデアリマスルガ、又一面ニハ其制度ノ不完全デアルト云フコトガ、其因ヲ成シテ居ルコト云フ事ハ爭フ可ラザル事實デアラウト思フデアリマス、此制度其物ノ不完全ト申ス點ニ付キマシテハ、多クアリマスルガ、其中ニ付キマシテハ先ツ法人ニ選舉權ヲ與フルト云フ事、竝ニ階級的の選舉ノ制度ヲ採テ居ルコトガ其主ナルデアラウト思フデアリマス、コレ故ニ先ツ此階級的の選舉ノ制度ヲ廢サント欲スルノガ吾々ノ趣旨ト致スデアリマス、此階級的の選舉ハ何故ニ案出サレタカト申シマスレバ、是ハ一面ニ於キマシテ、下級多數民ノ少數貴族富豪ヲ壓迫シテ採ラレタ所ノ制度デアリマシテ、而モ此制度ハ最モ舊時代ノ思想ニ基イタ所ノモノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマシテ、所謂官僚の思想ノ下ニ案出サレタ所ノ制度デアルト申シテ差支ナカラウト思フデアリマス、コレ故ニ此制度ハ歐米文明國ニ於キマシテハ、極メテ其類例ガ少ナク、僅ニ獨逸ニ於テ今日存在シテ居ルノミト申シテモ差支ナイデアリマス、此階級制度ガ下級民ノ橫暴ヲ抑ヘント云フ考デアリマシタガ、今日ノ結果ニ於テ見マスレバ、却テ強者ガ弱者ヲ壓スルト云フヤウナ傾ニナッテ居ルデアリマス、殊ニ市町村ニ於ケル所ノ一級選舉ノ如キモノハ、僅ニ一人若クハ二三ノ少數ナル所ノ人ニ依ツテ、一級若クハ二級ト同數ノ議員ヲ選出スルコトニ相成リマスルニ依ツテ、此少數者ニ依ツテ選出セラレタル所ノ議員ハ、動モスレバ全般ノ利害ヲ忘レテ、少數者ノ爲ニ公平ナル行動ヲ執ル事ガ出來ナイヤウナ立場ニ歸著スルデアリマス、此結果ハ遂ニ強者ト弱者トノ爭トモナリ、延イテハ又由々數所ノ社會問題ヲ惹起スル虞ガアルト考ヘルデアリマス、此選舉ナルモノハ御承知ノ通り、郡會、府縣會或ハ衆議院議員、是等ノ選舉等ニ於キマシテモ總テ階級選舉ノ制度ヲ用ヒナイデアリマス、此選舉ハ多數ニ於テ代表的ノ意味ヲ持ツト云フコトデアッタナラバ、獨リ市町村制ニ於テノミ、階級選舉ノ制度ヲ採ル謂レハナイ事ト私ハ信ズルデアリマス、コレ故ニ此階級的の選舉ノ方法ヲ廢シマシテ、府縣會若クハ衆議院議員選舉法ノ如ク、同一ニ均一平等ナル參政權ノ下ニ選舉ヲ行フト云フコトニ致シタイト云フノガ、本案提出ノ理由デアリマス、何卒御審議ノ上御賛成アラムコトヲ希望致シマス

(阿部德三郎君登壇)
(拍手起ル)

○阿部德三郎君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ委員會ニ於テ修正ヲ加ヘテ可決ヲ致シタデアリマス、一寸此修正ヲ加ヘマシタコトニ付テ御報告致シテ置キマス、一體本案ハ、郡會ニ於ケル少數派ノ議長ノ橫暴ヲ防止セントシテ提出サレタ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ固ヨリコレニハ反對ガナイデアリマス、同時ニ此郡會ニ於ケル多數ノ橫暴モ防止スル必要ガアルト云フコト修正ヲ加ヘタデアリマス、コレハ現行ノ法律ニ依リマス、郡會ニ於ケル郡參事員ノ選舉ト云フモノハ、數名若クハ連記ノ投票ヲ用ヒルコトヲ得ルノ規定ニナッテ居リマスル爲ニ、郡會ノ役員選舉ノアル度ニ、多數黨ガ橫暴ヲ極メルト云フヤウナコトガアル、甚ダシキニ至リマス、此役員選舉ノ爲ニ議員ノ爭奪ガ行ハレルト云フヤウナコトガ甚ダ其弊ニ堪ヘヌ、斯ノ如キハ圓滿ニ地方自治ヲ發達セシムル所以ニ非ラズト云フコトデ、此修正ヲ加ヘタデアリマス、修正ノ箇條ハ御手許ニ廻ッテ居リマス所ノ文書ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタイデアリマスガ、要スルニ此郡會ノ參事員ノ選舉ニ於テハ、單記無記名、即チ現行ノ府縣制ノ制度ト同一ノ規定ニ依ラウ、斯様ニ修正案デアリマス、委員會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ可決サレタデアリマス、政府モ此案ニハ全然同意ヲ表サレタデアリマス、此段御報告致シマス

○議長(大岡育造君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リシマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案ハ二讀會ヲ開クニ決シマス
○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎君
○岩崎勳君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正讀決ノ通り可決確定セラレムコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎君
○岩崎勳君 兩案ヲ一括シ、議長指名ヲ以テ特ニ二十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ、兩案一括、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ 日程第八、郡制中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長阿部德三郎君

郡制中改正法律案 第二讀會(確定讀)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案ハ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告修正ノ通り、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス
○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎君
○岩崎勳君 再ヒ議事日程ノ變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ前刻發議致シマシタ追加豫算六件、此外ニ尙ホ第四號大正七年度歳入歳出總豫算追加案、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、合計八件ヲ一括議題ト爲シ委員長ノ報告ヲ求メ、且其審議ヲ進メラレムコトヲ希望致シマス

第八

郡制中改正法律案(横山金太郎君提)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、仍テ日程ヲ變更シテ大正七年度歳入歳出總豫算追加案外七件ノ報告ヲ求メマス、委員長小川平吉君

- (第二號) 大正七年度歳入歳出總豫算追加案
- (第三號) 大正七年度歳入歳出總豫算追加案
- (第二號) 大正六年度歳入歳出總豫算追加案
- (第二號) 臨時軍事費總豫算追加案
- (特第一號) 大正七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
- (追第二號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
- (第四號) 大正七年度歳入歳出總豫算追加案
- (追第三號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
- (小川平吉君登壇)
- (拍手起ル)

○小川平吉君 唯今議題トナッテ居リマス議案ニ付、豫算委員會ノ經過結果ヲ御報告申上ゲマス、大正七年度歳入歳出總豫算追加ニ計上致シタル金額ハ、歳入六百七十七萬三千二百二十四圓、歳出七百四十一萬二千五百四圓アリマス、其歳入ハ樺太事業公債利子等ノ支拂ヲ要スルニ依リ繰入ルベキ金額四萬餘圓、司法省用地ヲ賣却スルニ依テ收入スル金額六十萬圓、及阿片拂下代收入額百四十萬餘圓、澱川改修増補工事ニ付ヒ納付スベキ金額四十萬圓、樺太事業費ノ財源ニ充ツベキ公債募集金百二十萬三千圓、及歳出豫算追加ノ財源ニ充ツルガ爲メ、前年度繰入金三百二十二萬八千五百圓、此外ノ不足ハ大正七年度歳入歳出總豫算ニ於ケルトコロノ歳入超過額ヲ以テ之ヲ支辨スル計畫ニナッテ居リマス、歳出ハ多數テ御坐イマスガ、其内主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、製藥用阿片トシテ指定會社ニ拂下グベキ阿片ノ購買費百四十萬圓、貴族院及衆議院ニ於テ議員ヲ海外ニ派遣スルモ要スル所ノ經費ノ増加四萬圓、東亞同文會ノ支那ニ於ケル事業ニ對シ補助スルトコロノ金額二十五萬餘圓、同仁會ノ支那ニ於ケル事業ニ對シ補助スルトコロノ金額二十五萬餘圓、工部省施行スルノ必要アルガ爲ニ總額五百九十七萬圓ノ中、大正七年度ニ於ケル年割額百萬圓、大阪ノ監獄ヲ移轉改築スルガ爲ニ要スル所ノ經費繼續費百八十萬圓ノ中、大正七年度ニ於ケル年割額四十五萬圓、京都地方裁判所ノ廳舎腐朽、且ツ狹隘ニ付之ヲ改築スル爲メノ金額二十六萬圓ノ中、大正七年度ニ要スル所ノ年割額八萬圓、是等ガ主ナルモノデアリマス、其外多數御坐イマス分ハ、悉ク水害若クハ火災ノ爲ニ要スル所ノ經費テ御坐イマス、其中二三ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、暴風雨ノ爲メ東京灣砲臺第三海堡ノ損害ヲ被リマシタニ就テ、復舊ヲ要スル所ノ經費トシテ繼續費三十三萬餘圓ノ内、大正七年度ニ要スル年割額八萬五千圓、又朝鮮師團建築費——一寸先刻申殘シマシタガ、水害火災及物價騰貴、此三ツノ原因ニ基ク所ノ事柄ガ多イデアリマス、其主ナルモノ、中、唯今申上ゲマシタル外、物價騰貴ノ爲ニ經費ノ不足ヲ生ジマシタ分ハ、朝鮮師團建築費五十二萬五千餘圓、並ニ兵器製造所新設費ノ豫算ニ不足ヲ生ジマシタガ爲ニ總額百八十餘萬圓ノ不足ヲ生ジマシタ、且

ツ此分ハ外國ニ注文致シタル兵器ノ到着遲延セシガ爲ニ、大正七年度以降二箇年ニ亘リ、即チ八年度迄及ンデ居リマスガ、其中七年度ノ年割額三十萬圓ヲ請求スルト云フノ御坐イマス、委員會ニ於キマシテハ審查ノ結果、何レモ已ムヲ得ザルモノトシテ原案ニ賛成スルコトニ決定致シマシタ、但シ此追加豫算ノ中ニハ往々ニシテ會計法ノ法規ニ依ル所ノ、所謂必要缺クベカラザルモノニ該當セザル嫌アルモノガアル、此點ニ向ッテハ將來ニ於テ十分注意スルヤウニト云フ、政府ノ注意ヲ喚起致シマシテ決議致シマシタ、又澱川改修工事ノ件ニ付キマシテハ、附帶決議ガ御坐イマス、之ヲ御報告致シマス、其決議ハ、澱川改修増補工事ノ設計ハ不十分ノ嫌ナキヲ保セス依テ政府ハ是カ實施ニ際シ尙ホ一層ノ完備ヲ期セシコトヲ望ム又瀨多川洗堰ノ調節ニ就テハ特ニ周密ナル監督ヲナサシコトヲ望ム是ガ附帶決議トシテ決定セラレマシタ、且又此樺太ノ鐵道經費五百萬圓ニ就キマシテハ、是モ追加豫算トシテ、今日ノ會計法ノ法規ニ牴觸スル嫌ガアル、且又會期切迫ノ際ニ至ッテ、此ノ如キ巨額ノ豫算ヲ提出スルコトハ穩當ヲ缺クト考ヘル、併ナガラ此事柄ハ極メテ必要ト認メルガ故ニ協賛ヲ與ヘル、但シ此公債ヲ償還スルトコロノ財源トシテ、政府ノ計畫セラレマシタル樺太ノ森林ヲ伐採シテ償還スルト云フ、此財源ニ就テハ十分ニ此森林ノ保護ヲシテ、荒廢ニ至ラザルヤウナ計畫ヲ立テ、且ツ確實ナル財源ヲ定メテ、更ニ提出スルヤウニト云フ希望ヲ述ベマシテ、而シテ此分モ決定致シマシタ、次ハ臨時軍事費ノ豫算デアリマス、臨時軍事費追加豫算ハ二千五百六十六萬四千三百二十七圓ヲ御坐イマス、之ヲ大正七年度ニ分ツノデアリマス、其中海軍ニ要スル所ノ分ハ、軍事行動ニ要スル所ノ金額、陸軍ノ分ハ時局ノ推移ニ依リマシテ、軍需品ヲ購入スル所ノ必要ヲ生ジ、是ガ爲ニ要スル所ノ金額テ御坐イマス、是ガ合セテ二千五百六十六萬四千三百二十七圓トナリマス、是ハ目下ノ時局ニ對シテ必要已ムベカラザルモノト認メテ協賛ヲ與フルコトニ決定致シマシタ、大正七年度各特別會計歳入歳出豫算ノコトニ付キマシテハ、爰ニ改メテ申上グル程ノコトモアリマス、但シ此中ニアル所ノ樺太ノ事ハ前既ニ申上ゲマシタガ、其他ノ分ハ改メテ爰ニ御報告スル程ノコトモナイト考ヘマス、書類ニ付テ御覽ヲ願ヘバ明瞭デアル次第テ御坐イマス、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、是ハ即チ同仁會同文會ト、同仁會ニ關スル所ノ契約デアリマス、次ニ第四號、大正七年度歳入歳出總豫算追加、是ハ貴族院令ノ改正ニ付ヒマシテ、議員ノ數ノ増加致シタルガ爲ニ要スル所ノ經費四萬餘圓、及都市計畫調查會ト云フモノヲ新設致シマス、即チ都市ノ追、膨脹致シマスニ連レテ、是ガ改善ヲ圖ル爲ニ調査スル所ノ調查會ノ設置ノ經費二萬五千三百八圓、是亦必要ナルモノト認メテ可決致シマシタ、次ハ追第三號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、是ハ日本興業銀行ニ於テ、支那及南洋等ニ向ッテ投資スル爲ニ要スル所ノ資金ヲ得シガ爲ニ、債券ヲ發行スル、此債券ニ對シテ政府ニ於テ金額一億圓ヲ限度トシテ保證ヲ與ヘルト云フコトノ件テ御坐イマス、是亦必要ナル事柄ト認メテ、委員會ニ於テハ可決スルコトニ相成リマシテ御坐イマス、此段御報告致シマス

(拍手起ル)
○議長(大岡育造君) 森秀次君

○森秀次君 本員ハ質問ノ通告ヲ致シテ置キマシタガ、政府ノ意思ノアル所ヲ確メマシテ、其必要ナシト存シマシタカラ撤回ヲ致シマス、尙ホ委員長ノ御報告ニ賛成ノ意ヲ表シタイト存シテ居リマシタガ、是モ唯今ノ御説明ヲ分明致シマシタシ、會期切迫ノ今日無用ノ事ト存シマスカラ、是モ撤回致シマス

○議長(大岡育造君) 唯今委員長報告ノ各案ニ付テ、決ヲ採リマス、委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ各案トモ委員長ノ報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマス

(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 日程第九、市町村吏員優遇ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者荒川五郎君

第九 市町村吏員優遇ニ關スル建議案(荒川五郎君外三名提出)

市町村吏員優遇ニ關スル建議案

市町村吏員ニ對シテハ官吏ト同シク級位級勳等ヲ授クルノ途ヲ開キ褒章ヲ有スル者其ノ他特ニ功勞顯著ナル者ニ對シテハ年限ニ拘ラス位勳ヲ敘シ又吏員及官吏ノ在職年數ヲ通算シテ之カ年限ヲ定ムル等其ノ他市町村吏員優遇ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(荒川五郎君登壇)

(拍手起ル)

○荒川五郎君 諸君、市町村吏員優遇ニ關スル建議提案ノ理由ハ今多ク辯明シマセヌデモ、既ニ本案建議理由書ニ於テ大要記載シテ置キマシタ事デモアリ、賢明ナル諸君ノ夙ニ御諒承下サル事ト信ジマスカラ、唯、爰ニ其必要ト考フル所ヲ由述ベマス、諸君、國ノ政治モ地方ノ自治モ、將タ諸般民業デモ、凡ソ天下國家ノ事何ノ事業デモ、其事業ノ進歩發達如何ハ全ク之ニ擔ハル其人ノ誠意ト技術如何ニ存シマスルノデ、所謂事業ノ盛ニハ人アリ、實ニ事業ノ稱スベキ成功ニハ、必ズ其裏ニ獻身ノ誠意熱心ニ努力スル人ガアリ、其爲ニ成功ヲ擧ゲテ居ルノ人アリマス、其人ヲ得ル事ガ實ニ大切ノ事アル、其事業ヲ自己ノ天職ト致シ、獻身ノ終身ノ努力ヲ以テ誠意熱心ニ從事スル人デナクテハナリマセヌ、故ニ上ニ立ツ人ハ適材ヲ得テ適所ニ置ク事ヲ努メ、又各自自分ノ適材ハ、何レモ適所ヲ得テ己ノ適材ヲ發揮スルコトヲ心掛ナケレバナラヌ、斯クシテ幸ニ適所ヲ得テ、長ク身ヲ其事業ニ委ネ、驅勉努力シテ其成績ヲ擧グルヤウニシタイモノデアリマスガ、併シ假令適材適所ヲ得テモ、長キ年月ヲ積マナケレバ到底十分ノ事功ヲ擧グル事ヲ得ナイノハ勿論デアリマセウ、諸君、市町村長等ハ定期改選ノ制度ニナツテ居リマスガ、是ハ改選シテ其人ヲ變更スルト云フ趣意デアリマセヌ、例ヘバ衆議院議員ノ如キニシテモ、四箇年毎ニ改選ガアル許リデハナイ、又時々解散

モアリマシテ、僅少ノ年月ニ選舉ガ屢アリマスルケレド、幸ニ再選セラレ、人、引繼キ引繼キ再選セラレ、人ガアリマスルカラ、爲ニ今日ノ議會ノ發達整頓ヲ見テ居ルニ至ツタコトハ少ナクナイト思ヒマス、若シ改選毎ニ其人ガ全部變タナラバ、連モ今日ノヤウニハ行クマイト思ヒマス、此點ニ於テ初期以來、若クハ長ク引繼キ當選セラレタル名譽アル諸君ノ特ニ敬意ヲ表スルノデ、先年初期以來ノ當選諸氏ノ祝賀表彰ノ會モ開カレタ次第デアリマス、決シテ改選ト云フ事ガ、人ヲ代ヘルト云フ意味ヲ旨トシナイ、永ク勤績シテ其成績ヲ擧グルコトヲ希望スルノデアル事ハ申ス迄モアリマセヌ、彼ノ官吏ニ對シテ位階勳等ヲ賜ヒ、又年限ニ應ジテ年數ニ依テ恩給ヲ加フルガ如キ、全ク永ク勤績セムコトヲ獎勵スルノデ、今日ハ世間一般ニ多年ノ勤績者ヲ表彰スル風ガ行ハレツ、アリマス、是モ所謂繼續ハ力ナリ、其繼續ノ勤勉ガ之ヲ獎勵シテ、其事業ノ進歩發達ヲ圖ルニ外ナラナイト思ヒマス、殊ニ諸君、市町村長等ノ如キ複雜錯綜セル諸般ノ法令、慣習、典故等ニ習熟ヲ要スルノミナラズ、市町村ヲ知リ、市町村人民ヲ知リ、既往ヲ知ルト同時ニ又深ク將來モ考ヘ、以テ其務ニ服サナケレバナリマセヌカラ僅々ノ歲月其職ニアリテハ、到底適當ニ其職務ヲ盡スコトハ出來マセヌ、其勤績其習熟ヲ要スルノハ、他ノ官吏ト全ク異ル所ハナイ、否ナ市町村ハ他ノ官吏ノヤウニ土木トカ、兵事トカ、徵稅トカ云フヤウニ専門的、部分的ノ仕事デハ御坐イマセヌ、各種百般ノ事項ニ互ツテ居リマスル許リデハナイ、其上人民ニ直接スルコトハ他ノ官廳ノ比ニ御坐リマセヌカラ、老幼男女賢不肖、悉ク皆之ヲ相手ト致サナクテハナラヌカラ、其職務ノ困難煩雜ナル事ハ到底同日ノ論デアリマセヌ、從テ是ガ他年ノ勤績者ヲ得ル來ハ中ニ容易デナイノデ御坐イマス、諸君、廣島縣ノ廣村ト申シマスレバ、第一回ニ於テ內務大臣カラ表彰セラレマシタ、全國屈指ノ有名ノ模範村デアリマス、今日地方自治ニ志アル者ハ遙々廣村ニ參ジテ、實地ヲ觀察シ研究スル者ガ月々年々非常ノ多數デ御坐イマス、爲ニ前年來此廣村ニハ是等觀察スル人ニ應接スル爲ニ、特ニ吏員ヲ増シテ居ル程デアリマス、ガ此村ノ村長、又助役許リデナク、書記ノ如キモ町制實施以來デハナイ、其實施以前カラモ其職ニ努メツ、アル者ガ段々アリマス、是レ微々タル僻在ノ漁村ノ此吏員等ガ、誠實ニ勤績致シ繼續ハ力ナリ、其力ハ大力トナリ、遂ニ堂堂々天下ノ模範村ヲ成スニ至ツタデアリマス、名モナキ無名繼續ノ力ハ斯ク有名トナツタデアリマスカラ、是レ即チ無名ノ偉人ト云ツテモ差支ハナイデアリマセウ、市町村ニ其人ヲ要シ、而シテ其人ガ長ク其職ニ勤ツコトヲ要スルノハ實ニ多言ヲ要シナイコト、思ヒマス、而シテ諸君、市町村ノ事務ハドウデアルカト申シマスルノ、市町村ノ事務ハ戶籍、兵事、衛生、教育、土木、勸業及徵稅等其事務ノ九分方ハ、實ニ國家ノ事務、府縣ノ行政デアツテ、純粹ニ市町村固有ノ事務ハ僅ニ其一部分ニ止マリマスルノデ、其名ハ市町村自治ノ吏員ト云フト雖モ、其實執所ノ實務ハ殆ド國家ノ官吏ト擇所ハナイト申シテモ宜イノデアル、デアリマスカラ唯、其名ガ自治ノ吏員デアルト云フガ爲ニ、其實際ニ對スル待遇モ與ヘナイト云フノハ、甚ダ其當ヲ得ナイコトデアリマセヌカ、諸君、凡ソ位階勳等ハモト官吏ノ勤績ヲ獎勵スル爲ニ設ケタモノデアリマセウ、併シ今日ハ官吏デナクテモ、國家ノ爲ニ盡シタ者ハ位勳ヲ賜フテ居ルモノハ尠クアリマセヌ、例ヘバ兵隊ノ如キハ、是ハ憲法上帝國臣民ノ大義務トシテ兵役ニ服シマスノデ、勿論官吏デモ公吏デモナイケレドモ、戰時ニハ彼ノ軍人專屬ノ金鵄勳

章ノ外ノ勳章ヲ賜ハテ居ルノアリマス、又前年來在官ノ儘民業ナドニ從事スル例ガ行ハレテ居リマス、知事ノ官ヲ持ッテ滿鐵ノ理事ニナタリ、或ハ裁判官デ支那政府ノ顧問ニナタリ云フヤウナ者ガアリマス、是等ハ唯、特ニ在官ト云フ特典ヲ與ヘ、其實我ガ國家ノ國務ニ從事スルノデハナイ、是等ハ勳績恩給等ノ恩典ニ便シタモノト致シマスレバ、實際官吏ニアラザル者ニ官吏ノ待遇ヲ與ヘタモノデアリマス、其他實業家トカ、巨額ノ金圓ヲ獻納シタ者ナドモ優遇シテ、敍勳敍爵セラレタ例モ少クナイデアリマス、況ヤ市町村長等ハ前ニモ述ベマシタ通り、主トシテ國ノ行政ヲ執ルノデ、之ヲ官吏ト同シク待遇スルノハ極メテ至當ナ事ト信ジマス、去ル明治三十九年三月市町村長行賞ニ關スル建議案ガ當院ニ出マシタ、本員等モ其一人デアリマス、是ハ日露戰役ニ際シテ、勳員準備ニ關シ、國債募集ニ關シ、其他戰費調達軍需品調達等ノ事カラ、一般士氣ノ獎勵、軍人ノ後援等市町村長等ガ國家ノ大事ニ際シテ、活動致シタコトノ多大ナルヲ認メテ行賞ヲ申立ッテ御坐イマシテ、當時委員會ハ滿場一致決可決致シマシタ、本會デハ緊急勳章ヲ以テ可決シタデアリマス、茲ニ一言註シテ置キマス、其當時市町村長トアリマス、之ニハ助役ヤ其他ノ吏員並ニ市町村制ヲ施行シナイ土地ノ戸長モ含ムト云フノデ、之ヲ特ニ委員長カラ本會ニ言明シタデアリマス、ソコデ今本案ハ此意ヲ以テマシテ、之ヲ市町村吏員ト總括シタデアリマス、一寸一言註シテ置キマス、而シテ二十七八年日清戰役ノ時ニハ官吏ト云フノデ、二等郵便局長マデモ行賞セラレマシテ勳章ヲ賜ッテデアリマス、然ルニ其時市町村長等ハ唯、木杯ヲ賜ッテ止マッテ居リマシタ、日露戰役ニ際シテハ市町村長助役等ハ、夫々敍勳トナリマシタ、又先年曠古ノ御大典ヲ舉ゲサセ給フニ當リマシテハ、市町村長ハ全國悉ク皆ナ大饗第一日ニ於テ賜ハル地方廳ノ御饗宴ニ召サレタデアリマス、漸次市町村長等ノ待遇モ進メラレツ、アルノデアリマス、ケレドモ平時常久ノ此取扱法ニ於テ、其方法ヲ一定セラレナイノハ、是ハ市町村長等ニ其人ヲ得ル所以デアリマス、是ハ本案ヲ提出致シ、他ノ官吏ト同シク位階勳等ヲ賜ハルノ制度ヲ開キ、褒章ヲ有スル者、其他特ニ功勞顯著ナル者ニハ、其年限ニ拘ラナイ位階勳ヲ賜ハリ、又他ノ官吏ト市町村吏員トノ勤続年限ヲ通算シテ、其年限ヲ定ムルト云フヤウナ、ソレ等ノ制度ヲ定メラレタイト思フデアリマス、彼ノ官吏ニアラザル兵役——官吏ニアラザル兵隊ノ其年限デモ、之ヲ下士官ノ勤務年限ニ加ヘテ居ル例モアリマス、是等ノ均衡ヲ取り、相當ノ方法ヲ設ケラレ、又特ニ特別ノ勳章ヲ設ケラレト云フノモ、一法デアリマス、尙ホ此敍勳敍位以外ニ於テモ、勳績者ヲ獎勵シ表彰シ、優遇スル途ヲ講ゼラレトハ實ニ必要ナ事ト信ジマス、況ヤ諸君市町村ハ最下級ノ自治體デ、國家ノ基礎ヲ成スモノデ、市町村ノ發達ノ如何ハ直チニ國運ノ消長、國家ノ隆替ニ重大ナル關係ヲ有スルコトハ申スマデモ御坐イマセヌカラ、國運ノ隆昌ヲ圖ラント欲セバ、第一ニ先ツ市町村ノ健全ナル發達ヲ圖ラナケレバナラヌ、國家ノ政務財政ヲ整理セント欲セバ、先ツ市町村ノ政務財政ヲ整理シナケレバナラヌ、ソレデアリマス、國家ハ國家自體ノ爲ニ、市町村ニ其力ヲ盡スヲ要スベキハ勿論ノ事デアリマス、且ツ今日ノ有様ハ國運ノ發步發展ト共ニ、此市町村ノ事務ハ一日ト加ハリ、年一年ト増シマシテ、次第々々繁劇複雜ヲ加ヘツ、アリマス、此度豫算ニ議決セラレ、近ク行ハレトスル國勢調査ノ如キモ、市町村ハ是ガ重要ナル機

關トナッテ努力ヲ要スベキハ明カナコトデ、此類ノ新事業新國務ハ續々トシテ年々ニ加ハリ來ルコト御坐イマス、旁、一層此處ニ留意シテ、市町村ニ其人ヲ得、其勤績ヲ獎メ其事ノ舉ル途ヲ講ゼラレムコト切望致スデアリマス、諸君、凡ソ「簡單」ト呼フ者アリ經世濟民ニ志アル者ハ常ニ注意シテ怠ラズ、國民ノ元氣ヲ策勵シ、大國民の氣性ヲ涵養シ、與國の氣分ヲ鼓吹スルコトヲ努メナケレバナラヌ、與國の氣分ノ滿チ漾フ處、是レ即チ大國民の氣性ヲ養ヒ、之ニ依リテ一般國民ノ氣運ヲ導イテ、大ニ國家ノ元氣ヲ高ムル所以デアリマス、明治維新ノ大業モ蓋シ勤王論ニ鼓吹セラレテ、國民上下ノ間ニ與國の氣分ヲ漾フテ醸成シ得タ結果ニ外ナラナイと思ヒマス、況ヤ今ノ時世界ノ大勢ハ一層國民ヲシテ此氣性ヲ養ヒ、與國ノ氣分ヲ鼓吹シ（「分リマシタ」ト呼フ者アリ）銳意努力奮闘スル堂々タル大國民性ヲ涵養スルニ努メナケレバナラヌ、ソレニハ各方面ニ其人ヲ得ルノ途ヲ講ズルコトガ第一と思ヒマス、併シ諸君、人ヲ得ルト人ノ爲ニスルト云フ事トハ違フ、我國ノ政治ノ現狀ハ、國家國民ノ政治テナクシテ、或一部分ノ人ノ爲ニ政治スルガ如キ觀ガアリマス、即チ大學其他ノ學生ガ高等試驗ニ及第シ、或ハ府縣ノ屬官トナリ（「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）事務ノ見習ヲシテ、少シ其様子ガ分ルト直チニ或ハ郡長トナリ、郡長ニナッテ其地方ノ民情、俗、習慣、其他ノ事情ニモ全ク通ジナイ上ニ、又典例、法規等ニモ暗キ身ヲ以テ責任ノ地位ニ立テ、郡民ノ安寧幸福ヲ支配スルヲ以テ、往々民情ニ合セズ、郡民非常ノ不幸ヲ蒙ルコトモアルノハ、寧ロ當然ト云フデモ宜イデアリマス、而シテ其郡治ノ事ニ漸ク通ジ、是カラ郡治ニ力ヲ振ビ得ルト云フ時分ニナルト、忽チソレガ轉ジテ理事官ニナリ、サウシテ府縣ノ課長トナル、全ク無經驗不案内ノ課長ニ進ムデアリマス、ソコデ又漸ク事務ヲ覺エテ、大體ニ通ズルニ至レバ、又即チ轉ジテ、事務ノ性質モ制度モ全ク變ッテ警察部長トナリ、ソレカラ内務部長ニ轉ジ、知事ニ昇ルト云フヤウニ、一郡一課ノ一部ノ事務ハ、國家國民ノ爲デハナク、全ク舉ゲテ其人ノ實地練習ノ爲ニ供ヒラレテ、恰モ其人ガ委任官トナリ、勅任官トナル、進級ノ章紙ニセラル、ガ如キ觀ガアリマス（「降壇々々」ト呼フ者アリ）暫ク御待チナサイ（「大ニヤルベシ」ト呼フ者アリ）諸君、人ノ爲ニ官ヲ設クルト云フコトハ政治上ノ罪惡デアル、況ヤ國家ノ政務ヲ一種ノ人ノ章紙ニスルガ如キハ國家ノ爲ニ甚ダ取ラナイ許リデナイ、其官吏其人ノ爲ニ不幸不利益ガ多イト思フデアリマス、本人必ズヤ本意トスルニ違ヒナイ、何トナレバ凡ソ人ニハ長所短所ガアル、得手不得手ガアル、農工又ハ土木ノ係トシテ適當ナ人ガ必シモ警察ニ適スルトハ言ヘナイ、各、其……

○議長（大岡育造君） 荒川君此問題ニ關係ノ事ニ成ルベク止メテ貰ヒタイ

（「ヒヤ」ト呼ビ拍手スル者アリ）

○荒川五郎君 承知シマシタ（「大ニヤリ給ヘ」ト書イタ物ヲ速記者ニ渡シテ降リ給ヘ）ト呼フ者アリ）早クシマス、少シ御待チナサイ、唯、自分ハ事業ハドウデモ宜イ榮進スレバ宜イ、ト云フコトナラバ免モ角モ、苟モ吾ガ力ヲ十分揮ハウト思ヘバ、何人モ之ヲ遺憾トセザルモノハアルマイト思ヒマス（「簡單々々」ト呼フ者アリ）デアリマス、凡ソ就職ノ初ハ經驗ガ無いノハ已マ得ナイトシマシテモ、其事ニ通曉シマシタナラバ、終生ノ努力ヲ以テ進ム、其代リ或ハ多年勤功成績ニ依テハ郡長課長カラ、直チニ内務部長ニモ知事ニ

モ進ミ得ルヤウナ方法ヲ開イタラ宜カラウト思フ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)斯ウ云フヤウニシテ人ノ進路ヲ妨グル事モナク、其人ノ適才ヲモ發揮スルコトニスルノガ、即チ是レ爲政ノ要義デアラウト思フノデアリマス(「分タノ」ト呼フ者アリ)斯ウ今日ハ徒ラニ進級シテ、サウシテ之ヲ官吏ノ勤続年限ニ加ヘマスケレドモ、職ヲ更ヘル以上ハ、全體嚴格ニ言ヘバ勤續デハナイノデアル、勤續ト言ヘバ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)其職務ニ勤續スルモノデアル、デアルカラドウカ其職務ニ勵精シ、其職務ニ成功スルヤウニ、官吏ニシテモ成ルベク此一定ノ地位ニ永續スルヤウニアリタイ事ト思ヒマス、諸君繼續ハ力デアル、繼續其物丈デモ、既ニ大ナル勵ヲ爲シ效果ヲ舉ゲルノデアル、況ヤ市町村長等ガ四年毎ニ改選ニ會フデモ、尙ホ引續キ當選勤續シ得ルト云フノハ、全ク忠誠熱心ニシテ手腕アル人デナクハ出來ナイコトデアルト思ヒマス、隨テ是等ノ人ヲ大ニ表彰シ、又獎勵スル道ヲ開クコトハ實ニ必要ナ事ト思ヒマス(「ヒヤノ」ト呼フ者アリ)國運ノ進歩發展ヲ常ニ心ニ懸ケラル、忠誠ナル滿堂諸君、諸君ノ幸ニ此議ヲ容レテ審議決定アリテ、政府ヲシテ速ニ是ガ方法ヲ實行セシムルニ至ラムコトヲ切望致シマス、一寸終リニ申シテ置キマスガ印刷ノ誤リデ、此建議案ノ本文ニ「等ヲ授クル」ト云フコトガ、無カッタ文字ガ入ッテ居ル、是ハ印刷ノ間違デ、既ニ訂正ヲ御配リ致シマシタガ、特ニ此際ニ申上ゲテ置キマス

(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ勳議ニ御異議ナイモノト認メマス、依テ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ、日程第十、市町村其ノ他公共團體ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者奏豐助君

第十

市町村其ノ他公共團體ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案(奏豐助君外十名提出)

市町村其ノ他公共團體ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案

市町村其ノ他公共團體ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案

政府專賣事業中煙草元賣捌ニ關スル事務ハ市町村其ノ他ニ準スヘキ公共團體ニ委任シテ之ヲ處理セシメ之カ費用トシテ從來ノ例ニ依リ取扱代金ノ百分ノ三乃至百分ノ五ヲ交付スルコトト爲シ本年六月煙草元賣捌人指定更新期ニ於テ之ヲ實行スヘシ
右建議ス

(奏豐助君登壇)

(拍手起ル)

○奏豐助君 本建議案提出ノ要旨ヲ簡明ニ申述ベマス、此案ハ政府ノ專賣事業中、煙草ノ元賣捌ニ關スル所ノ事務ヲ、市町村其他之ニ準スベキ公共團體ニ委任致シマシテ、是ガ費用ト致シマシテ、從來此元賣捌人ニ割引歩合トシテ交付致シテ居リマス所ノ、百分ノ三乃至百分ノ五ノ取扱手数料ヲ交付致シマシテ、本年ノ六月恰度期限ガ滿ツルノデアリマスカラシテ、此更新期カラシテ之ヲ實行シタイト云フノデアリマス、此專賣法ハ御承知ノ如ク、三十七年ニ行ハレマシテ以來、其當時煙草ヲ賣シテ居ッ

者ニ、此元賣捌人ヲ大體ニ委託シタノデアリマス、其後段々ニヤッテ參リマシテ、今日デハ即チ法律ノ示スガ如ク三箇年、二箇年ニ之ヲ更新シテ、期間ヲ定メテ居ルノデアル、其實況ヲ見テ視マスト云フト、此仕事ハ極メテ簡單デアリマシテ、所謂專賣デアルカラシテ競争ノ憂ト云フモノハ一ツモ無い、隨テ資金ヲ要スルコトモ少ナク、又規定ニ依リマシテ國債、地方債又ハ指定セラレタル有價證券ヲ提出シテ置キマスレバ、其代金ト云フモノヲ、其額ニ達スル迄ハ延納スルコトガ出來ルト云フヤウナ、非常ナル特典ガアルノデアル、ウレデアリマスカラシテ實際ノ有様ハ各地ニ於キマシテ、此元賣捌人ノ純益ト云フモノハ少ナイ所デモ數千圓、多キハ數萬圓ニ達シテ居ルト云フ實際ノ狀況デアリマス、是ガ此煙草ノ値上ガアリ、又此需要ガ段々ニ増加致シマスルニ付キマシテハ、既ニ一億萬圓以上ニモ製造煙草ノ賣上高ガナッテ來ルト云フ有様デアリマスカラシテ、此收益ガ段々増加スルト云フコトハ是ハ疑ナイコトデアリマス、所ガ一面ニ市町村ノ狀況ヲ見マスルト、申ス迄モナク財政上ニ於テ此負擔ノ輕減ヲ要スルト云フヤウナ問題ガ起テ居ルヤウナ場合デアルノミナラズ、此市町村ノ將來ニ於キマシテ、又仕事ヲ爲スノニ財源ガ無クテ困デ居ルト云フヤウナ實況デアリマス、是ハ私ガ詳シク申上ゲマセデモ諸君モ御承知ノ事デアル、ウレデアリマスガ此煙草專賣業ト云フモノハ、元來申シマスルト、即チ政府ガ自ラ爲スベキ所ノ仕事デアル、煙草專賣法ニ於テモ規定シテアル通り、此販賣ト云フモノハ政府ガ自ラ爲スルノガ本體デアリマス、ウレ故ニ此政府ノ爲スベキ仕事ヲ、町村制又市制ノ明文ニ依リマシテ、法律又ハ勅令ニ於テ市町村ニ屬スル事項ヲ振フト云フ規定ガアリマスカラ、此政府自ラ爲スベキ事務ヲ市町村公共團體ニ又委任スルト云フコトハ、法律上ニ於テ何等差支ナイノデアリマス、又此事業ノ市町村ニ於テヤル場合ニ、營利事業デアルト云フ風ナ非難ヲスル人モアリマスケレドモ、今申シテ通リ譯デアッテ國ノ爲スベキ所ノ專賣事業ノ一部分、即チ賣捌又事務ヲ市町村ニヤラセルト云フコトデアレバ、是ハ營利事業トカ何トカ云フ名稱ヲ下スベキモノデナイ、是ハ殆ド議論スル必要ハナイト私ハ思フノデアル、又現在ノ有様ヲ見マスルト、元賣捌ト云フモノガヤッテ居リマスノガ、元賣捌ノ自分ノ營業所迄必ズシモ之ヲ運搬シテ、ウレカラ各地方ニ之ヲ所謂出賣制度——出賣シテ居ルノデナイ、販賣所カラ致シマシテ鐵道或ハ其他交通ノ便宜ニ依ッテハ、直チニ之ヲ小賣商ノ方ヘ送ッテ居ル、即チ運送業者ニ委託スレバ——命令スレバ直グニ出來ルト云フ實際ノ狀況ニナッテ居ルノデアリマス、ウレ故ニ此仕事ハ競争モナク又資金ヲ要セズ、極メテ簡單、其品物ハ腐ル氣遣ヒガナイ、又惡クナレバ換ヘテヤルト云フ規定ガアルノデアリマスカラ、是ハ市町村デアルノニ最モ適當シテ居ルコトデアラウト思フ、又今申シテ通リ法律上カラ申シマシテモ、何等差支ナイコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ此取扱代金百分ノ三乃至百分ノ五ヲ交付スルコトハ、前申シマシタ通り政府ガ現ニ割引歩合トシテ交付シテ居ルト、少シモ違ハナイノデアリマスカラ、之ヲ交付スルコトハ政府ニ於テ何等損害ガナイ、又市町村ニ於キマシテモ、今日地租其他ノ國稅ヲ徵收シテ居ル、此地租以外ノ國稅徵收ニ對シマシテハ、即チ百分ノ四ノ交付金ヲ政府カラ市町村ニ渡シテ居ルノデアル、丁度此割合ガ稍、相似テ居ルノデアリマス、相當デアラウト私ハ信ズルノデアル、此市町村ニ對シマシテハ、法律勅令ニ依リマシテ一例ヲ申シマスレバ、教育事務ノ如キ小學校令——勅令ニ依ッテ非常ナル負擔ヲシテ居ルノデ

アル、又衛生事務アルトカ汚物掃除アルトカ、或ハ傳染病豫防アルトカ、是等ノ市町村ノ負擔ト云フモノハ隨分多イ、又軍事其他戶籍ノ事務、夫等ノ事ニ付キマシテモ、國カラシテ市町村ニ之ヲ擔任セシメテ居ル所ノ事務ハ澤山アル、又將來モスルデアリマセウ、併ナガラ是等ハ皆市町村ノ負擔ヲ重クセシムル所ノ仕事アル、是モ亦已ムヲ得ナイノデアリマスカ、斯ウ云フ風ニ市町村ノ負擔ヲ重クセシムル所ノ仕事ハ、段々殖エテ行クガ、少シデモ——少シデハナイ其仕事ハ私ノ考ヘルノデハ、全國ノ市町村ニ對シテ數クモ一箇年三百萬圓ノ實收入ヲ與ヘルコトガ出來ルト私ハ信ズルノデアアルガ、此收入ヲ得ラレルヤウナ途ガアルノニ、斯ウ云フ風ナ國ノ事務ト云フモノハ、委任ヲセズシテ負擔ノ重ナルモノヲ委任ヲスルト云フノハ、甚ダ私ハ不公平デアラウト思フ、是ハ其點カラ申シマシテモ、市町村即チ國家ノ基礎ヲ固クスル所ノ市町村ノ財源ニモ——ツナルノデアリマスカ、是非トモ是ハ實行セラレンコトヲ希望スル次第デアリマスカ、而シテ此指定更新期ガ丁度本年ノ六月二十日——大正四年即チ三年前カラ今日ニ至リマシテ、六月二十日テ切レルノデアアル、是迄ハ明治三十七年施行以來ニ元賣捌ニナッテ居ル者ガ大部分ヲ占メテ居ル、今日デハ夫等ノ者デモ十數年利益ヲ占メテ居ルノデアリマスカ、今日是ガ期限ガ切レマシテ、市町村ニ委任サレルコトニナリマシテモ、事實上ニ於テ是等ノモノニ補償ヲ與ヘルト云フ必要ガ起ラナイノデアアル、法律上ニ於テハ右申シマシタ通り、期限ガ來タノデアリマスカ、何等問題ハ起ラナイ、補償ノ問題ハ起ラヌト思フ、又大正四年ニ新ニ指定セラレタモノモ、是ハ二年間ニ相當ノ收入ヲ得テ居ルノデアアル、利益ヲ得テ居ル事デアアルカラ、是亦實際上ニ於テ補償ノ問題ハ固ヨリ起ラヌ、法律上ニ於テ何等起ラヌノデアアル、サウ云フ譯デアリマスカ、而シテ一面ニハ此事柄ガ非常ニ簡單ニシテ資金ヲ要セズ、利益ノ多イ爲ニ、此更新期ニ於テ幾多ノ弊害ノ起ルコトヲ虞レルノデアアル、之ガ市町村ニ委任セラレマシタナラバ、是等ノ弊害ハ些ットモ起ラナイ、殊ニ私ハ此弊害ニ付キマシテハ——此煙草元賣捌人ハ大正四年ハ約四百二十九人ニナッテ居ル、段々減ッテ來テ居リマスカ、其四百二十九人ノ中三百六十人程ハ、此專賣法施行以來今日迄續イテヤッテ居ルノデアアル、其以外ノ八十何人ガ近頃ニナッテ變ッタルデアアル、此大正四年又其前ノ四十五年、其時ニ變ッタルデアアルガ、殊ニ大正四年ニ變ッタル時、又繼續ヲ許可セラレタモノニ付キマシテモ、是ガ大限内閣ニ於テ選舉干渉ニ之ヲ濫用シタト云フコトハ、明カナル事實デアアルト私ハ思フ、是ハ洵ニ憂フベキ弊害ノ最モ大ナルモノデアリマスカ、斯ノ如キ弊害ヲ將來ニ於テ防グト云フコトハ、之ヲ市町村ニ委任致シマシテ、サウシテ市町村ニ收入セシメ、又一面ニハ此事務ガ敏活周到ニナリ、此專賣事業ト云フモノガ十分ナ效果ヲ奏スルト云フコトハ、私ハ希望スルノデハ此案ヲ提出シタ所以デアリマスカ、ドウカ諸君ニ於テ御贊同アラント希望致シマス(拍手起ル)

○隅田豐吉君 議長

○議長(大岡育造君) 何デスカ

○隅田豐吉君 一寸提案者ノ簡單ナ質問ヲ致シマス、御許ヲ願ヒマス——願ル簡單ニ提案者ニ質問致シタイト思ヒマス、當席カラ申述ヘルコトヲ御許ヲ願ヒマス、本建議案ノ趣旨ハ吾々モ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル次第デアリマスカ、本員等ノ承知スル所ニ依リマスカ、現在ニ於テ政府ガ煙草元賣捌人ニ交付シツ、アル手数料ハ、最低ガ千分ノ十五

デアッテツレカラ漸次千分ノ五宛上ゲテ六階級ニナッテ、千分ノ四十ト云フコトニナッテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスカ、而シテ今提案者ノ御説明ニ依リマスカ、百分ノ三即チ千分ノ三十乃至百分ノ五即チ千分ノ五十ト云フコトニナッテ居リマスカ、尙ホ本日日程第十五ニ載ッテ居リマスカ所ノ是ト殆ド同ジキ建議案、即チ國民黨ヨリ提案サレテ居ル建議案ノ中デモ、同様ニ其交付金額ハ百分ノ三乃至五トナッテ居リマスカ、此建議案ノ提案者ハ、是等煙草元賣捌市町村若クハ公共團體ニ委任スルト同時ニ、是等ノ交付金額、即チ手数料ヲ引上ケルノ意思デアリマスカ、ドウカ、其點ヲ御尋致シマス

○奏助君 御答ヲ致シマス、其事ハ私ハ專賣局ニ付テ問合シテ回答ヲ得タノデアリマスカ

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ勸議ニ御異議アリマセスカ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルニ決シマス、日程第十一帝國美術館建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者鵜澤總明君

第十一 帝國美術館建設ニ關スル建議案(法學博士鵜澤總明君外四名提出)

帝國美術館建設ニ關スル建議案

美術ノ向上開發ト美育ノ普及トヲ圖ルハ目下ノ急務ナリ政府ハ速ニ帝國美術館ヲ建設シ以テ此ノ目的ヲ達セムコトヲ望ム

右建議ス

(法學博士鵜澤總明君登壇)

(拍手起ル)

○法學博士鵜澤總明君 諸君、此國家ノ經營ニ成ル美術館ノ如キモノハ、吾々ノ提案ヲ俟タズシテ政府ガ今日ノ場合ニ於テ、直チニ之ヲ實行スベキモノデアルト考ヘルノデアリマスカ、凡ソ此度ノヤウニ破壞ノ事業ノ進ンデ居リマスカ場合ニ於テハ、同時ニ建設若クハ保存ノ事業ガ進マンケレバナラヌノデアリマスカ、奈破翁第一世ハ歐羅巴ノ凱旋ヲ卒ヘテ歸リマシタ時ニ、直チニ六ツ若クハ七ツカノ美術館ヲ造ツタト云フコトデアリマスカ、從ッテ非常ニ美術館ノ建設ノ如キモノハ、悠長ノヤウナ事柄デアリマスカ、甚ダ緊切ナ事柄デアラウト思フノデアリマスカ、若シモ美ハ何處ニ在リヤ、美トハ何アヤト斯ウ云フヤウナ心理學上ノ問題デアリマスカ、今日東洋ノ美術國ト致シマシテ、世界ニ隱レナキ我國ニ於テ、古代ノ美術或ハ近代ニ互ル所ノ、幾多ノ美術ヲ陳列致シマスル所ノ帝國美術館ト云フヤウナモノ、今日無イト云フ事柄ハ、甚ダ我國ノ文明ノ爲ニ遺憾デアルト申サンケレバナラヌト思フノデアリマスカ、ソコデ歐羅巴諸國ノ事ハ私ナドハ一向存ジマセヌガ、苟モ此美術

ト云フモノヲ以テ非常ニ之ヲ重大ト視テ居ル、或ハ此美術ニ依リマシテ、單ニ代表的ニアラサシテ一種ノ模範的教育ヲ施シ、即チ知ラズ識ラズノ間ニ國民ノ高尚ナル氣分ヲ養フト云フヤウナ、此意味ニ於テモ非常ニ此美術館ヲ必要トスルト云フヤウニ承テ居ルノデアリマス、デ今日ハ我國ノ古代美術ノ如キモノハ澤山アルサウデ御坐イマススケレドモ、併シ之ヲ保存シ、之ヲ多勢ノ者ニ展覽セシムルニ足リル所ノ、即チ此美術ヲ入レテ大勢ノ觀覽ニ供セシムル場所ノ無イ爲ニ、美術ハ寧ロ此派ヲ繼グシテ泣イテ居ルト云フヤウナ狀況ニナッテ居ルト云フ話デアリマス、彫刻家ガ其徒ヲ以テ、大理石ノ中ニ隱レテ居ル獅子ヲ躍リ出サセヤウト思ヒマシテモ、茲ニ之ヲ收メル場所ガ無イ爲ニ、徒ラニ豹ノ荒レ廻ハルヤウナ狀態ニナッテモ困ルト云フヤウナコトデアリマス、或ハ又畫伯ガ繪絹ノ裏ニ潛ンデ居ル山水デアルトカ、或ハ人物デアルト云フヤウナモノヲ、今日吾々ノ前ニ躍ラシメヤウト致シマシテモ、之ヲ容ル、所ノ美術館ガナイ爲ニ、却テ手ヲ控ヘテ居ルト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトヲ承テ居リマス、斯様ナ次第デ御坐イマシテ、今日私共ハ先ヅ美術其モノ、爲ニモ或ハ美術ノ教育ノ爲ニモ、非常ニ是ハ必要ナモノデアルト思ヒマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、政府ハ此趣旨ニ鑑ミマシテ、一刻モ早ク此帝國美術館ノ建設ニ從事セラレムコトヲ望ムデアリマス、尙ホ提出者ノ意見ト致シマシテハ、多少考ヘテ居リマススケレドモ、是ハ委員會デ申上ゲタイト思ヒマスノデ是丈デ壇ヲ降リタイト思フデアリマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十二、成田鐵道買收ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス提出者鵜澤宇八君

第十二 成田鐵道買收ニ關スル建議案(鵜澤宇八君外一名提出)

成田鐵道買收ニ關スル建議案

成田鐵道買收ニ關スル建議案

國有鐵道總武線佐倉ヨリ成田ヲ經テ千葉縣下佐原ニ至リ及國有鐵道常磐線我孫子ヨリ同縣下成田ニ至ル私設成田鐵道ヲ速ニ買收シテ以テ鐵道國有主義ノ完成ニ資スヘシ

右建議ス

(鵜澤宇八君登壇)

(拍手起ル)

○鵜澤宇八君 唯今議題トナッテ居リマス所ノ成田鐵道ニ關スル買收案ノ其趣旨ヲ簡單ニ一言申上ゲマス、成田鐵道ハ國有線ノ常磐線我孫子驛カラ成田ヲ經マシテ佐原ニ至リマス、又一方成田ヨリ總武線佐倉驛ニ至リマス所ノ四十五哩ノ成田ヲ中心トシマス所ノ私設鐵道ヲ御坐イマス、御承知ノ通り成田ニハ名刹新勝寺ニ不動明王ガ安置シアリマスガ爲ニ、全國ノ善男善女ノ歸依頗ル厚クアリマシテ、日々參詣

ヲ致シマスル者ガ少クモ三千人、多イ時ニハ殆ド二万人ニモ上ルノ御坐イマス、デ此澤山ノ乗降ヲ致シマスル所ノ成田鐵道ハ、讀岐ノ琴平神社ト共ニ東西ノ大關ト併稱サレルデアリマス、千葉縣ニハ元ト二ツ私設鐵道ガ御坐イマシタ、曰ク總武線、曰ク房總線曰ク成田線是デ御坐イマス、政府ハ明治三十九年ニ鐵道國有案ヲ議會ニ提出サレマシタ時分ニ於キマシテ、此三ツノ鐵道ハ共ニ買收案トシテ出タノ御坐イマス、併ナガラ當時ノ貴族院ノ穩健ナル說ハ、此澤山ノ鐵道ヲ一時ニ買收致シマスルコトハ、公債ノ汎濫ヲ虞レマシテ、財界ノ變調ヲ來スコトヲ大ニ懸念サレタノ御坐イマス、氣遣ヒサレタノ御坐イマスデ政府ハワレ等ノ意見ニ基キマシテ、此三ツノ鐵道ノ中總武線房總線ノ二ツハ買收致シマシタノ御坐イマススケレドモ、成田線ハ獨リ殘サレマシテ、私設ニ委サレテアッタノデアリマス、諸君、併ナガラ此成田鐵道ハ國有線ト國有線ト中間ニ介シテ居リマスル所ノ鐵道デ御坐イマス故ニ、房總半島ノ鐵道網ノ胴腹ヲ爲シテ居ルモノデアリマスカラ、自然此總武線及房總線トノ需要ニ係リマスル所ノ石炭、枕木等ノ遠ク東北地方ヨリ來ル所ノモノ、又房總沿岸九十九里ノ濱銚子近海ニ於キマシテ、漁獲ヲ致シマスル所ノ鮮魚、魚肥等ノ東北ニ送リマスル所ノモノハ、勢ヒ此成田線ヲ經由スルノ御坐イマス、而シテ千葉縣下ニ於キマシテ、唯一ノ米產地トシテ居リマスル所ノ佐原米、香取米、佐原地方ニ於キマシテ釀造致シマス醬油ヲ味淋、其他茨城縣ノ行方郡、稻敷郡、鹿島郡等ノ米穀ヤ其他產物ハ、霞ヶ浦若クハ利根川等ノ水運ニ依リマシテ多ク佐原ニ出マスノ御坐イマス、更ニ此成田線ニ依リマシテ、或ハ常磐線ニ移リ、或ハ總武線ニ依リマシテ中央ニ出ルト云フヤウナコトデアリマス、產業發展上カラ考ヘマシテモ、物價調節上ヨリ論ジマシテモ、此運輸ノ敏活ヲ圖リマスト云フコトノ最モ緊要ナコトデアリマス、今日其私設ト國有トノ錯綜シテ居リマスコトハ、其連絡上缺クル所ガ甚ダ多イノ遺憾トスル所デアリマス、是等ノ意味ニ於キマシテ——是等ノ見地ニ於キマシテ、明治四十二年十二月ニ於キマシテ、千葉縣ノ縣會ハ滿場一致ノ決議ヲ以テマシテ、成田鐵道ヲ政府ニ買收セラレムコトヲ、時ノ平田內務大臣ニ建議シタコトガ御坐イマス、況ヤ千葉縣ニ於キマシテハ、各種ノ兵營ガ御坐イマス、數万ノ兵員ガ常ニ駐劄シテ居ルノ御坐イマス、一朝有事ノ日ニ於キマシテハ、是等ノ動員ガ急ヲ要スルコトノ最モ切ナルヲ感ズルデアリマス、政府ハ鐵道國有ト同一ノ主義ニ於キマシテ、速ニ成田鐵道ヲ買收シテ、輸送機關ノ徹底的ニ完全ヲ期セラレムコトヲ切ニ私ハ希望スルデアリマス、希クハ諸君ノ御同意アラムコトヲ希望スルデアリマス

○岩崎勳君 本案ハ廣瀨鎮之君外二名提出ノ中越鐵道買收ニ關スル建議案ノ委員ニ、併セテ付託セラレムコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト聲起ル)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ岩崎君動議ノ如ク決シマシタ、日程第十二、金名鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者戸水寛八君(拍手起ル)

第十三 金名鐵道敷設ニ關スル建議案(中橋德五郎君外五名提出)

金名鐵道敷設ニ關スル建議案

金名鐵道敷設ニ關スル建議案

金名鐵道敷設ニ關スル建議

南日本北日本トヲ連絡セシムルニハ名古屋ヨリ飛騨國高山、落合及富山縣兩礦波郡ヲ經テ金澤ニ至ル鐵道ノ敷設ヲ必要ト認ム故ニ政府ハ速ニ之ヲ實行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔法學博士戸水寬人君登壇〕

○法學博士戸水寬人君 金名鐵道敷設ニ關スル建議案、之ニ付説明ヲ申上ゲマス、茲ニ所謂金名鐵道ト云フハ、名古屋ト金澤トノ間ノ鐵道ヲ御坐イマス、建議案ノ内容ヲ申シマス、名古屋カラ岐阜縣ノ太田、飛騨ノ高山、落合、ツレカラ越中ノ兩礦波郡ヲ經テ金澤迄鐵道ヲ敷設シタラ宜カラウト云フ案ヲ御坐イマシテ、名古屋カラ落合迄ハ既ニ鐵道ガ敷設スルコトニ定ツテ居ルノアル、落合カラ北ニ方テ富山ガ御坐イマスガ、此富山町迄鐵道ヲ敷設スルコトニナツテ居ルノ御坐イマス、唯今ノ建議案ハ其落合カラ、更ニ分岐致シマシテ越中ノ福野又ハ福光ト云フヤウナ場所ヲ通ジテ、金澤迄鐵道ヲ拵ヘタラ宜シカラウト云フノ御坐イマス、此鐵道ヲ敷設致シマスルト、南日本北日本ノ間ニ在ル所ノ金澤、高岡ノ如キ市街地、及ビ伏木港七尾灣ノ如キ處ト連絡スルノ御坐イマシテ、商業上及軍事上非常ニ便宜ト考ヘマシテ、此建議案ヲ提出シタ次第御坐イマス、ドウゾ滿場諸君ノ御同意ヲ得タイト思ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御動議ナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ 日程第十四、松本鐵道建設ニ關スル建議案、提出者高島順作君

第十四 松本鐵道建設ニ關スル建議案(高島順作君外八名提出)

松本鐵道建設ニ關スル建議案

北陸線新潟縣下糸魚川ヨリ中央線長野縣下松本ニ至ル鐵道ハ、中央北陸兩線連絡ノ捷路線ナリ故ニ本線ヲ敷設セハ軍事上ハ勿論經濟上ニ於テモ海陸物產ノ運送トシテ最有利有益ナルヘキハ疑ヲ容レズ而シテ其ノ沿道一帶ニ亙リ無限ノ大森林ヲ有シ有名ナル日本「アルプス」ヲ包容シ且小谷溫泉ヲ始メ數箇所ニ溫泉場ヲ有シ常ニ浴客ノ頻繁ナルモノアリ殊ニ蓮華嶺山、小龍炭山等ニ於テ著大ノ礦物ヲ開發シ生産事業ノ發展ニ資スルハ目下ノ急務ナリ依テ政府ハ速ニ該鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ以テ沿道地方無限ノ富源ヲ開發シ國家經濟ノ發達ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔高島順作君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高島順作君 諸君、本員ハ提出者トシテ松本鐵道建設ニ關スル建議案ニ付テ説明ヲ致シ、御贊成ヲ得タイト思フノ御坐イマス、本案ハ各派ノ御贊成ヲ得テ提出シ

タ案ヲ御坐イマスカラ、極メテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、本線ハ新潟縣糸魚川町ヨリ長野縣松本市ニ通ズル線路デアリマス、總哩數ヲ申上ゲマスレバ六十三哩九分アルノ御坐イマスルガ、大町間二十哩八分ハ既ニ私設鐵道會社ニ於テ敷設シマシテ、今日營業致シテ居ルノ御坐イマス、殘ル處ハ四十三哩一分、是レサヘ付ケレバ此鐵道ハ中央北陸兩線ニ連絡スルノデアリマス、而シテ本線ハ軍事上極メテ必要ナルモノデアリコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、又此通過地點ニ蓮華嶺山、小龍炭山、其他礦物ガ澤山有ルノ御坐イマス、又信越兩國ニ跨ル日本「アルプス」ノ小谷山林ニハ無限ノ大森林ガ有ルノ御坐イマシテ、之ヲ開發シテ殖産興業ノ發展ニ資スルニハ、國家トシテモ此鐵道ガ必要アルト信ズルノデアリマス、更ニ本線ヲ敷設シナケレバナラヌト云フ理由ヲ、一言御參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、御承知ノ通り信越線デアリマスガ、信越線ハ帝國重要ナル幹線デアリマス、即チ帝國ノ首都ヨリ北陸道ニ通ズル唯一ノ機關デアリマス、故ニ乘客、貨物ハ常ニ充滿シテ居リマスルガ、是ガ確水或ハ直江津、長野間ノ爲ニ輸送ガ非常ニ幅濶シテ居ルノデアリマス、此機關ノ不足ヲ補フ爲ニ、本鐵道ヲ補助線トシテ付ケナケレバナラヌト云フ一ノ理由デアリマス、故ニ本線ヲ裏日本ヨリ表日本ニ通ズル鐵道、中間中央線橫斷線ノ一部トシテ敷設シナケレバナラヌト云フデアリマス、幸ニ本鐵道ガ出來マスレバ、其距離ニ於テ糸魚川松本間百一十一哩ニ對シ、約五十哩ヲ減縮スル同時ニ、地方産業ノ發展ヲ促進シ、無限ノ富源ヲ開發シ、交通運輸ノ利便ヲ増加シ、一面信越線ノ代用トモナルデアリマシテ、寔ニ一舉兩得ノ線路ト信ジテ居リマス、政府ニ於キマシテハ本鐵道ノ計畫ヲ立アラレマシテ、速ニ工事ニ著手セラレムコトヲ望ム、本案ハ二十六議會以來屢々本議會ニ現ハレテ、何時モ御同情ニ依リ可決シテ居ル案デアリマス、本建議案ハ慎重審議ノ上何卒御贊成下サレテ、速ニ可決アラムコトヲ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ御動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ 日程第十五、市町村ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案、提出者前川虎造君

第十五 市町村ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案(前川虎造君外一名提出)

市町村ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案

市町村ニ煙草元賣捌事務委任ニ關スル建議案

政府專賣事業中煙草元賣捌ニ關スル事務ハ市町村ニ委任シテ之ヲ處理セシメ其ノ費用トシテ從來ノ例ニ依リ取扱代金ノ百分ノ三乃至百分ノ五ヲ交付スルコトヲ爲シ本年六月煙草元賣捌人指定更新期ヨリ之ヲ實行スヘシ

右建議ス

〔前川虎造君登壇〕

〔拍手起ル〕

○前川虎造君 本案ハ曩ニ奏豊助君外十名ノ諸君ヨリ提出サレタル案ト、同一ノ内容ヲ有シテ居ルノデアリマス、故ニ私ハ別段此席ニハ説明ノ必要ガナイト思フノデアリマスガ、唯、一箇條奏君等ノ御提出ニナッタ案ニハ、市町村其他公共團體トアルノデアリマス、私共ノ提出シタノニハ公共團體ガ無いノデアリマス、併ナガラ是ハ法律案デアリマセヌガ故ニ、若シ同一ノ委員ニテモ付託サレマシタ場合ニハ、十分一致點ヲ見出シテ、唯、政府ニ相當ノ案ヲ具シテ、速ニ斯ウツ方法ニ致シテ貫ヒタイト云フ事ハ、一致出來ルコト、深ク信ジテ居リマス、故ニドウカ奏君ノ案、及ヒ私共ノ提出シタ案ト共ニ、諸君ノ御採擇アラシコトヲ希望シテ置キマス

〔拍手起ル〕

○岩崎勲君 本案ハ曩ニ委員付託トナツタ奏豊助君外十名提出、市町村其他公共團體ニ煙草元賣捌事務委員ニ關スル建議案ト同一委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、即チ本案ハ、日程第十付託シタル委員ニ併セテ付託スル事ニ決シマシタ、日程第十六、名古屋太田間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長三輪市太郎君

第十六

名古屋太田間鐵道速成ニ關スル建議案 (委員長報告)

〔三輪市太郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○三輪市太郎君 本案ハ諸君御承知ノ通り、建議案ノ説明ヲ致シタ當時ニモ、政府ヨリ必要ノ無イカノ如キ答辯ヲサレマシタ、其問題デ御坐イマスルカラシテ、實ハ諸君ノ御迷惑ト思フテ餘リ多ク述ベトウモナイト思ヒマスルガ、如何ニモ是ガドウモ御土産案ノ如ク誤解サレノハ甚ダ遺憾ト思ヒマスカラシテ、少シク御清聴ヲ願マス、本案ノ委員會ニ於ケル経過並結果ノ大要ヲ申シマス、先ツ質問應答ノ要旨ハ、此線路ニ付テハ陸海軍ノ意見ヲ確メラレタルモノデアリカト云フ、政府委員ニ對シテノ問ヲ發シタノデアリマス、之ニ對シテ政府委員ハ曰ク、飛驒ノ縱貫線ヲ審議スル場合ニ、陸軍ヨリモ出席致シテ居ラレテ、別段岐阜ノ起點差支ナイ如クデ、此本線ニ何等ノ意見ヲ言ハレナカッタカラシテ、此線路ハ必要デナイモノト思フト云フガ如キ答辯デ御坐イマシタ、ソレカラ急行列車ハ、飛驒縱貫線ガ貫通シタ曉ニハ、岐阜ヲ起點トスル上ニ於テハ岐阜ニモ此東海道線ノ急行列車ニ接續シ得ルヤ否ヤト云フノ問ヲ發シタノ御坐イマス、然ルニ此點ニ於テハ一向調ガ出來テ居ナイト云フノ御答辯、ソレカラ飛驒縱貫、延イテハ富山ニ達スル此工事費ナルモノガ約二千萬圓以上ニモ上ルノデアリガ、名古屋ヲ起點トシテ之ニ太田マデノ接續線、僅カ二十數哩ヲ敷設ヲ致シマシタラバ、此材料費ノ上ニ於テモ、運搬費ヲ減少スル事ハ莫大ナル如ク思フガ、政府ハ之ニ對シテハ如何ナル考

デアルカ、此間ニ對シテモ餘リ大差ハナイ積リデアリガト云フカ如クデ、是又十分ナル調査ガ行届イテ居ラスノ御坐イマス、其他質問モアリマシタガ、餘リ多クハ述べマセヌ、ウコデ討論ニ入りマシテ、此線路ハ本會議ニ於テ可決スベキモノト云フノ意見ノ趣旨ト致シマシテハ、元來此飛驒縱貫線ナルモノハ、諸君御承知ノ如ク、先年決議ニナッテ居ル所ノ即チ豫定線デアリ、政府ハ唯、豫定線ニ重キヲ置イタルノミデ、名古屋ヲ起點トシテ太田マデノ接續線ト云フ事ニハ、一向調ガ行届イテ居ラスノデアリ、加之飛驒縱貫線ナルモノハ、東海道線ト北陸線ト何レニモ連絡ハ出來得ルト雖モ、是ハ同時ニ日本海ト太平洋トノ連絡ト云フモノハ、全ク哩ノ上ニ於テ二十數哩ノ延長ニナルノミナラズ、迂迴シテ行クデアラツテ、茲ニ名古屋ヲ起點トシテ太田ニ達スルト致シタラバ、名古屋港ヨリシテ日本海ハ一直線ニ達スルノデアリマシテ、而モ此飛驒縱貫線、即チ岐阜ヲ起點トスル所ノ線路ヨリハ、哩ノ上ニ於テ二十數哩ヲ減ズルノ御坐イマシテ、即チ二十數哩ノ此線路ヲ敷設スル爲ニ、一方ニ於テハ二十數哩ヲ減ズルト云フ事ニナルノデアリ、加之工事費ノ上ニ於テドウデアリカト云ヘバ、誠ニ此太田ヨリ名古屋ニ達スルマデノ間ハ本會川ノ上流アリト雖モ、此幅員ニ僅ニ百間内外デアリマシテ、而モ木曾ハ岩石ノ上ニ橋脚ヲ設ケレバ一向ニ工費ハ要シナイ、其以南ニハ僅ニ隧道ガ一箇所アルノミデ、ソレヨリ名古屋ニ達スル間ト云フモノハ平坦ノ地デアツテ、工事ノ難易ト云フモノハ恐ラク全國中ニ於テ斯ル樂ナ工事ハ無いノ御坐イマス、然ルニ政府ニ於テキマシテハ此不調査ノ明カニ認ムベキ理由ト致シマシテハ、名古屋ニ達スル場合ニ高架線ヲ設ケナケレバイカマイトカ、或ハ本會川ナルモノハ大河川ノ如ク、如何ニモ未流ニ於テハ大河川デアリ、其邊ノ實地ハ餘リ御承知ナイカノ如クデアリ、是ニ於テ委員ノ意見ト致シマシテハ、政府ガ如何ニモ必要ナリト自ラ認メレバ自ラ提案スルノデアリ、政府トシテハ全ク必要ノアリヤ否ヤニ立入ラズニ、苟モ本會ニ於テ屢、建議ガ通過ヲ致シテ居ル此本問題ヲ蔑視致シテ、一向十分ナル調査ヲシナカッタト云フ事ハ、是ハ亦明カナル事實デアリ、仍テ委員會ニ於テキマシテハ政府ガ如何ナル意見ヲ唱ヘラルト雖モ、軍事上ニ於テハ名古屋ニ三師團アリ、同シク愛知縣ニハ十五師團アリ、而シテ築港ハ名古屋港アリ、四日市港アリ、又終點ノ富山若クハ先刻戸水寬人君ガ茲ニ説明サレタル所ノ、即チ金名線モ之ニ連絡スルノデアラツテ、是亦金澤ノ九師團アリ、及ヒ沿道ノ此飛驒ノ山中、即チ帝室林野管理局ノ此材木等ハ何レモ名古屋ニ集散スルノデアリ、加之沿道ニ於テ今後鑛區ノ採掘セラル、モノアリト雖モ、又今日迄ノ取引ト雖モ、總テ名古屋ニ集散スルト云フ事ハ明カナ問題デアリ、然ルニ政府ガ之ニ反對ノ意ヲ表明サレタト云フノハ、本意ハ或ハ其所ニ無イノデアラウ、政府ガ斯ル態度ニ出デタノハ、或議員ガ此案ヲ贊成スル意思デアッタノカ、或ハ巧妙ニ破壞ニ出デタノカ、本案ニ關係無キ問題ニ迄立入ッテ逆ベタカラ、其挑戰ニ應ジテ斯ノ如キ態度ニ出デタノデアラウト思フ、何レニ致シマシテモ政府ノ答辯ニ重キヲ置クノ必要ハ無い、ドウシモ是ハ政府ヲシテ反省ヲ爲サシメナケレバナラス、而モ此線路ハ飛驒縱貫線ヲ敷設スル前ニ、矢張此飛驒縱貫線ニ要スル所ノ材料ノ運搬ニ便益ナラシメタラバ、此飛驒縱貫線ヲ併セテ富山ニ達スル所ノ此工事金ハ二千万圓ニ上ルノデアリ、此運搬上ニ便利ヲ受ケ、假リ二十分一ノ運搬費ヲ減ズルト云フコトニスルト、茲ニ吾々ハ百二十萬圓乃至百五十萬圓ノ利益ヲ得ルノデアリ、

本線ノ經費ナルモノハ全ク二十數哩アツテ、恐ラク二百五十萬圓位ヲ三百萬圓ハ決シテ超エナイノデアアル、シテ見ルト其一方ノ飛驒縱貫線ニ依テ得ル所ノ、即チ工費ヲ減少スル所ノ金額ヲ約半數程ノ工事が施セルト云フノ結果ニナルノデアアリシテ、何レノ方面ヨリ見ルモ是非急施ヲ要スル問題ト委員會ハ認メテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第御坐イマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス（拍手起ル）

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り、可決セラレムコトヲ希望致シマス

○議長（大岡育造君） 委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ本建議案採用可決スルコトニ決シマシタ（拍手起ル）日程第十七、愛媛縣今治港開港ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、委員長古谷久綱君

第十七 愛媛縣今治港開港ニ關スル建議案（河上（委員長報告））

（古谷久綱君登壇）

（拍手起ル）

○古谷久綱君 本案ノ委員會ハ先ツ提出者ヨリ詳細且ツ熱心ナル説明ヲ聽キマシテ、本建議案提出ハ頗ル有力ナル理由ノアルコトヲ認メマシタ、念ノ爲ニ政府ノ意見ヲ確メマシタ所ガ、政府ノ方デハ、今治ガ年々產出シテ居ル約一千万圓内外ノ綿織物ノ中、相當ノ價格ハ朝鮮支那及南洋ノ方ヘ移出又ハ輸出セラレテ居ルコト云フコトヲ認メテ居ル、故ニ本案ニ政府ハ決シテ反對ハ致サヌ、致サヌガ今治ハ尙ホ港灣不完全デアラルカ、之ヲ修築スル必要モアルシ、又資本其他商取引ノ關係上、直チニ今治ヲ開イテ、此處カラ諸外國ニ此綿織物が直グ輸出セラレ、カドウカト云フ事モ、尙ホ多少攻究ヲシテ見ナケレバナラヌ必要ガアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソコデ委員會ニ於キマシテハ、此建議案ハ定ニ時宜ニ適切デアルト認メマシタ、併ナガラ唯、其文句ノ上ニ於キマシテハ、愛媛縣越智郡今治港ヲ特別輸出港ニ指定セラレムコトヲ望ム」ト書イテアリマスガ、物品ヲ限リ且ツ輸出丈ヲ致シマス所ノ特別輸出港ト云フヨリモ、今日ハ各地ノガ皆悉ク輸出共ニ出來ル開港所ニナツテ居リマスカラ「今治港ヲ開港トシテ指定セラレムコトヲ望ム」ト改メタ方が宜カラウ、斯ク修正スベキモノト決定致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス（拍手起ル）

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り可決セラレムコトヲ希望致シマス

○議長（大岡育造君） 本案ハ委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 御異議ナケレバ本案ハ委員長報告通り可決致シマシタ、日程第十八、新見三次間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長望月圭介君

第十八 新見三次間鐵道建設ニ關スル建議案（湯淺凡平君外一名提出）（委員長報告）

○望月圭介君 極ク簡單ニシテ明瞭ナル案デ御坐イマスカラ、自席ヨリ御報告致シマス

（「登壇々々」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 許可致シマス

○望月圭介君 本案ハ湯淺凡平君ノ提案デアリマシテ、山陰線ト山陽線トノ間ニ於ケル所ノ一線ヲ、廣島縣ノ三次ヨリ岡山縣ノ新見ニ至ル鐵道ノ敷設ヲシタイト云フ案デアリマス、提出者ノ詳シキ説明ヲ聽キ、政府ニ對シテ質問ヲ爲シ、之ニ對スル應答モアリマシタ、委員會ハ古川代議士ノ勸議ニ依テ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、又政府ノ意見トシテハ、陰陽ノ連絡豫定線ニ先ツテ之ヲ造ルト云フ事ニ付テハ、直チニ贊成ヲスルノコトハ出來ナイト云フコトデアッタケレドモ、大正四年ニ測量ヲシタ案トシテ、餘リ索氣ナク反對ハ無カッタデアリマス、附ケテ申シテ置キマスガ、此案ニ先ヅ井上角五郎君ノ紹介ニ依テ、廣島縣神石郡新飯村長岡和藤二、岡山縣新見町長田原藤一郎、是等ノ者ノ請願ヲ首メトシテ、十數件ノ本案同様ノ請願ガ、請願委員會ニ於テ採擇可決ニナツテ居ルデアリマスカラシテ、右御報告ヲ致シマス、併セテ賢明ナル諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告通り可決サレムコトヲ希望致シマス

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（大岡育造君） 御異議ナキヲ以テ、委員長報告ノ通り可決シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十九、山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長白石直治君

第十九 山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案（白石直治君外十八名提出）（委員長報告）

○白石直治君 此報告ハ前ノ報告ヨリモ尙ホ一層簡單デアリマスカラ、自席ヨリ御報告ヲ致シタイト思ヒマス

（「拍手起ル」）

○議長（大岡育造君） 許可致シマス、但高聲ニ願ヒマス

（「早く願ヒマス」ト呼フ者アリ）

○工學博士白石直治君 私ノ出來得ル丈高聲ニヤリマス、此山田琴平間ノ鐵道、即チ四國縱貫線ト稱スルモノデアリマス、此委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、其理由ハ先般鐵道敷設法中改正法律案ヲ議スルノ際、彼ノ案ニ修正ヲ加ヘテ本院ヲ請決ヲ致シマシタ、其修正ノ理由ト全ク同一モノデアリマス、而シテ政府委員ノ出席ヲ請ヒ其意見ヲ求メマシタ、政府委員ノ言明ニハ、四國縱貫線ハ政府ニ於テモ最モ必要ト認メル、而シテ其線路ノ或ル部分ニ付テハ尙ホ鄭重ナル調査ヲ重ネテ、處分ヲスル見込デアルト斯様ニ言明セラレマシタ、右經過結果ノ報告デアリマス、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 委員長ノ報告ニ御異議アリマセカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ、委員長報告通り可決シタル事ヲ宣告致シマス、是ヨリ請願ノ議事ニ移リマス、日程第二十乃至第三十一ハ請願特別報告ナルヲ以テ、例ニ依リ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長代理理事長田桃藏君

第二十 (特別報告第百二十三號)東鄉村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十一 (特別報告第百二十四號)元佐倉區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十二 (特別報告第百二十五號)元松阪區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十三 (特別報告第百二十六號)元水口區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十四 (特別報告第百二十七號)古賀村ヲ長崎區裁判所管内ニ編入ノ請願 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第百二十八號)小牛田石卷間ノ私設輕便鐵道ヲ國有經營ト爲スノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第百二十九號)日立木村ニ停車場設置ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第百三十號)平元鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第百三十一號)羽越海岸線酒田秋田間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第百三十三號)池田川之江間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第百三十四號)七尾輪島間鐵道速成ニ關スル請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第百三十六號)眞岡線鐵道延長ニ關スル請願 (委員長報告)

(長田桃藏君登壇)

○長田桃藏君 板東請願委員長ノ御病氣ハ案外ニ御重態デ、本日モ其職務ヲ執ラハ、コトガ出來マセヌデアリマス、甚ダ遺憾ニ堪ヘマセカ已ムナク微々タル本員ガ代テ報告申上グル事ニ致シマス、日程第二十、特別報告第百二十三號、東鄉村ニ登記所設置ノ請願、宮崎縣東臼杵郡東鄉村長新名馬治外十八名呈出、紹介議員長峰與一君、日程第二十一、特別報告第百二十四號、元佐倉區裁判所復舊ノ請願、千葉縣印旛郡佐倉町內鑄木町五十一番平民公吏岩淵惣太郎外十四名呈出、紹介議員吉植庄一郎君、日程第二十二、特別報告第百二十五號、元松阪區

裁判所復舊ノ請願、三重縣飯南郡松阪町長大村福五郎外二十二名呈出、紹介議員佃安之丞君外一名、日程第二十三、特別報告第百二十六號、元水口區裁判所復舊ノ請願、滋賀縣甲賀郡水口町長西田繁造外二十四名呈出、紹介議員望月長夫君、日程第二十四、特別報告第百二十七號、古賀村ヲ長崎區裁判所管内ニ編入ノ請願、長崎縣北高來郡古賀村長田口八十治呈出、紹介議員則元由庸君、日程第二十五、特別報告第百二十八號、小牛田石卷間ノ私設輕便鐵道ヲ國有經營ト爲スノ請願、宮城縣仙臺商業會議所會頭八木久兵衛呈出、紹介議員岩崎總十郎君外六名、日程第二十六、特別報告第百二十九號、日立木村ニ停車場設置ノ請願、福島縣日立木村長伏見忠外二名呈出、紹介議員高岡唯一郎君、日程第二十七、特別報告第百三十號、平元鐵道速成ノ請願、元山商業會議所會頭龜谷愛介外二名呈出、紹介議員神谷卓男君、日程第二十八、特別報告第百三十一號、羽越海岸線酒田秋田間鐵道速成ノ請願、酒田商業會議所副會頭村田與治兵衛外一名呈出、紹介議員田中隆三君、日程第二十九、特別報告第百三十三號、池田川之江間鐵道敷設ノ請願、愛媛縣宇摩郡川之江町一千五百九十一番地ノ一平民公吏一柳藤市外六十九名呈出、紹介議員古谷久綱君外四名、日程第三十、特別報告第百三十四號、七尾輪島間鐵道速成ニ關スル請願、石川縣金澤市長町四番町十九番地土族石川縣會議長辯護士西永公平呈出、紹介議員中橋德五郎君外五名、日程第三十一、特別報告第百三十六號、眞岡線鐵道延長ニ關スル請願、栃木縣芳賀郡茂木町大字神井三十八番地平民農町會議員大越勘之助外五十名呈出、紹介議員橫田千之助君外一名、以上十二件ガ議題ニテテ居ルデアリマス、此十二件ハ各、請願委員會ニ於テ慎重ニ審議ヲ致シ、各、理由アルモノト認メテ、之ヲ採擇スルコトニ決シマス、其件ノ請願ノ内容及採擇ノ理由ハ、請願文書表及委員會會議錄ニ就テ御承知ヲ願フコトニシテ此所ニ説明スルコトヲ略シマス

特別報告第百二十三號

意見書

請願文書表第七八號

東鄉村ニ登記所設置ノ請願 宮崎縣東臼杵郡東鄉村長新名馬治外十八名呈出(紹介議員長峰與一君)

右請願ノ要旨ハ宮崎縣東臼杵郡東鄉村ハ郡ノ南部山間ニ介在セル僻地ニシテ多數ノ部落ヨリ成リ地域廣瀾ニシテ東西十里南北七里餘面積十二方里人口六七百餘有スルモ所轄登記所距離コト遠キハ八十里ニ達シ通例一事件ニ三日ヲ要シ書類等ニ不備アラムカ四五日ヲ徒費スルコト敢テ稱ナラス而モ同村ニ於ケル既往三箇年平均登記取扱件數ハ千七百七十三件此ノ登録稅千二百二十圓ヲ算スルヲ以テ東鄉村ニ登記所ヲ設立スルモ之ヲ維持シ何等ノ支障ナキノミナラス願意採擇ノ場合ニハ數地建物等ヲ提供スヘキヲ以テ前記東鄉村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十四號

意見書

請願文書表第七十一號

元佐倉區裁判所復舊ノ請願 千葉縣印旛郡佐倉町內鑄木町五十一番地平民公吏岩淵惣太郎外十四名呈出(紹介議員吉植庄一郎君)

轄千葉區裁判所ニ至ルニハ七里乃至十一里ノ距離アルノミナラス印旛沼ニ横斷セラレ交通ノ不便甚シ且該區裁判所ノ取扱件數ハ他ノ區裁判所ニ比スルニ遙ニ多ク爲ニ郡民ノ不利不便大ナリ依テ元佐倉區裁判所ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百二十五號

意見書

請願文書表第七六號
元松阪區裁判所復舊ノ請願 三重縣飯南郡松阪町長大村福五郎外二十二名呈出(紹介議員仙安之丞君外一名)
右請願ノ要旨ハ三重縣下元松阪區裁判所ハ往年行政整理ノ際廢止セラレ其ノ舊管轄地ハ安濃津區裁判所ノ管轄ニ移サレタルモ由來松阪町ハ三重縣下六太市街ノ一ニ屬シ南勢ニ於ケル樞要ノ地ニシテ縣下區裁判所中事件ノ多數ヲ占ム然ルニ客年其ノ實狀ヲ同ウスル大垣區裁判所ヲ始メ復舊セラレタルモノニ對シテ元松阪區裁判所ノ其ノ選ニ漏レタルハ舊管轄民ノ甚タ遺憾トスル所ナリ依テ速ニ同區裁判所ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百二十六號

意見書

請願文書表第八四號
元水口區裁判所復舊ノ請願 滋賀縣甲賀郡水口町長西田繁造外二十四名呈出(紹介議員望月長元君)
右請願ノ要旨ハ滋賀縣下元水口區裁判所ハ大正二年行政整理ノ際廢止セラレ大津區裁判所ノ管轄ニ移サレタル然レトモ元水口區裁判所ノ管轄地タリシ甲賀郡ハ縣ノ東南ニ偏在シ其ノ一端ハ三重縣及奈良縣ニ接シ東西十里南北七里餘ニシテ山嶽重疊ノ間ニ人家介在セルヲ以テ外部ト交通甚タ不便ナリ依テ地勢上之ニ隣接シ且近江鐵道(水口驛)ニ依リ交通ノ便アル蒲生郡ノ東部ヲ其ノ管轄區域ニ編入シテ元水口區裁判所ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百二十七號

意見書

請願文書表第五二三號
古賀村ヲ長崎區裁判所管内ニ編入ノ請願 長崎縣北高來郡古賀村長田口八十治呈出(紹介議員則元由庸君)
右請願ノ要旨ハ長崎縣北高來郡古賀村ハ現今其ノ登記事務ニ關シテハ大村區裁判所田結出張所ノ管轄ニ屬スルモ其ノ不便甚シキヲ以テ前記古賀村ヲ長崎區裁判所ノ管轄ニ移サレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百二十八號

意見書

請願文書表第六七五號
小田石卷間ノ私設輕便鐵道ヲ國有經營ト爲スノ請願 宮城縣仙臺商業會議所會頭八木久兵衛呈出(紹介議員若崎總一郎君外六名)
右請願ノ要旨ハ宮城縣下小田石卷間ニ通スル私設輕便鐵道ヲ買收シ大正七年度ヨリ國有經營ニ改メラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百二十九號

意見書

請願文書表第七五七號
日立木村ニ停車場設置ノ請願 福島縣相馬郡日立木村長伏見忠外二名呈出(紹介議員高岡唯一郎君)
右請願ノ要旨ハ福島縣相馬郡內常盤線中村驛鹿島驛間ハ七哩八分ノ長距離ヲ有シ其ノ間ニ介在セル日立木村ハ産業ノ發展著シキノミナラス附近村落貨物集散ノ中心地タリ然ルニ旅客物資ノ交通運輸上停車場ヲ有セサルハ遺憾トスル所ナリ依テ前記中村驛鹿島驛間日立木村地内ニ停車場ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百十號

意見書

請願文書表第七八二號
平元鐵道速成ノ請願 元山商業會議所會頭龜谷愛介外二名呈出(紹介議員神谷卓男君)
右請願ノ要旨ハ我カ大陸經營上中部日本ト清洲ト間ニ最捷徑路ヲ得ルニハ日本海橫斷鐵路ノ開始ト共ニ平元鐵道ノ敷設ヨリ急ナルハナシ而シテ平元線百四十哩ハ滿洲元山方面ノ連絡上之ヲ龍山迂回ノ線ニ比スレハ實ニ百六十五哩一ヲ短縮シ得ルノミナラス産業開發上及商取引上ハ固ヨリ朝鮮半島一般人文啓發ノ點ヨリ見ルモ頗ル緊要ナル線路ニ屬ス而モ本線ノ敷設ハ既ニ多年ノ懸案ニシテ衆議院ハ既ニ之ニ關スル請願ヲ採擇セラレタリ依テ速ニ平元鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百十一號

意見書

請願文書表第八〇八號
羽越海岸線酒田秋田間鐵道速成ノ請願 酒田商業會議所副會頭田與治兵衛外一名呈出(紹介議員田中隆三君外七名)
右請願ノ要旨ハ羽越海岸線鐵道ハ北陸及關西地方ト連絡シ日本海沿岸太平洋ト交通シ北海道樺太方面ニ近接セシムル重要機關ニシテ軍事上交通上ハ勿論日本海一帯海陸ノ富源ハ之ニ依テ開拓セラレヘシ就中秋田酒田間ハ古來商工業ノ取引及運輸交通上特殊ノ關係ヲ有シ近時産業ノ發達著シキノミナラス陸羽線ノ開通ハ益該區間鐵道ノ急設ヲ要スヘキヲ以テ假令御物川鐵橋架設工事等ノ困難アリトスルモ工事ノ完成ハ尙數年ニ及ルノ狀勢ニ在ルハ國家經濟上不利尠カラズ依テ羽越海岸線工事ノ豫定期限ヲ短縮シ酒田秋田間鐵道ヲ速成セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百十三號

意見書

請願文書表第八三四號
池田川之江間鐵道敷設ノ請願 愛媛縣宇摩郡川之江町一千五百九十一番地ノ一平民公吏一柳藤市外六十九名呈出(紹介議員古谷久綱君外四名)
右請願ノ要旨ハ愛媛縣宇摩郡ハ讚阿土ノ三國ニ境ヲ接シ四國中央部ニ於ケル交通運輸ノ連鎖タル地ニシテ諸般ノ商取引頻繁ナルニ拘ラス交通機關鐵道ノ便ナキヲ以テ遺憾尠カラズ該地方民ハ德島縣下池田愛媛縣下川之江間鐵道ノ敷設ヲ要望スルヤ久シ若本線完成ノ曉ハ四國全體ノ交通ヲ盛ナラシムルハ勿論中國ト通商ニ於テモ至大ノ效果ヲ實現シ延テハ德島縣ノ收入ヲ増加セシムヘシ依テ速ニ池田川之江間鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三百十四號

意見書

請願文書表第七二二號
七尾輪島間鐵道速成ノ請願 石川縣金澤市長町四番町十九番地土族石川縣會議長辯護士西元公平呈出(紹介議員中橋德五郎君外五名)
右請願ノ要旨ハ石川縣七尾町ヨリ輪島町ニ至ル沿岸地方タル能登中島ハ水林產豐富ニシテ礦產亦尠カラス殊ニ輪島町ハ漆器ノ產出ヲ以テ開元年額百五十萬圓ニ達スルノ盛況ナルモ交通機關ノ設備ヲ缺

キ海路亦概ニ其ノ便ヲ得サルカ爲地方産業ノ開發上遺憾甚シ依テ速ニ七尾輪島間鐵道ヲ敷設セラレ
タシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

特別報告第三百三十六號

意見書

請願文書表第八二八號

眞岡線鐵道延長ニ關スル請願 栃木縣芳賀郡茂木町大字神井三十八番地平民農町會議員大越勘
之助外五十名呈出(紹介議員横田千之助君外一名)
右請願ノ要旨ハ栃木縣芳賀郡ノ東北部タル茂木町地方ハ人家稠密ニシテ天與ノ物資亦豐富ナルモ交
通不便ナル爲之ヲ開發スル能ハス之ヲ該地方民ノ遺憾トスル所ナリ依テ曩ニ漸ク七井村ニ延長セラ
レタル眞岡線ヲ更ニ鳥山ニ連絡セシムトスル場合ニハ前記茂木町ヲ經由セシメラレタシト謂フニ
在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及御送付候也

○議長(大岡育造君) 唯今ノ請願委員長長ノ報告ニ對シテ反對ノ通告ガ最後ノ第三
十一ニアリマス、依テ此三十一ヲ後ト廻シニシテ、三十マデノ決ヲ採リマス、請願委員
長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、依テ三十マデハ——二十ヨリ二十
迄ハ總テ委員長報告ノ通りニ決シマス、第三十一ニ對スル反對ノ通告、高田 耘平君
ノ登壇ヲ促シマス

〔高田 耘平君登壇〕

○高田 耘平君 本員ハ日程第三十一、眞岡線鐵道延長ニ關スル請願ニ反對ノ意
見ヲ持テ居ルモノデアリマス、此前ハ委員長ノ御意見ニ私ハ贊成致シタノデアリマスガ、
今度ハ已ムヲ得ズ反對デアリマス、反對ノ理由ヲ申上ゲマスレバ、此請願ノ要旨ハ詰リ
眞岡線ヲ七井驛マデ出來テ居ル、其七井ヨリ鳥山マデ延長スルト云フモノヲ、東ニ廻ッ
テ茂木ナル市街ニ迂迴シテ貫ヒタイト云フノガ請願ノ趣旨デアリマス、是ガ貴族院ニ於テ
ハ既ニ本會議ニ於テ採擇ニ決シテ居リマス、衆議院ニ於テキマシテモ、委員會ニ於テ採擇
ニ決セラレテアリマスケレドモ、私ハ甚ダ遺憾ナガラ之ニ反對ノ意見ヲ持テ居ル其理由
ハ、第一ニ申上ゲルコトハ、貴族院ニ於テモ衆議院ニ於テモ、誤ラレタル説明ノ下ニ本
案ガ採擇サレテアルト云フコトデアリマス(「ノウウ」)「ヒヤ」ト呼フ者アリ)今衆議
院ニ於ケル此問題ノ紹介議員渡邊君ガ、委員會ニ於テ陳述シタル中ニ、斯ウ云フ事ガ
書イテアリマス(「此茂木町ハ人口ニ於テ四万、戸數ニ於テ五千ヲ有シテ居ル町デアリマ
ス」斯ウ云フコトガ立派ニ御明言ニナッテ居ル、所ガ此茂木町ハ唯今私ガ正確ニ栃木
縣廳ニ就テ調べタ所ニ依リマス、戸數ハ千三百二十六戸、人口ハ八千六百七十八人
御坐イマス、(五分ノ一)ト呼フ者アリ)殆ド五分ノ一デ御坐イマス、斯ウ云フコトヲ御
説明ニナッテ、成程栃木縣ニ於テハ四万以上ノ人口ハ宇都宮ガ略、五万ニ近イ丈デア
リマス、外ニハ四万ナド、云フ人口ハ御坐イマセヌ、過日問題ニナリマシタ足利町ハ大
分盛大デ御坐イマスケレドモ、是亦今猶ホ三二万ニ達シマセヌ、狀況デ御坐イマシテ、茂
木ガ人口ガ四万ト云フコトハ是ハ或ハ速記者ノ誤デモアルカトモ思ハレマスケレドモ、免ニ
角明白ニ速記録ニ斯様ナ事ガ記載サレテアリマシテ、甚ダ誤レル説明ノ下ニ御審議ニ

(二九)

ナッテ、御採擇ニナッタモノト思フノデアリマス(「ノウウ」)「違」ト呼フ者アリ)尙ホ貴族
院ニ於テドウアルカ、貴族院ニ於テ男爵島津久賢君ノ御説明ニ依リト、今ノ政府デ
御決定ニナッタ線路ノ側ノ人口ガ四千、大變ナ相違アル、斯ウ云フコトガ書イタル、
詰リ茂木町丈デ——衆議院ノ方ハ茂木町丈デ實際ニ於テ八千シカ無イモノヲ四万ア
ルト云フ事ガ御説明ニナッテ居ル、ソレト反對ニ政府ノ豫定線ノ方ハ、人口ガ僅カ四千
許リシカ無イト云フ事ガ説明シタル、ドウモ是ハ男爵島津久賢君ナル人ハ、栃木縣ノ
内情ヲ知ル人デハ御坐イマセヌカラ、或ハ請願書等ニ左様ナ事ガ書イタルノデモアルカ
ト思ヒマスレドモ、若シ左様ナ事ガ書イタルバ甚ダ不都合ナ事ガ書イタルマス、尤
モ渡邊君ハ、栃木縣ノ方デ御坐イマスケラ、御間違ニナル譯ハ御坐イマセヌケレドモ、要
スルニ渡邊君ノ御説明ニナッタ事ヲ判斷スルノニ、此請願線ニ依リ四箇町村許リアリマ
ス、此四箇町村許リノ戸數ガ五千デ、人口ガ四万ト云フ意味ト私ハ推定致シマス、所
ガソレモマダ誤ッデ居リマシテ、唯今私ノ調べタル所デハ僅カ計畫線全部ノ町村ヲ合
算致シマシテモ二万五千餘人デ御坐イマス、斯ウ云フヤウナ兩院トモ最モ鐵道經營上
必要ナル、詰リ利益ヲ受ケル人口戸數等ノ上ニ於キマシテ、誤ラレタル説明ノ基礎ニ
依ッテ判斷サレマシタ採擇アルト云フコトハ明カナ事實デ御坐イマス、此事ヲ前ニ辯明
致シテ置キマス、次ニ此鐵道ヲ經營スル本義カラ致シマシテ、果シテ此請願線ガ豫定線ト
比較シテ、鐵道經營上採ル事ノ出來ルモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ、研究スル必要ガ
アラウト思ヒマス、唯今長田君ノ御説明ニ依テ慎重御審議ナサレタモノデ御坐イマス
カラ、御間違ハ無カラウト思ヒマスレドモ、一應彼ノ地方ニ最モ近キ關係ノアル私ト
シテ申上ゲテ置ク必要ガ御坐イマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)「マダサウハ參リマセヌ」(「簡
單々々」ト呼フ者アリ)成ルベク簡單ニシマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)第一距離ノ點
デ御坐イマス、請願線ト豫定線ト比較シテ距離ガ何レガ近イカ、豫定線ハ十三哩九
分、詰リ約十四哩デ御坐イマス、請願線ハ是ガ請願側ノ人ノ話ヲ聽キマスルト四哩増
シタル、詰リ三割弱ノ増加ニナッテ居リマス、十四哩ニ付テ四哩デスカラ、詰リ三割弱
ノ増加ニナッテ居ルト云フ事ハ、是モ明カデア、ソレカラ又工費ノ關係ガドウカ、是ハ餘
程考ヘナケレバナラヌ所デ御坐イマス、此豫定線ノ十四哩ニ對シテ工費ノ豫算ガ略、八
十萬圓ト承知致シテ居リマス、詰リ一哩平均五萬七千圓強デア、假リ一哩五萬
七千圓ヲ増セバ、四哩詰リ二十二萬八千圓ヲ増ス譯デア、更ニ實地ノ狀況ヲ見マス
ルト、豫定線ハ殆ド小貝川ノ沿岸ヲ平地ヲ上ッテ鳥山ニ達スルノデア、所ガ茂木ニ迂
迴スル事ニナリマスルト、殆ド丘陵山岳ノ間ヲ縫ッテ歩クヤウニナリマス、詰リ之ヲ或ル相
當ニ鐵道ニ關係ノアル人ガ、圖面ニ依テ達觀的ニ見タ所ニ依ルト、ドウシテモ一哩ニ付
テ五萬七千圓ナラバ倍ノ費用ガ掛カルダラウト云フコトニ、鐵道ニ付テ經驗ノアル人ノ
明カニ言ッテ居ル所デ御坐イマス、サウスルト詰リ此十八哩ニ對シテ百二十萬六千圓ノ増
額ニナリマス、之ニ里程ノ増加ニ依リ元ノ二十二萬八千圓ヲ加ヘバ、百二十五萬四
千圓ト云フ經費ノ増加ガ算盤上ドウシテモ出マス、サウスルト八千萬圓ニ合算スル事百
二十五萬四千圓、二百五萬四千圓ト云フ經費ニナリマス、ソレデ私ガ見タノデナク、是
ハ從來ノ歷史上ヨリ證明出來ルノ御坐イマス、從來ノ歷史上ハ何デアカト申シマス
ルト、此鐵道ト略、同一ナル鐵道ガ、明治二十七八年ノ頃、故中江篤介先生ガ社長

トナリマシテ、常野鐵道ナルモノ此地點ニ設ケタノデアリマス、其當時ニ於キマシテモ少シモ茂木ニ廻ルト云フノ調査ヲ致シテ居リマセヌ、今朝其當時測量ニ從事致シマシタル所ノ或人ノ意見ヲ聽キマシタル所ガ、第一土質ノ關係ニ於テ、第二山岳ノ多イ關係ニ於テ第三距離ノ遠イ點ニ於テ到底比較ニナラヌト云フコトヨリシテ、常野鐵道ハ此問題ニ付テ少シモ研究シナカッタト云フ歴史ガアルノ御坐イマス、尙又鐵道院ガドウ云フ事ヲ此事ニ付テ委員會ニ於テ言フテ居ルカト云フト、茂木迄入ル事ニ付テハ、多少ノ研究ハ遂ゲテアル、併ナガラ茂木ヨリ鳥山ニ迂廻スルト云フコトニ付テハ、一度モ調ガ無イト云フコトヲ委員會デ申シテアルヤウデアリマス、鐵道當局者ガ鐵道ヲ敷設セントシテ、豫算ノ概算ナリヲ設定スル場合ニ於テハ、比較ト見ルベキ線路ニ向ツテハ、相當ニ調査ヲ遂ゲル事ガ必ズ無クレバナラヌト思フ、然ルニ此茂木迂廻線ニ付テ何等ノ比較モ無ク、調査ヲ爲サザリシト云フ事柄ハ、請願線ガ豫定線ニ對シテ違觀的ニ一枚ノ地圖ヲ見テ、非常ナ經費ヲ要スルト云フ事ヲ見得ルガ爲ニ、比較調査ヲ爲サザナカッタデアラウト私ハ思フノ御坐イマス(伊東知也君「違ッテ居ルヨ」ツツナ馬鹿ナ事ガアルカ、違ッテ居ルト呼フ)

○議長(大岡育造君) 伊東君注意シマス

(伊東知也君「違ッテ居ル事ハ違ッテ居ルト云フノデス」ト呼フ)

○議長(大岡育造君) 何故ニ左様ナ事ヲ仰シヤル

○高田平平君 私ハ斯様ナ事カラ推論致シテ見マス、此鐵道院ガ輕便鐵道ヲ敷設スル所ノ順序緩急ニ、非常ナ關係ヲ及ボスト思フノデアリマス、詰リ政府ガ今回此鐵道ヲ豫定線ニ依テ八十萬圓、十四哩トシテ提出致シマシタルハ他ノ輕便鐵道ニ比シマシテ、比較的好キ利率ヲ得ル鐵道デアル、斯ウ云フ事ヲ御認メニナツタカラニ違ヒナイ、私共モ數年前ヨリ相當ノ利潤ヲ得ラルベキ輕便鐵道デアルト云フコトヲ承知シテ居リマシタ、然ルニ八十萬圓ノモノガ殆ド一倍半ノ増加ヲナシ、哩ニ於テ二割ヲ増シ、經費ニ於テ一倍半ノ多額ナル増加ヲナスト云フコトガ明カナル場合ニ於テ、而シテ左様ナル線路ガ鐵道院ノ輕便鐵道ヲ定メル順序緩急ニ於テ、其當ヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、非常ナル疑問デアラウト私ハ信ズルノ御坐イマス、勿論政府委員ノ中西君ハ、此點ニ付テ御同意ハ致シテ居リマセヌヤウデアリマス、免ニ角調査ハ致シテ見マスト云フコトデ御坐イマシタカラ、餘程難問題ト私ハ思フノ御坐イマス、尤モ哩ヲ増シ、或ハ經費ヲ増スモ——建設費ヲ増スモ貨物ノ收入及ビ乗客ノ收入ニ於キマシテ、豫定線ニ比シ請願線ガ非常ニ増加スルコトデモ御坐イマシレバ、是亦一應ノ道理ハ御坐イマセウ、併ナガラ此鐵道ノ建設ノ要旨ハ、或ル小部分即チ芳賀郡ノ東北部、及ビ那須郡ノ南部タル鳥山地方ノ物資ヲ吸收シテ、之ヲ本線ニ輸出スルト云フノガ目的デ御坐イマス、地理上カラ判斷致シマシテ、明カニ此豫定線ガ是等ノ要部ノ中央ヲ貫通シテ居ルト云フ事實ヲ知ル者ハ、少シモ非難スルコトノ出來ナイ問題デ御坐イマス、故ニ之ヲ東ニ迂回シ茂木ニ廻シマシレバ、經費ノ増加ハ非常ナル増加ニナリマスケレドモ、貨物ニ於テハ少シモ増スコトハナク、寧ロ多少ノ減少ヲ來スト云フヤウナ結果ヲ來スベキ地理ニナツテ居ルノ御坐イマス、斯様ナル理由、第一距離ノ點ヨリ工費ノ非常ニ増額スル點ヨリ、其割合ニ收入ノ増サザル點ヨリ、寧ロ減ズルノ點ヨリ、鐵道經營上本案ハ採ルベカラザルモノデアルト云フ

コトヲ、私ハ斷定スルニモ憚ラヌデアリマス、而シテ「モウ宜カラウ」ヨシ「ト呼フ者アリ」何デスヨシ「トハ……斯ウ申上ゲマシタル所ガ、私ハ強チ茂木地方ノ不便ナ土地ニ向ツテ、鐵道敷設ノ急要無シト云フ者デハ御坐イマセヌ、他ニ方法ガアル、ソレハ斯ウナルデアリマス、豫定線ハ豫定線トシテ鳥山ヨリシテ七井ヨリ敷設シテ、其中央ナル市場ナル處ヨリ僅カ二里ニナリマス、其間ニ輕便ノ支線ヲ造レバ一舉兩得ニナル、而シテ經費ノ關係ハドウナルカト云フト、却テ茂木ヲ迂回シテ鳥山ニ行クヨリモ、豫定線ヲ鳥山線ヲ完成シ、而シテ其途中ナル市羽ノ驛ト、茂木町ヲ貫通スルコトニ於テ、兩方ガ救ハレテ、而シテ建設費ニ於テ吾々ノ見ル所デ七十萬圓ノ減額ヲ來スコトハ明カデ御坐イマス、故ニ私ハ此茂木地方ノ不便ヲ救フニ付キマシテハ、本線ヲ豫定線ノ通り竣成スルト同時ニ、市羽驛ヨリ支線ヲ茂木町ニ布設スルコトニ依ツテ、兩方完成シテ、而シテ建設費ガ七八十萬圓節約サレルコトハ、是ハアノ地方ノ實狀ト、或ハ少シ鐵道眼ノアル人ナラバ、圖面ヲ見テモ明カニナルコトデアラウト存ジマス、故ニ私ハ本鐵道ノ茂木町ヲ迂回スルト云フコトニ付キマシテハ、鐵道經營上實行不可能ノ問題デアル、不可能ノ問題ヲ本院ガ採擇スルト云フ如キコトハ、所謂議院ノ請願ニ對シテ或ル權威ヲ失フモノデアル(「ノウ」ト呼フ者アリ)斯ウ云フ理由ヲ以テ、私ハ本請願ニ反對スル者デアリマス、同時ニ茂木地方救済ノ策ヲシテ、豫定線ヲ完成スルト同時ニ、二里ノ間ニ支線ヲ設ケテ、而シテ茂木地方ノ不利益ヲ補フト云フコトハ經費ヲ節約スルコトガ出來テ、建設費ニ於テ非常ナル減少ヲ以テ兩方ノ不便不利ヲ補フコトガ出來ルコトハ明カデ御坐イマス以上ノ理由ヲ以テ私ハ本案採擇ニ遺憾ナガラ反對ノ意見ヲ表シマス

○議長(大岡育造君) 福井三郎君

(福井三郎君登壇) (拍手起ル)

○福井三郎君 特別報告ノ第三百二十六號ニ對シテ反對ガ御坐イマシタガ、本員ハ委員長報告ノ通り賛成致シマス、一人デ御坐イマス、幾々長イ反對理由ヲ御述ベニナリマシタガ、斯ク云フ自身等モ其委員ノ一人デ、委員會ニ於キマシテ十分ニ審査ヲ致シマシタルデアリマス、勿論此地方ノ狀況ニモ適シテ居リマセヌ、請願紹介者ノ説明ヲ聽キ並ニ政府委員ノ答辯ヲ求メマシテ、常識ニ從ツテ判斷ヲ致シタルデアリマス、先ヅ委員トシテ、審査致シマシタル時分ノ觀念ヲ此處ニ申シマス、此請願ノ趣意ハ眞岡線ノ眞岡鐵道ヲ延長スル場合ニ於テハ、茂木町ヲ經由セシメラレタイト云フノデアツテ、茂木町ヲ經由スルコトニナレバ、今反對理由トシテ御述ベニナツタ御關係ノ地方ニハ、或ハ多少ノ不利益ヲ來スノカモ知レマセヌ、故ニ一方ヲ採レバ一方ガ不利益ヲ來スノデアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ、特ニ注意ヲ拂ツテ審査致シマシタ、ソレデ尙モ茂木町地方ノ狀況ヲ知ル人モ委員中ニハアリ、尙ホ政府委員ガ茂木町ナルモノヲ如何ニ認メテ居ルカト云フコトニ付テ爲シタル質問ニ、政府委員ノ答ヘタル所ニ依ルト、茂木町ハ如何ニモ人口多クアツテ物資ノ集散ニモ富シテ居ル處デアツテ、即チ此請願ニアル如ク其點ハ盛ナル土地ト認メル、左様認メルト同時ニ此地方ニ矢張何カ一ツノ交通機關ノ開カレナケレバナラヌト云フコトモ、現在デモ認メテ居ルト云フ意味ノ答辯デアリマシタ、唯今ノ反對ノ理由トシテ御述ベニナツタ方ノ御議論ノ中ニモ、全然茂木町ニ交通機關ヲ設ケルト云フコトノ必要ヲ認メテ居ラヌトハ言ハレナイヤウデアル、若シ是ガ豫定線ノ通りニ通ル場合ニハ、

茂木町ニハ輕便線ヲ開ケバ、之ニ依テ茂木町モ幸ヲ得、一方モ幸ヲ得ル一舉兩得デア
ルマイカ、斯ウ云フ御話デアッタヤウデアリマス、彼此レ其邊ノ考慮等モ委員會ニ於テハ
費シマシタ、ソレデ種々審議致シマシタ結果ガ、寧ロ茂木町ヲ經由スル方ガ、此鐵道ヲ敷
設スル上ニ於テ、出來上ツタル後ニ利益アリ又其地方ニ便宜ガアル、成程一方ニハ多少ノ
不便ヲ感ジマセウケレドモ、一方ガ不便ヲ感ズル程度ヨリモ、一方ガ便宜ヲ得ル程度ガ多
カラウ、斯ウ云フ比較上之ヲ採擇スルコトニナリマシタ、ソコデ委員會ハ御承知ノ通り、他
ノ特別委員會ノヤウニ、僅カ九名トカ十八名トカ云フニアラズシテ、四十五名ノ委員會ガ
集ツテ居リマス、其四十五人ノ委員ガ慎重審議ヲシテ、如何ニモ是ガ宜カラウト云
フコトヲ採擇ヲ致シマシタ、報告ハ唯今此議場ニ現ハレタノ御坐イマス、デ其時分ニ
吾モガ賛成ヲ致シマシタル觀念ト、唯今ノ反對理由ト比ベマス、唯今ノ反對理由ハ
此請願ヲ採擇致シタル理由ノ大ナルニハ及バザルコト遠シト考ヘルノデアリマス、尙ホ是
等精シイコトヲ此處デ説明ヲ致シマスレバ、厚イ速記録ヲ引出シテ何程デモ其採擇ノ道
理アル理由ヲ、説明ガ出來ルノ御坐イマス、ソレデハ餘リ長クナツテ諸君モ御迷
惑デアリマセウカラ、ソレ以上ノコトハ委員會ノ速記録ヲ御覽下サイマスト申論乙殿中、
盛ニ質疑應答ガシテアルノデ、之ヲ其初メヨリ終リマデ默讀致シマス、蓋シ唯今ノ反對
ノ御方モ成程左様ナ理由ガアツテ、此請願ハ採擇ニナツタモノデアルカト思半バニ過ギルデ
アラウト思ヒマス、故ニ委員長ノ報告ヲ賛成スルノ趣意トシテ、是ヲ申述ベテ置キマス
○岩崎勲君 本案ハ委員長報告ノ通り、可決採擇サレンコトヲ希望致シマス
〔異議ナシ〕反對ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數——採擇ニ決シマシタ——此場合報告ガアリマス
〔書記朗讀〕

一政府ヨリ撤回セラレタル議案左ノ如シ
衆議院議員選舉法中改正法律案
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
煙草元賣捌事務ヲ市町村ニ委任スルノ建議案

提出者 綾部 惣兵衛君 半谷 清壽君
支那人教育ノ施設ニ關スル建議案
提出者 高橋 本吉君 三土 忠造君 根本 正君
一宮 房治郎君 古谷 久綱君 鵜澤 總明君

○議長(大岡育造君) 此ノ政府案ノ撤回ニ關シテ質問ノ通告ガアリマス、順次之ヲ
許シマス——齋藤隆夫君

政府提出案撤回ニ付テノ質疑

(齋藤隆夫君登壇)

(拍手起ル)

○齋藤隆夫君 政府ハ衆議院議員選舉法改正案ヲ撤回致シタノデアリマス、政府ガ

官報號外

大正七年三月二十日

衆議院議事速記録第二十五號

政府提出案撤回ニ付テノ質疑

此議案ヲ撤回致シマシタル事ハ、即チ議員ヨリ提出ヲ致シタル改正案ヲ審議スルニ方
テ、何等ノ關係ナシトハ申サレマセヌ、依テ此機會ニ於キマシテ簡單ニ政府ノ意見ヲ質
シテ置キタイノデアリマス、御承知ノ如ク選舉法ノ改正ハ、此議會ニ於ケル多年ノ懸案
デアリマス、明治三十三年ニ現行ノ選舉法ガ制定セラレマシタ以來、殆ド毎議會ニ於テ
多少ノ改正案ガ、此衆議院ニ現ハレナイ事ハ無イノデアリマス、然ルニ今日ニ至ル迄兩
院ヲ通過シテ其成立ヲ見ルコトガ出來ナイノハ、御互ニ遺憾千萬ノ次第デアリマス、併
ナガラ時代ノ進運ハ此問題ヲ永ク未決ノ儘ニ放任スルコトヲ許サナイノデアリマス、ソレ
故ニ本期議會ニ於キマシテハ、各政黨ヨリ改正案ガ現ハレテ居リマス、又政府モ本體ノ
改正ニハ觸レズト雖モ、別表ノ改正案ヲ提出シテ居ルデアリマス、而シテ此改正案ハ先
般委員會ノ議ニ付セラレマシテ、既ニ質問ハ終了シテ最早採決ト云フ運ビニナツテ居
ルノデアリマス、然ルニ此委員會ニ於ケル國務大臣及政府委員ノ説明ヲ見マスルト云フ
ト、政府ハ此別表ノ改正案ニ付テスラ、殆ド定見無ク、確信無ク責任觀念ノ乏シキ事
ヲ暴露シテ居ルノデアアル、併ナガラマサカ之ヲバ撤回ヲスルト云フガ如キ、無責任ナル所
ノ沒常識ノヤリ方ハ、如何ニ現内閣ト雖モ爲サラヌデアラウト本員ハ信ジテ居タノデア
リマス、所ガ圖ラザリキ今日之ヲ撤回シタト云フノデアアル、御承知ノ如ク此別表ノ改正案
ハ、決シテ現内閣ノ新發明ニ係ルモノデハナイ、是ハ一昨年前内閣ノ當時ニ於テ、内務
省ニ於テ開カレタ所ノ選舉法調查委員會ノ議ヲ經マシテ、其時ニ於テモ本體ニ付テ
ハ色々ノ議論ガアリマシタガ、免二角別表ノ改正ト云フモノハ目下必要デアルノミナラズ、
急務デアル、現行ノ別表ハ約二十年前ニ改正セラレテ居リマシテ、其別表ノ附則ニ於
テモ是ハ十年間ハ更正シナイト云フ事ガアル、十年間更正シナイト云フコトハ、十年後
ニ於テハ人口ノ増加ニ伴ウテ、此別表モ改正スベキモノデアルト云フ事ヲ含シテ居ルノデ
アリマス、所ガ爾來約二十年ニナツテモ、未ダ此別表ノ改正スラ議會ニ於テ成立ヲシナ
イノデアリマスカラ、選舉法ノ本體ハ免二角、別表ノ改正ノミハ之ヲ切離シテ議會ニ提
出スルガ宜シイ、此處ニ居ラレル所ノ後藤内務大臣モ、ソレハ心得タト云フコトヲ調查
會ガ終了致シ、此調查會ノ作成ニ係ル所ノ議案ヲバ、本期議會ニ提出セラレタト云フ
コトニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ提出スルニ方デモ、若シ政府ニ於テ十分ナル確信ガ
アリ、責任觀念ガアルナラバ、議會ノ劈頭ニ提出シテ來ナケレバナラヌ答デアル何モ取調
ヲ要スル事柄ハ一ツモ無イノデアアル、然ルニ劈頭ニ提出セズ議會ノ會期ガ切迫シテ、僅カ
餘ス所ニ週間ト云フ際ニ方ツテ、此別表ノ改正案ヲ提出シテ來タ、此一事實ヲ以テモ政
府ガ此別表ニ付テ、何等ノ熱心ナク何等ノ誠意ヲ懷イテ居ラヌト云フコトハ分ルノデ
アリマス、殊ニ選舉法ナルモノハ、御承知ノ如ク憲法附屬ノ大法律デアリマシテ、政府ガ
之ヲ議會ニ提出スルニ方ツテハ、先ヅ樞密院顧問ノ諮詢ヲ經、而シテ勅裁ヲ仰イデ此議
會ニ提出ヲシテ居ルノデアアル、斯カル重大ナル所ノ議案、斯カル重要ナル手續ヲ履ミ來
タ此議案ヲバ、今日ニ至ツテ突如トシテ撤回スルニ至ツテハ何カ之ニ相當スル所ノ重大
ナル理由ガ無クテハナラヌノデアアル、本員ハ先ヅ此理由ヲ承ラントスルノデアリマス、又如
何ナル理由ニ拘ラズ、政府ガ之ヲ撤回シタ以上ハ、是迄樞密院ニ於テ聲明シ、議會ニ
於テ聲明シタル所ノ政府ノ言明ト云フモノハ、少クモ誤ツテ居タト云フコトヲ明白シテ
居ルノデアアル、政府ノ聲明ノ誤リ事ニ付テ、現政府ハ如何ナル責任觀念ヲ持ツテ居ル

カ、第二ニ之ヲ御尋シテ置キタイノデアリマス、次ニ將來如何ニスル積リデアルカ、本期議會ニ於テハ之ヲ撤回シタガ、將來ニ於テ此選舉法ノ改正ヲ如何ニスル積リデアルカ、現内閣ハ將來選舉法ノ改正ニ手ヲ染メナイト云フノデアアルカ、又選舉法ノ改正ヲ企テントスルナラバ、如何ナル方法ニ依テ之ヲ完成セントスルカ、具體的ニ言ハバ次期ノ議會ニ於テ之ヲ提出スル積リデアアルカ、次期ノ議會ニ之ヲ提出スルナラバ、選舉法ノ全體ニ向テ改正セントスルノデアアルカ、若クハ同ジク別表ノミヲバ次期ノ議會ニ提出セムトスルノデアアルカ、即チ第一ニハ之ヲ撤回シタル理由、第二ニハ之ヲ撤回シタル所ノ責任觀念、第三ニハ將來ニ對スル政府ノ選舉法改正ニ關スル所ノ意見テハ、此際ニ於テハ承テ置キタイト思フノデアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 野添宗三君

○野添宗三君 簡單デアリマスカラ、此席カラ質問致シマス

○議長（大岡育造君） 宜シウ御坐イマス

○野添宗三君 本員ノ問ハント欲スル所ハ、殆ド齋藤君ニ依テ盡サレタノデアリマスガ、折角通告ヲ致シテ置イタノデアリマスカラ、補足ヲ致シテ質問ヲ試ミマス、政府ハ此衆議院議員選舉法中改正法律案ヲ提出スルニ當ツテハ、時運ノ推移ニ伴ヒ、衆議院議員選舉法中別表ヲ改正スルノ必要アリトシテ、之ヲ提出サレタノデアアル、然レニ今日之ヲ撤回サル、ニ至ツタノハ、時運ノ推移ハ別表ノ改正ヲ必要トシナイト御認メニナツタノデアアルカ、左様ニ意見ガ變ツタノデアアルナラバ、其理由ヲ示サレムコトヲ望ムノデアアル、申ス迄モナク衆議院議員選舉法ハ憲法ニ附屬スル所ノ重要ナル法律デアリマス、政府ハ樞密院ニ御諮詢アラム事ノ奏請ヲ致シテ、其結果樞密院ニ於テ審議ヲ重ネラレタノデアアル、本員ノ承ル所ニ依リマスレバ、樞密院ニ於テハ特別委員ヲ選ンテ其審議ヲ盡サレタ、而シテ政府當局モ此委員會ニ出席ヲサレテ辯明ヲ試ミラレタ結果、樞密院ノ院議可決シタリト承ツテ居ルノデアアル、果シテ然ラバ政府ハ此案ヲ御提出ニナルニ付テハ、十分ナル熟議ヲ費サレタ結果デアツテ、今日再ビ之ヲ考ヘ直ス——再考ヲ致スト云フヤウナ餘地ハ私ハ存セザルモノト確信ヲ致シテ居タノデアリマス（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）然ルニ斯様ナ慎重ナル手續ヲ執ツテ、之ヲ本院ニ提出シ、今ヤ委員會ニ於テ審査將ニ酣ナラムトスルノ際ニ於テ、突如トシテ此案ヲ撤回サセルト云フニ至ツテハ、私ハ政府ノ責任ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアアル（拍手起ル）政府ハ或ハ此案ノ運命——此案ガ否決ノ運命ニ陷ルコトヲ豫想シテ、之ヲ撤回サレタノデアアルモ知レマセヌ、併ナガラ苟モ責任ヲ以テ此重要ナル法律案ヲ提出致サレタ以上ハ、徒ニ案ノ運命ヲ付度ヲ致シテ、之ヲ撤回スルト云フガ如キハ、甚ダ責任ヲ重シザル所ノ行爲デアルト私ハ思フノデアリマス（拍手起ル）何故ニ政府ハ委員會ナリ尙ホ本會議ニ於テ、此案ノ通過ニ全力ヲ擧ゲテ御努メニナラナイノデアアルカ、之ヲ爲サズシテ突然撤回ヲ致サル、ト云フニ至リマシテハ、本員其理由ノ存スル所ヲ知ルニ苦シム者デアリス、固ヨリ政府ハ自己ノ提出致シタル所ノ案ヲ撤回スル所ノ權利ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ理由無クシテ撤回ハ致サレヌダラウト思ヒマス、又私ハ政府ハ議案ヲ撤回スルノ權利アルガ故ニ、撤回致シタルデアルト云フヤウナ、無責任ナ答辯ハ爲サレマイト思フ、ソレ故ニ此案ヲ撤回サレタル所ノ理由ヲ明確ニ御答辯アツテ、吾々ヲシテ首肯セシムルヤウニ願ヒタイノデアリマス、是式ノ御尋ヲ致シマス

○議長（大岡育造君） 時間ガ將ニ切迫致シマシタ、此答辯ヲ終ルマデハ時間ヲ延長致シマス——後藤内務大臣

（國務大臣男爵後藤新平君登壇）

○國務大臣（男爵後藤新平君） 唯今齋藤君野添君ヨリ本案撤回ノ理由ヲ御質問ニナリマシタガ、誠ニ御尤ノ御質問デアリマス、之ニ對シテ理由ヲ申述セマス、本議場ニ於テ今ヤ政府ノ提出致シマシタル所ノ別表ノ外、選舉法ニ伴フ所ノ選舉權擴張、罰則ヲ一括致シマスル所ノ三案ガ現ル、ニ至ツタノデアリマス、是ニ於テ政府ハ更ニ慎重調査ノ必要ヲ認メマシテ、撤回致シタルデアリマス（笑聲起ル、「理由ニナラヌ」ト呼フ者アリ）其撤回ニ付キマシテ、今後如何ヤウニスルノ如キ案ノ經過ヲ取ルベキカト云フ事ニ付テ——次ノ議會ニ提出スルヤ否ヤヲ御質問ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ慎重調査ノ上ノ事デアリマスカラ、今御約束ヲ致ス譯ニハ行カヌノデアリマスガ、此案ノ必要ヲ認メテ居リマスルケレドモ、尙ヨリ良キ方ヲ——各方面ヨリ出サレタル所ノ案ト參照シマシテ、調査ノ上デ提案スル事ヲ希望致シテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ御答ト致シマス

○齋藤隆夫君 議長々々

○議長（大岡育造君） モウ時間モ切迫シマシタカラ、是デ（「延長々々」ト呼フ者アリ）散會ヲ命ジマス

（「横暴々々」マダ時間ニナラヌ」其他發言スル者多シ）

午後五時五十八分散會

衆議院議事速記第二十四號正誤

頁	段	行	誤	正
五〇六	下	六	請求ヲセラ	施設ヲセラレ其施
五〇六	下	七	レ、其請求	誤
五〇六	下	一四	大正五年	大正三年

頁	段	行	誤	正
五〇六	下	二八	意味ノ下ニ、	意味ノ下ニ憲法
			律ノ統一ヲナシ	